

平成21年度
授業改善のための学生アンケート報告書

－ 全体集計 －

第I部

平成22年3月

拓殖大学 自己点検・評価委員会

はじめに

現代社会の大学教育に対する厳しい評価と、斬新で充実した教育実現への要望に応えるために、学生アンケートを実施し、その授業改善への有効活用が、我が国の多くの大学でなされております。

本学では、他大学に先駆けて全学的な「授業改善のための学生アンケート」を実施し、アンケート結果にもとづく学生の意見や授業効果を分析し、これらを各種の教育改善につなげ、学生の学修意欲を高め、効果的学修を促進し、国際化、情報化などにも対応した教育方法の工夫・改善等に、積極的に取り組んでまいりました。

また、平成19年度から各学部の「FD委員会」に加えて、全学的な「FD委員会」を設置し、アンケート結果に基づいた意欲的な授業改善の方策を検討しております。

この報告書は、平成21年度に実施した「授業改善のための学生アンケート」について、「全体集計」（第Ⅰ部）と「科目別集計」（第Ⅱ部）の2分冊とし、第Ⅱ部には「科目別集計（個表）」の形で授業評価に参加した全教員のデータとともに、学生の主な意見と、これに対する担当教員の所見を掲載しています。さらに、「分野別集計」を加え、学部・学科目別に一層きめ細かな評価分析を試みております。

本報告書を活用し、教員各位が今回のデータを過去のデータと比較検討し、他の教員や他学部の状況をも参考にしながら今後の改善に役立てて下さるようお願いいたします。

大学・学部の教育目標を目指して、教員組織、教育環境を最大限に機能させた教育指導を行うことはもとより、学生の効果的学修のため、教育方法を工夫・改善することが常に求められております。

今後とも全教職員が一致協力して、FD活動を推進し、本学の教育改善の活性化につながることを切に希望します。

平成22年3月

拓殖大学学長
自己点検・評価委員長
渡 辺 利 夫

目 次

はじめに

I 学生アンケートの実施について

1. 経緯と実施方針	3
2. 実施状況	3
3. 集計結果の概要	3
4. 今後の課題	4

II 実施状況

1. 実施期間	7
2. 実施教員数	7
3. 実施科目数	8
4. アンケート回答数（延べ人数）	8
5. 学科目別実施科目数	8

III 全体集計

1. 学科目別（講義等科目）平均値・標準偏差	1 1
2. 教員所属別（講義等科目）平均値・標準偏差	
(1) 専任教員所属別	1 2
(2) 講師(非常勤)所属別	1 3
3. 履修登録者数別比較表	1 4
4. 設問項目ごとの集計結果（年度比較）	
(1) 学科目別平均値	
①商学部専門科目	1 5
②政経学部専門科目	1 6
③外国語学部専門科目	1 7
④工学部専門科目（講義等科目、実験・実習科目別）	1 8
⑤国際学部専門科目	2 0
⑥教養教育科目	2 1
⑦外国語科目	2 2
⑧スポーツ・トレーニング科目	2 3
⑨教職・社教・日語科目	2 4
⑩ゼミ・外書講読科目	2 5
⑪全体（講義等科目）	2 6
(2) 学生所属別平均値・標準偏差（講義等科目）	
①学年別	2 7
②学科別	2 8
(3) 満足度平均値	
①学科目別	3 0

②所属別	-----	3 1
③身分別	-----	3 2
④年齢別	-----	3 3
5. 学科目別 回答の分析	-----	3 4
6. 学部設問項目 平均値・標準偏差	-----	3 8

IV コース・分野・学科別集計

1. 商学部専門科目 (コース別)	-----	4 1
2. 政経学部専門科目 (分野別)	-----	4 2
3. 外国語学部専門科目 (学科別)	-----	4 3
4. 工学部専門科目		
(1) 実験・実習科目 (学科別)	-----	4 4
(2) 学科・学科目別 (講義等科目)	-----	4 5
5. 国際学部科目		
(1) 英語群	-----	4 6
(2) 地域言語群	-----	4 7
(3) 基礎科目群	-----	4 8
(4) 専門共通科目	-----	4 9
(5) 専門コース科目	-----	5 0
6. 教養教育等科目		
(1) 講義等科目 (群別)	-----	5 1
(2) 外国語科目 (1 2カ国語)	-----	5 2
(3) スポーツ・トレーニング科目	-----	5 3
(4) 教職課程・社会教育主事講座科目、日本語教員養成基礎講座科目	-----	5 4

V 評価及び課題

1. 商学部	-----	5 7
2. 政経学部	-----	6 2
3. 外国語学部	-----	6 9
4. 工学部	-----	7 6
5. 国際学部	-----	8 3
6. 教養教育	-----	9 3
7. 教職課程・社会教育主事講座・日本語教員養成基礎講座科目	-----	1 0 4

参考資料

実施要領	-----	1 0 7
アンケート様式	-----	1 1 1
科目別集計様式	-----	1 1 7

I 学生アンケートの実施について

1. 経緯と実施方針

本学では、平成4年、拓殖大学自己評価委員会（現「拓殖大学自己点検・評価委員会」）を設置し、平成6年度には、はじめて全学的な「学生による授業評価」を実施した。以後、毎年工夫改善を重ねながら継続するとともに、その結果を分析して、各学部および全学的なFD委員会を中心に、授業の内容・方法の改善方策の検討を行ってきている。平成16年度からは、内容の大幅な改善充実を図るとともに、名称を「学生による授業評価」から「授業改善のための学生アンケート」へと変更し、今日に至っている。

2. 実施状況

平成21年度の「授業改善のための学生アンケート」においては、専任教員では、対象となる教員258名の全員が実施した（前年度も100%実施）。非常勤講師については、対象者367名のうち1名を除いて全員が実施した（前年度362名中1名不実施）。したがって全体の実施率は99.8%（前年度も99.8%）である。

実施科目数は、専任教員で561科目（前年度は555科目）、非常勤講師で696科目（全年度は670科目）、合計1,257科目（前年度は1,225科目）であった。非常勤講師実施件数が前年比26科目増となり、全体で32科目増となった。アンケートの回答数は41,390（前年度は40,569）で、前年度比約2%増であった。

3. 集計結果の概要

学科目別（講義等科目）の全体の満足度は3.95で、前々年度（3.89）、前年度（3.91）と少しずつではあるが上昇を続けている。学科目の満足度を個別にみると、前年度に比べて、各学部の専門科目、教養科目、教職・社教・日語科目、ゼミ・外書講読科目は上昇している。外国語科目が4.00から3.97と少しだけ下がった。

教員の満足度を所属学部別でみると、全学部が昨年度より上昇している。学部ごとにみれば、外国語学部が高く、次いで国際学部、商学部、政経学部、工学部となっている。満足度を専任教員と非常勤講師でみると、非常勤講師が3.96で、専任教員の3.93を上回っている。

満足度を学年別にみれば、例年同様、学年が上がるとともに満足度も上がっている。「Ⅱ－9理解しやすさ」「Ⅱ－10知識・技術が身につく」「Ⅱ－11見方・考え方が深まる」は、いずれも学年を追って評価が高くなっている。授業が理解でき、有益であることが分かれば、授業に対する心構えもちがってくる。「Ⅱ－8教室内の雰囲気」が高学年になればなるほど良くなっているのはそのためであろう。

教員に対する満足度を身分別にみると、いずれも前年度より上昇している。満足度の高いのは特別非常勤講師、次いで非常勤講師、以下助教、准教授、教授の順となっている。年齢別でみると、40歳未満がもっとも高く、年代が上がるにつれて低くなっている。前年度評価を下げた40歳未満と40歳代、それに50歳代はいずれも前年度を上回った。前年度評価を上げた60歳代は今回は下回った。

授業の評価は履修登録者数によっても左右される。その意味では教員の資質を超えたと

ころで評価される面が少なくないとも言える。履修登録者数別比較表（講義科目）を見ると、満足度において、クラスサイズが 100 人以下、101 ～ 200 人、201 ～ 300 人、300 人以上と大きくなるにつれて評価が下がってくるのはやむを得ない面もあろう。ただ 101 ～ 200 人サイズの評価がそれ以上のところより低いのは、何か特別な事情があるのだろうか（「Ⅱ－1 狙いの明確さ」～「Ⅱ－11 見方・考え方が深まる」のほとんどの項目で評価が 201 ～ 300 人サイズを下回っている）。

以上、全体的な「満足度」についての集計結果を概観したが、本報告書では「V 評価及び課題」において、各学部が集計結果について詳しく分析・評価し、さらに今後取り組むべき課題を掲げている。示唆に富む内容であり、熟読していただきたい。

4. 今後の課題

「授業改善のための学生アンケート」の目的は、その結果を活用して、授業内容・方法の改善に役立て、教育活動の充実に資することにある。そのためには、この集計結果をもとに、個々の教員がそれぞれの授業の改善に取り組むとともに、各学部の F D 委員会を中心とした組織的な授業改善のための取組を進めることが重要になってくる。

今回の調査に限ったことではないが、「Ⅰ－3 予習・復習」の数字がきわめて低い。このことから、多くの学生にとっては、「学びは教室だけ」ということが知られる。大学生にとって肝心の自学自習の面が欠落しているのであるが、それでは教授効果は上がらない。予習・復習を行わせる妙案があるわけではないが、例えば、外国語学部専門科目、工学部実験・実習科目において予習・復習、事前準備の数字が比較的高いところをみると、ある程度の準備なくしては授業に出てもついていけない、あるいは効果がない、と学生に自覚させることも一つではないだろうか。また初年次教育で取り組むとか、ブラックボード（Bb）を活用して資料を事前に提示するなど考えられる。

各学部においては、本報告書における分析・評価に基づいてさらに具体的な検討を行い、学生本位の立場に立った授業の改善充実に向けて一層の努力がなされることを望みたい。

平成 22 年 3 月

拓殖大学 自己点検・評価委員会
副委員長 茂 住 實 男

Ⅱ 実施状況

1. 実施期間

平成21年11月2日(月)～12月5日(土)

※予備 12月7日(月)～12月12日(土)

2. 実施教員数

1) 専任教員

所 属	実施対象教員数	実 施 者 数	未 実 施 者 数	実施率 (%)
商 学 部	48	48	0	100.0%
政 経 学 部	57	57	0	100.0%
外国語学部	41	41	0	100.0%
工 学 部	61	61	0	100.0%
国 際 学 部	36	36	0	100.0%
兼 担	15	15	0	100.0%
合 計	258	258	0	100.0%

(注) 専任教員：教授、准教授、助教、特別非常勤講師

2) 講師(非常勤)

所 属	実施対象教員数	実 施 者 数	未 実 施 者 数	実施率 (%)
商 学 部	119	119	0	100.0%
政 経 学 部	113	113	0	100.0%
外国語学部	48	47	1	97.9%
工 学 部	29	29	0	100.0%
国 際 学 部	45	45	0	100.0%
兼 担	13	13	0	100.0%
合 計	367	366	1	99.7%

(注) 講師(非常勤)：客員教授を含む

3) 全体

所 属	実施対象教員数	実 施 者 数	未 実 施 者 数	実施率 (%)
専 任 教 員	258	258	0	100.0%
非常勤講師	367	366	1	99.7%
合 計	625	624	1	99.8%

3. 実施科目数

所 属	専任教員	非常勤講師	合 計
商 学 部	107	212	319
政 経 学 部	128	186	314
外 国 語 学 部	97	94	191
工 学 部	115	34	149
国 際 学 部	94	150	244
兼 担	20	20	40
合 計	561	696	1257

4. アンケート回答数（延べ人数）

回答者の所属	1 年	2 年	3 年	4 年	無回答	合 計
商 学 部	4,327	3,740	2,434	905	23	11,429
政 経 学 部	3,639	3,658	3,060	1,217	48	11,622
外 国 語 学 部	1,162	816	714	136	20	2,848
工 学 部	1,999	2,046	1,254	50	121	5,470
国 際 学 部	2,653	2,758	1,474	375	185	7,445
無 回 答	93	127	97	27	2,232	2,576
合 計	13,873	13,145	9,033	2,710	2,629	41,390

(注) 「無回答」は、「所属学科」「学年」についての未記入を示す

5. 学科目別実施科目数

所 属	商学部	政経学部	外国語学部	工学部	国際学部	兼 担	合 計
商学部 専門科目	127	1				2	130
政経学部 専門科目	4	127	1	2		8	142
外国語学部 専門科目		1	104				105
工学部 講義				72			72
工学部 実験実習				34			34
国際学部 専門科目		2			57	6	65
教養科目・総合教育科目	46	31	22	7	35	6	147
外国語科目	109	104	50	26	146	13	448
スポーツ・トレーニング科目	8	19		2			29
教職・社教・日本語科目	8	13	6	2	6	3	38
ゼミ・外書講読	17	16	8	4		2	47
合 計	319	314	191	149	244	40	1,257

(注) 教養科目・総合教育科目：国際学部基礎科目を含む

外国語科目：英語、第2外国語、選択外国語、地域言語、留学生用の日本語

Ⅲ 全 体 集 計

1. 学科目別（講義等科目） 平均値・標準偏差

設問項目	区分	商学部 専門科目	政経学 部専門 科目	外国語 学部 専門科 目	工学部 専門科 目（講 義）	国際学 部専門 科目	教養科 目・総 合教育 科目	外国語 科目	教職・ 社教・ 日語科 目	ゼミ・ 外書講 読	全体
		科目 数：(130)	科目 数：(142)	科目 数：(105)	科目 数：(72)	科目 数：(65)	科目 数：(147)	科目 数：(448)	科目 数：(38)	科目 数：(47)	科目 数：(1194)
I-1	平均値	4.48	4.45	4.49	4.58	4.31	4.43	4.46	4.56	4.63	4.47
	標準偏差	0.28	0.24	0.34	0.21	0.26	0.31	0.30	0.30	0.35	0.30
I-2	平均値	3.89	3.78	4.02	3.62	3.81	3.74	4.08	4.35	3.83	3.93
	標準偏差	0.61	0.82	0.56	0.54	0.56	0.76	0.48	0.38	0.76	0.63
I-3	平均値	2.75	2.60	3.27	2.65	2.68	2.63	3.23	2.98	3.35	2.96
	標準偏差	0.48	0.43	0.66	0.33	0.39	0.57	0.57	0.54	0.74	0.61
II-1	平均値	4.00	3.96	4.24	3.68	3.92	4.05	4.09	4.32	4.41	4.06
	標準偏差	0.45	0.41	0.45	0.44	0.50	0.47	0.46	0.38	0.38	0.47
II-4	平均値	3.72	3.69	4.10	3.36	3.71	3.85	3.92	4.13	4.35	3.85
	標準偏差	0.52	0.45	0.45	0.53	0.53	0.56	0.52	0.43	0.38	0.54
II-5	平均値	4.05	3.95	4.32	3.65	3.93	4.11	4.15	4.31	4.52	4.10
	標準偏差	0.46	0.49	0.48	0.55	0.50	0.54	0.50	0.36	0.38	0.52
II-6	平均値	3.93	3.93	4.05	3.69	3.84	3.96	3.98	4.18	4.16	3.96
	標準偏差	0.46	0.43	0.47	0.46	0.45	0.46	0.41	0.36	0.51	0.45
II-7	平均値	3.84	3.80	4.07	3.51	3.79	3.90	3.99	4.07	4.12	3.91
	標準偏差	0.56	0.55	0.49	0.47	0.50	0.54	0.44	0.41	0.52	0.51
II-8	平均値	4.06	4.14	4.29	3.63	4.04	4.08	4.14	4.46	4.44	4.12
	標準偏差	0.46	0.47	0.43	0.50	0.43	0.54	0.41	0.30	0.37	0.47
II-9	平均値	3.61	3.62	4.05	3.23	3.66	3.81	3.86	4.14	4.32	3.79
	標準偏差	0.49	0.41	0.45	0.50	0.48	0.56	0.47	0.45	0.40	0.52
II-10	平均値	3.67	3.68	4.08	3.28	3.68	3.83	3.82	4.19	4.27	3.80
	標準偏差	0.44	0.38	0.42	0.46	0.45	0.54	0.45	0.39	0.40	0.49
II-11	平均値	3.58	3.63	3.89	3.26	3.68	3.72	3.69	4.19	4.34	3.71
	標準偏差	0.44	0.42	0.45	0.51	0.43	0.51	0.48	0.36	0.47	0.51
III	平均値	3.83	3.83	4.22	3.42	3.79	3.94	3.97	4.26	4.50	3.95
	標準偏差	0.50	0.40	0.46	0.54	0.50	0.55	0.50	0.46	0.42	0.53

○3の回答が適切である項目

II-2	平均値	3.56	3.52	3.37	3.65	3.44	3.43	3.44	3.42	3.28	3.46
	標準偏差	0.31	0.26	0.36	0.32	0.25	0.36	0.33	0.25	0.36	0.33
II-3	平均値	3.27	3.28	3.22	3.35	3.19	3.22	3.22	3.16	3.12	3.23
	標準偏差	0.24	0.25	0.30	0.23	0.22	0.25	0.24	0.17	0.23	0.25

(注) I-4は、複数回答項目のため、「5. 回答の分布」を参照

2. 教員所属別（講義等科目）

（1）専任教員所属別

設問項目	区分	商学部	政経学部	外国語学部	工学部	国際学部	兼任教員	専任教員全体	講師全体	全体
		科目数：(106)	科目数：(124)	科目数：(97)	科目数：(82)	科目数：(94)	科目数：(20)	科目数：(523)	科目数：(671)	科目数：(1194)
I-1	平均値	4.51	4.50	4.50	4.56	4.38	4.41	4.49	4.46	4.47
	標準偏差	0.26	0.27	0.31	0.28	0.29	0.27	0.28	0.31	0.30
I-2	平均値	3.91	4.02	4.02	3.66	3.99	3.61	3.92	3.94	3.93
	標準偏差	0.70	0.58	0.58	0.63	0.51	0.56	0.62	0.63	0.63
I-3	平均値	2.80	2.76	3.27	2.73	3.11	2.70	2.92	3.00	2.96
	標準偏差	0.61	0.55	0.67	0.41	0.61	0.45	0.61	0.61	0.61
II-1	平均値	4.01	4.04	4.24	3.79	4.13	3.86	4.04	4.07	4.06
	標準偏差	0.45	0.46	0.48	0.40	0.46	0.47	0.47	0.47	0.47
II-4	平均値	3.74	3.82	4.12	3.49	3.89	3.60	3.81	3.89	3.85
	標準偏差	0.50	0.54	0.49	0.51	0.49	0.53	0.54	0.54	0.54
II-5	平均値	4.04	4.06	4.33	3.78	4.11	3.84	4.06	4.13	4.10
	標準偏差	0.44	0.56	0.51	0.49	0.45	0.56	0.52	0.51	0.52
II-6	平均値	3.92	3.96	4.03	3.75	4.00	3.79	3.93	3.98	3.96
	標準偏差	0.46	0.47	0.49	0.42	0.46	0.39	0.47	0.43	0.45
II-7	平均値	3.80	3.85	4.05	3.63	4.00	3.58	3.86	3.96	3.91
	標準偏差	0.53	0.60	0.52	0.45	0.48	0.53	0.54	0.48	0.51
II-8	平均値	4.06	4.22	4.31	3.77	4.19	4.08	4.12	4.13	4.12
	標準偏差	0.47	0.47	0.42	0.47	0.42	0.44	0.48	0.47	0.47
II-9	平均値	3.69	3.74	4.07	3.42	3.88	3.55	3.76	3.82	3.79
	標準偏差	0.54	0.50	0.46	0.51	0.46	0.45	0.53	0.51	0.52
II-10	平均値	3.70	3.76	4.08	3.43	3.86	3.65	3.77	3.82	3.80
	標準偏差	0.50	0.47	0.42	0.46	0.44	0.44	0.50	0.49	0.49
II-11	平均値	3.66	3.74	3.93	3.38	3.82	3.75	3.72	3.70	3.71
	標準偏差	0.52	0.51	0.48	0.49	0.41	0.47	0.51	0.50	0.51
III	平均値	3.87	3.96	4.21	3.61	3.95	3.81	3.93	3.96	3.95
	標準偏差	0.51	0.52	0.49	0.52	0.49	0.48	0.53	0.53	0.53

○3の回答が適切である項目

II-2	平均値	3.55	3.49	3.37	3.56	3.41	3.59	3.48	3.44	3.46
	標準偏差	0.31	0.28	0.38	0.33	0.25	0.28	0.32	0.34	0.33
II-3	平均値	3.27	3.24	3.19	3.32	3.20	3.30	3.24	3.22	3.23
	標準偏差	0.25	0.23	0.30	0.19	0.22	0.26	0.25	0.25	0.25

（注）専任教員：教授、准教授、助教、特別非常勤講師

I-4は、複数回答項目のため、「5. 学科目別 回答の分布」を参照

(2) 講師（非常勤）所属別

設問項目	区分	商学部	政経学部	外国語学部	工学部	国際学部	兼任教員	講師全体	専任教員全体	全体
		科目数：(205)	科目数：(171)	科目数：(94)	科目数：(31)	科目数：(150)	科目数：(20)	科目数：(671)	科目数：(523)	科目数：(1194)
I-1	平均値	4.51	4.44	4.49	4.47	4.35	4.60	4.46	4.49	4.47
	標準偏差	0.27	0.27	0.36	0.33	0.33	0.30	0.31	0.28	0.30
I-2	平均値	3.95	3.87	4.01	3.57	4.03	4.15	3.94	3.92	3.93
	標準偏差	0.64	0.75	0.61	0.48	0.49	0.48	0.63	0.62	0.63
I-3	平均値	2.99	2.81	3.05	2.52	3.24	3.42	3.00	2.92	2.96
	標準偏差	0.62	0.58	0.67	0.44	0.48	0.60	0.61	0.61	0.61
II-1	平均値	4.16	4.02	4.09	3.54	4.09	4.18	4.07	4.04	4.06
	標準偏差	0.46	0.47	0.49	0.51	0.40	0.39	0.47	0.47	0.47
II-4	平均値	3.97	3.83	3.89	3.34	3.92	4.11	3.89	3.81	3.85
	標準偏差	0.53	0.53	0.57	0.63	0.47	0.42	0.54	0.54	0.54
II-5	平均値	4.21	4.07	4.17	3.60	4.16	4.28	4.13	4.06	4.10
	標準偏差	0.48	0.53	0.55	0.62	0.43	0.45	0.51	0.52	0.52
II-6	平均値	4.00	3.95	3.98	3.69	4.04	4.15	3.98	3.93	3.96
	標準偏差	0.44	0.45	0.41	0.49	0.37	0.39	0.43	0.47	0.45
II-7	平均値	3.97	3.90	3.99	3.59	4.02	4.18	3.96	3.86	3.91
	標準偏差	0.49	0.53	0.46	0.54	0.38	0.34	0.48	0.54	0.51
II-8	平均値	4.19	4.12	4.14	3.70	4.12	4.21	4.13	4.12	4.12
	標準偏差	0.45	0.48	0.50	0.52	0.40	0.40	0.47	0.48	0.47
II-9	平均値	3.85	3.73	3.88	3.23	3.92	4.19	3.82	3.76	3.79
	標準偏差	0.49	0.49	0.53	0.57	0.45	0.43	0.51	0.53	0.52
II-10	平均値	3.86	3.73	3.88	3.24	3.91	4.19	3.82	3.77	3.80
	標準偏差	0.46	0.46	0.50	0.51	0.44	0.40	0.49	0.50	0.49
II-11	平均値	3.70	3.65	3.74	3.21	3.80	4.02	3.70	3.72	3.71
	標準偏差	0.51	0.49	0.52	0.55	0.42	0.36	0.50	0.51	0.51
III	平均値	4.00	3.90	4.04	3.39	4.02	4.09	3.96	3.93	3.95
	標準偏差	0.54	0.50	0.52	0.60	0.48	0.42	0.53	0.53	0.53

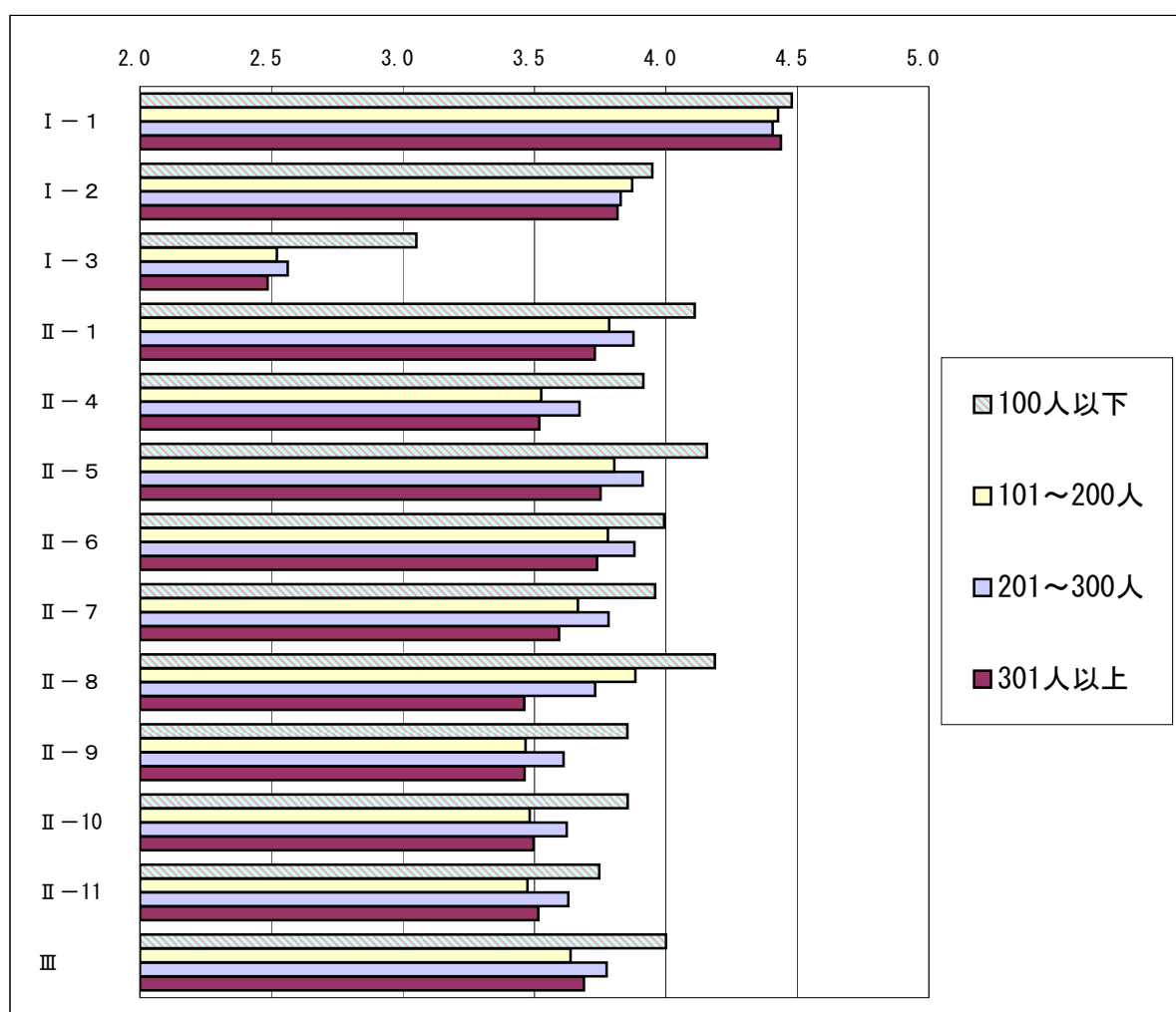
○3の回答が適切である項目

II-2	平均値	3.42	3.47	3.43	3.58	3.43	3.25	3.44	3.48	3.46
	標準偏差	0.34	0.34	0.30	0.41	0.35	0.21	0.34	0.32	0.33
II-3	平均値	3.22	3.24	3.22	3.25	3.23	3.14	3.22	3.24	3.23
	標準偏差	0.26	0.25	0.24	0.31	0.26	0.21	0.25	0.25	0.25

(注) 講師（非常勤）：客員教授を含む

I-4は、複数回答項目のため、「5. 学科目別 回答の分布」を参照

3. 履修登録者数別比較表（講義科目）



(注) I-4受講動機(複数回答)、II-2難易度、II-3進度(3の回答が適切)は回答の基準が異なるため、掲載していない。

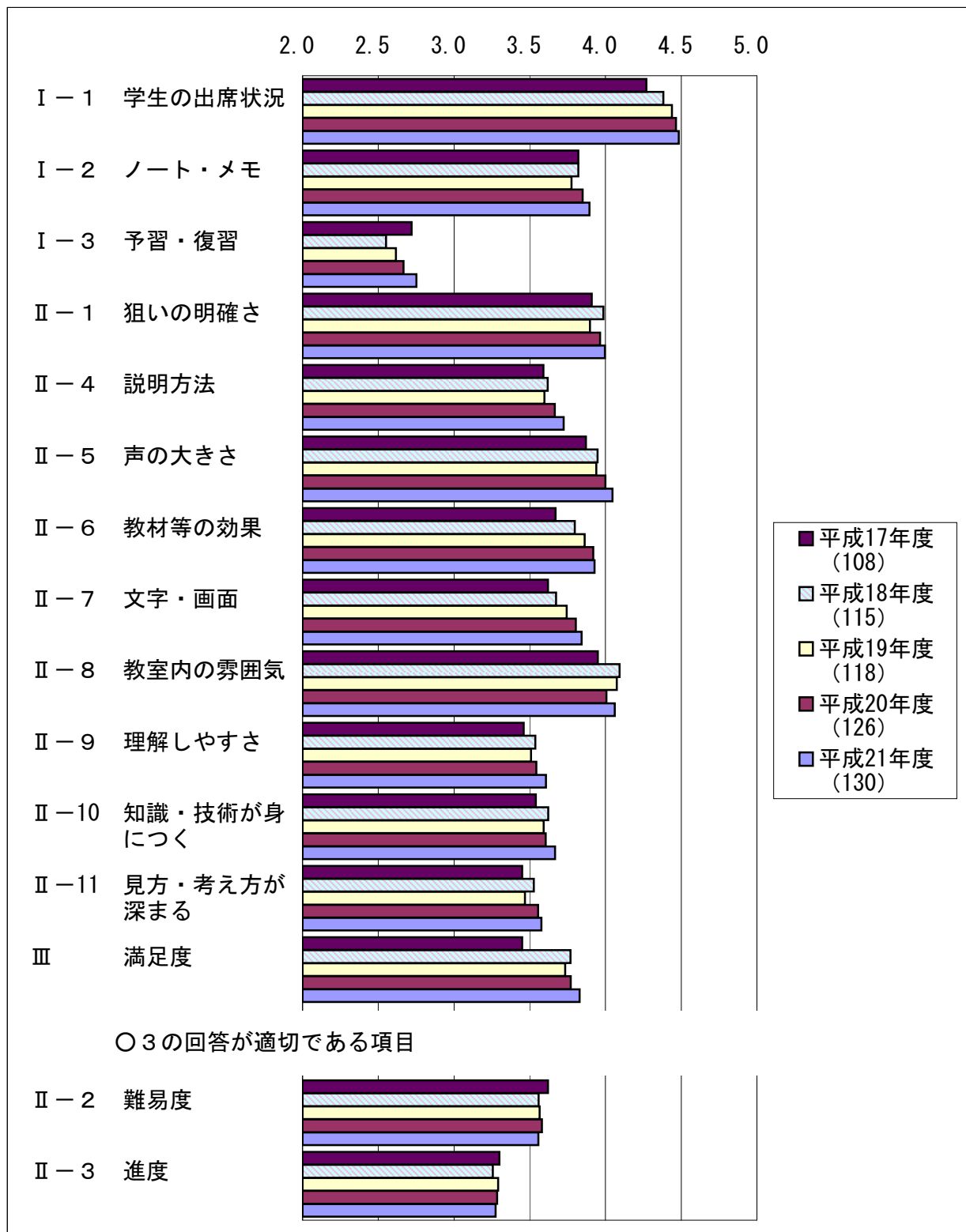
○ 平均値

区分		100人以下	101~200人	201~300人	301人以上
科目数		993	139	47	15
I-1	学生の出席状況	4.48	4.43	4.41	4.44
I-2	ノート・メモ	3.95	3.87	3.83	3.82
I-3	予習・復習	3.05	2.52	2.56	2.49
II-1	狙いの明確さ	4.11	3.78	3.88	3.73
II-4	説明方法	3.91	3.53	3.67	3.52
II-5	声の大きさ	4.16	3.80	3.91	3.75
II-6	教材等の効果	3.99	3.78	3.88	3.74
II-7	文字・画面	3.96	3.67	3.78	3.59
II-8	教室内の雰囲気	4.19	3.88	3.73	3.46
II-9	理解しやすさ	3.85	3.47	3.61	3.46
II-10	知識・技術が身につく	3.86	3.48	3.62	3.50
II-11	見方・考え方が深まる	3.75	3.47	3.63	3.52
III	満足度	4.00	3.64	3.78	3.69

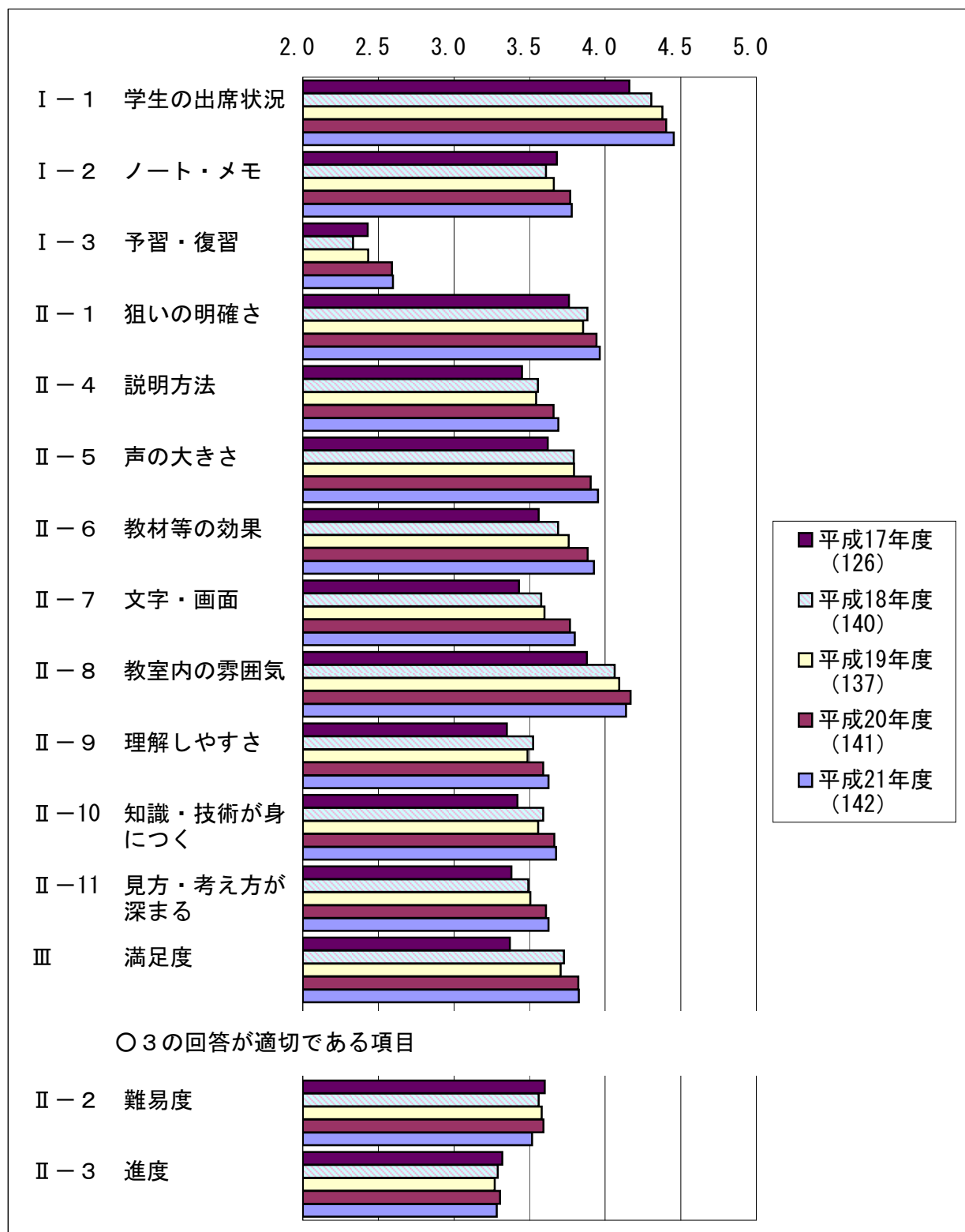
4. 設問項目ごとの集計結果（年度比較）

（1）学科目別平均値

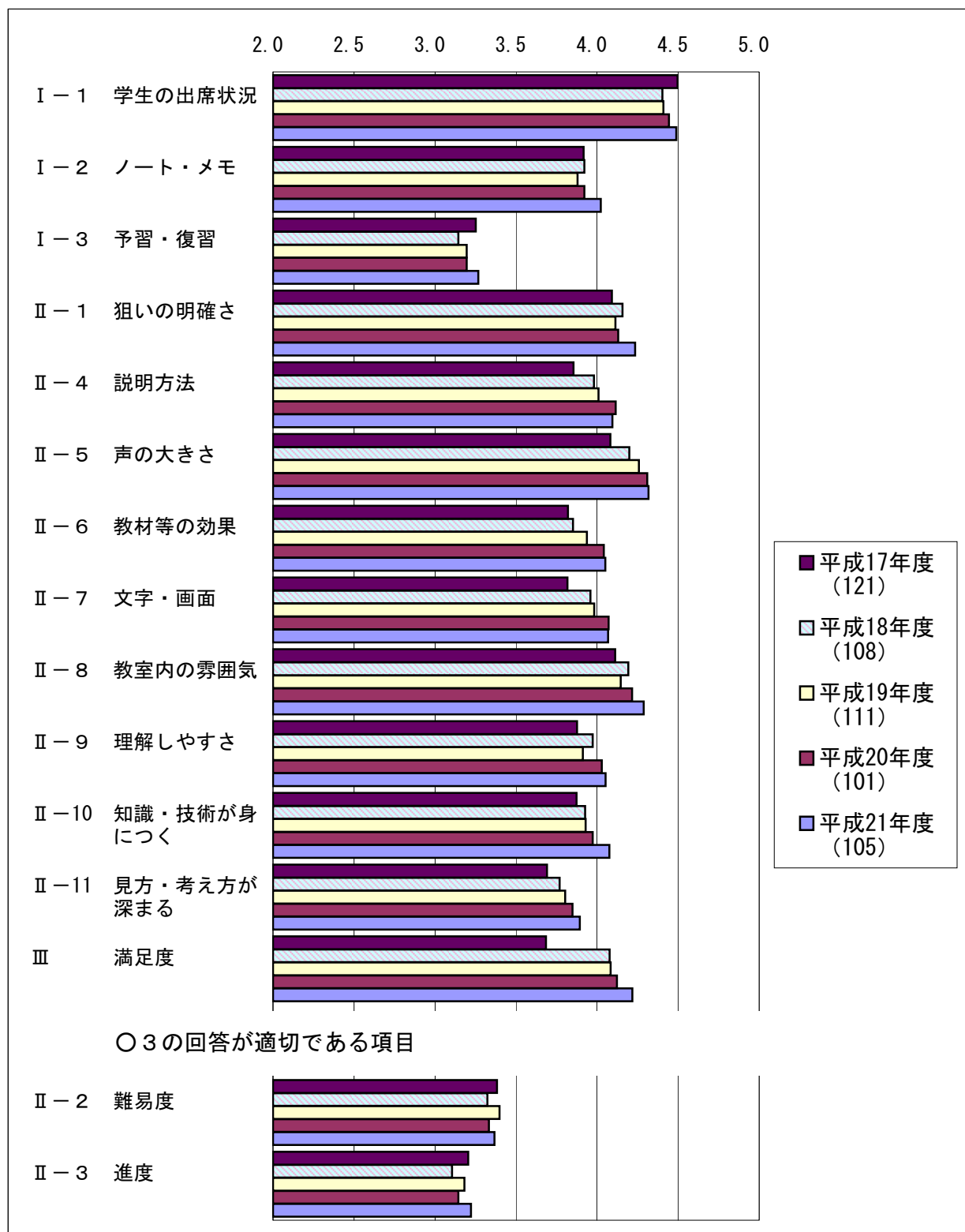
① 商学部専門科目



② 政経学部専門科目

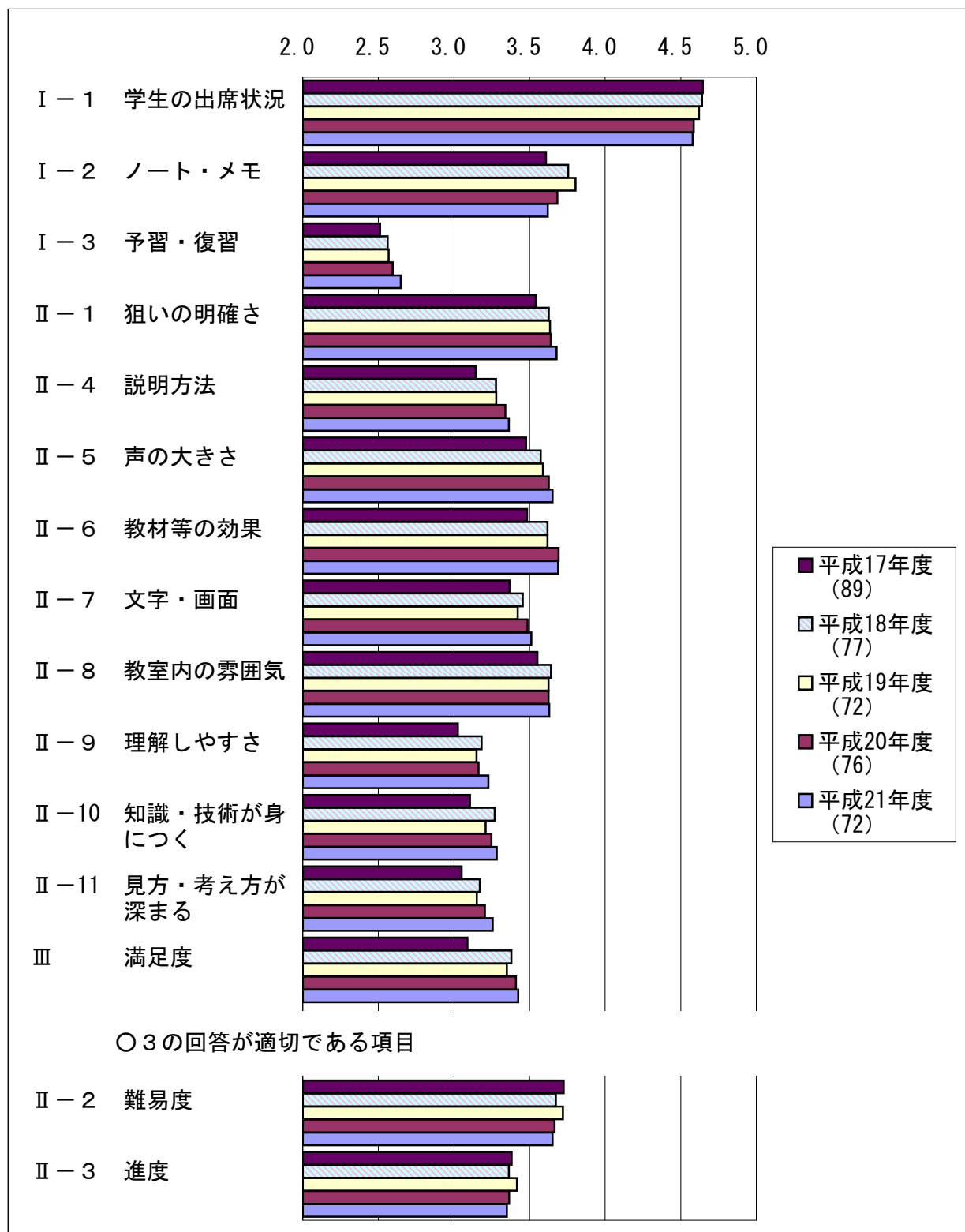


③ 外国語学部専門科目

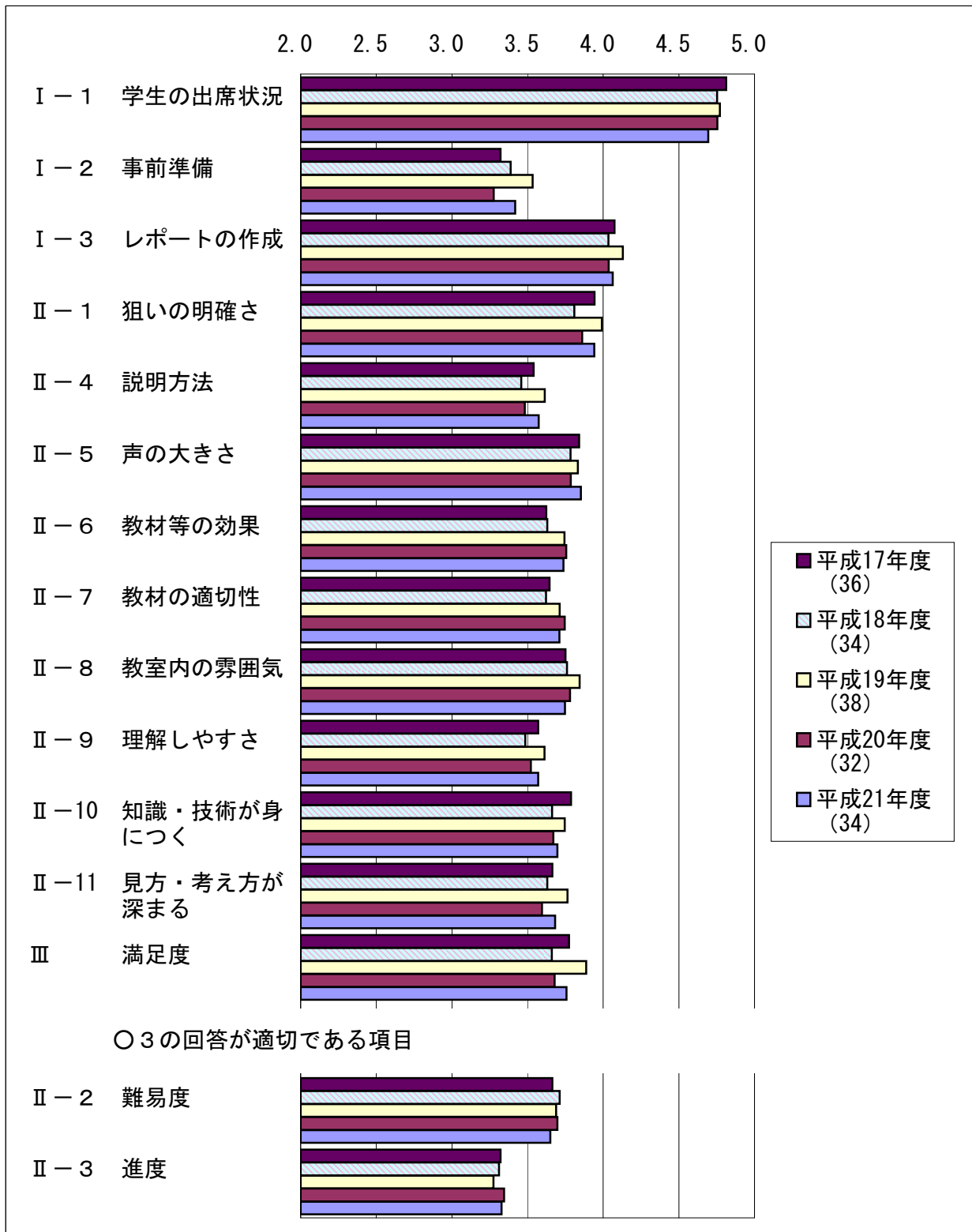


④ 工学部専門科目

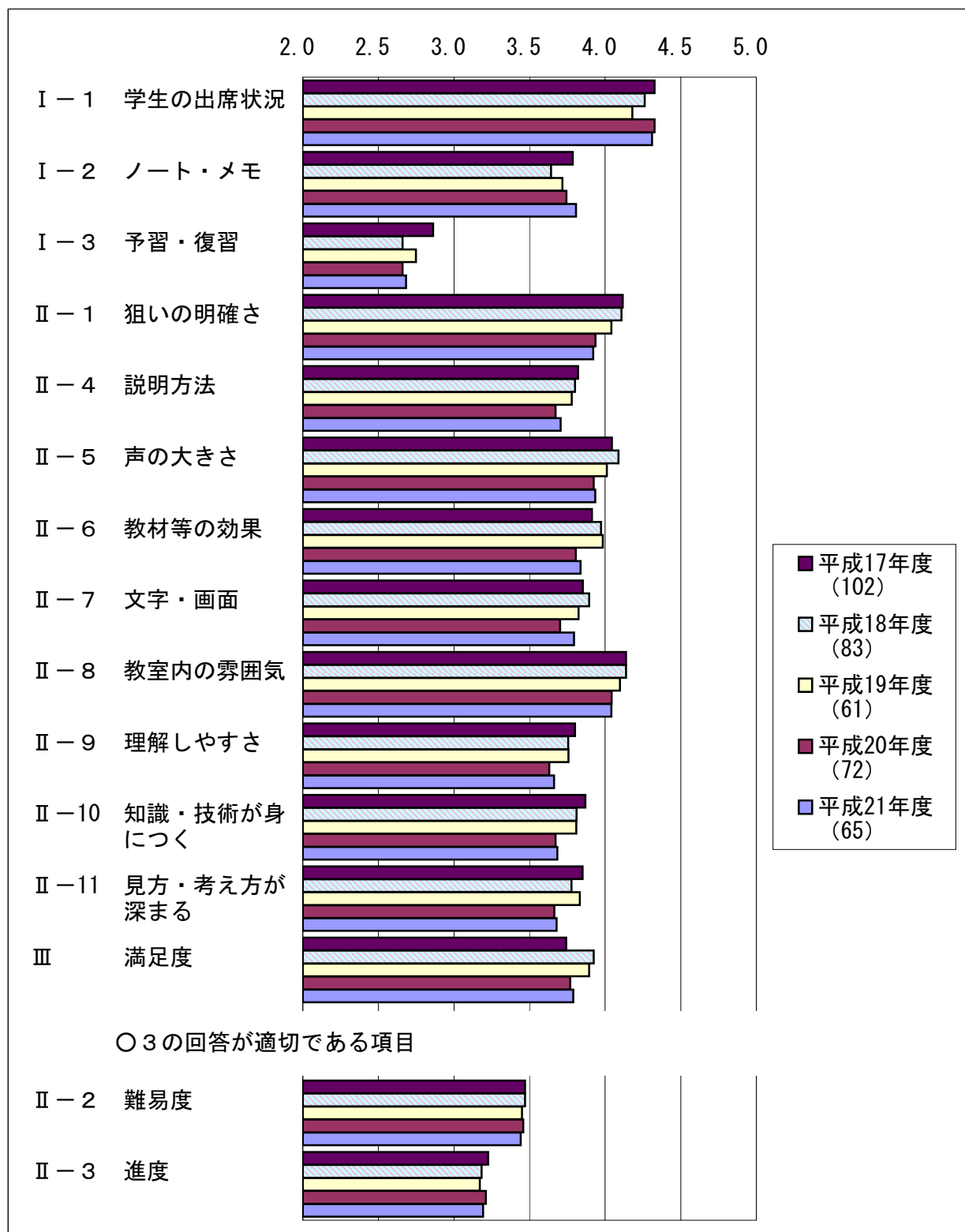
・講義等科目



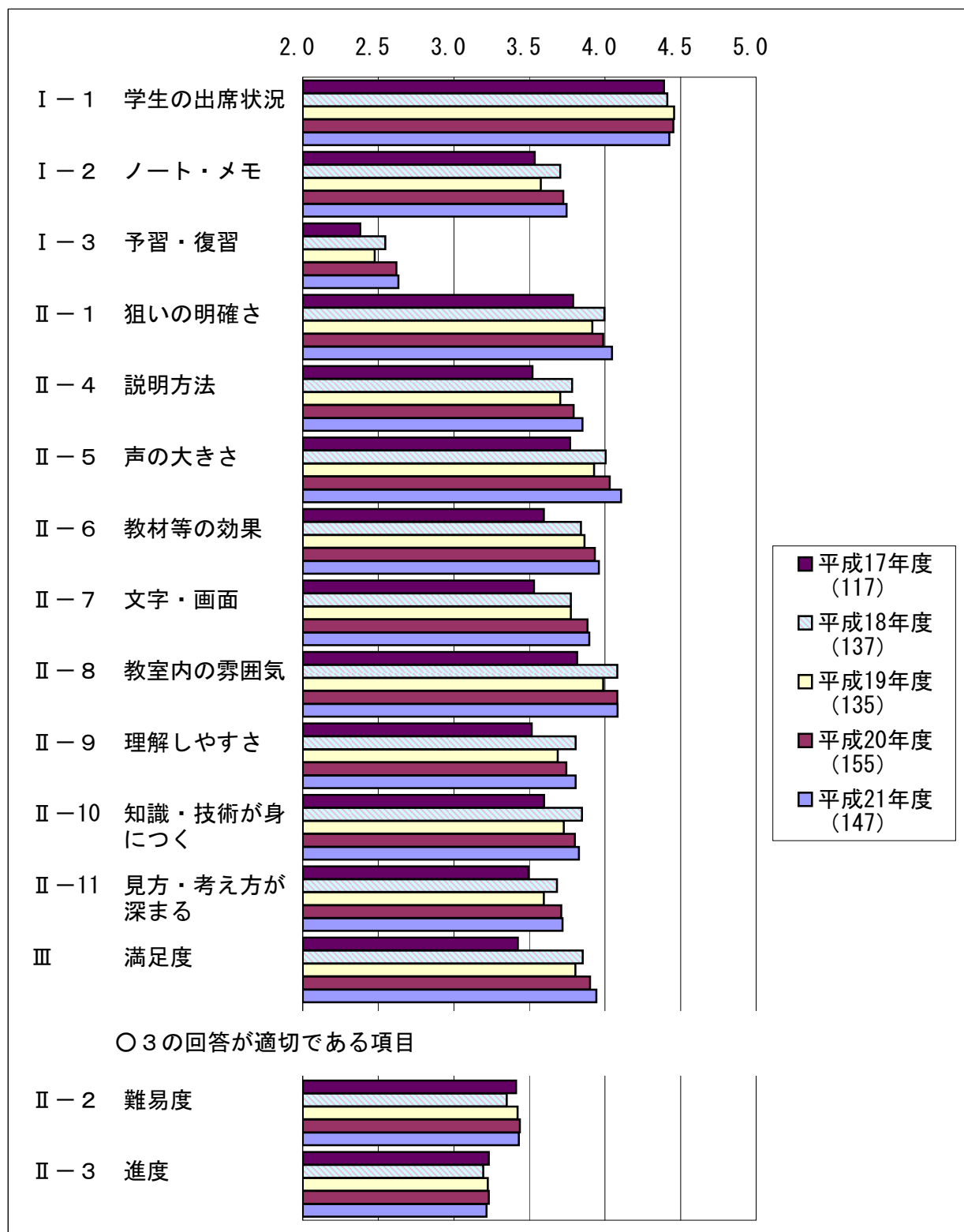
・工学部 実験・実習科目



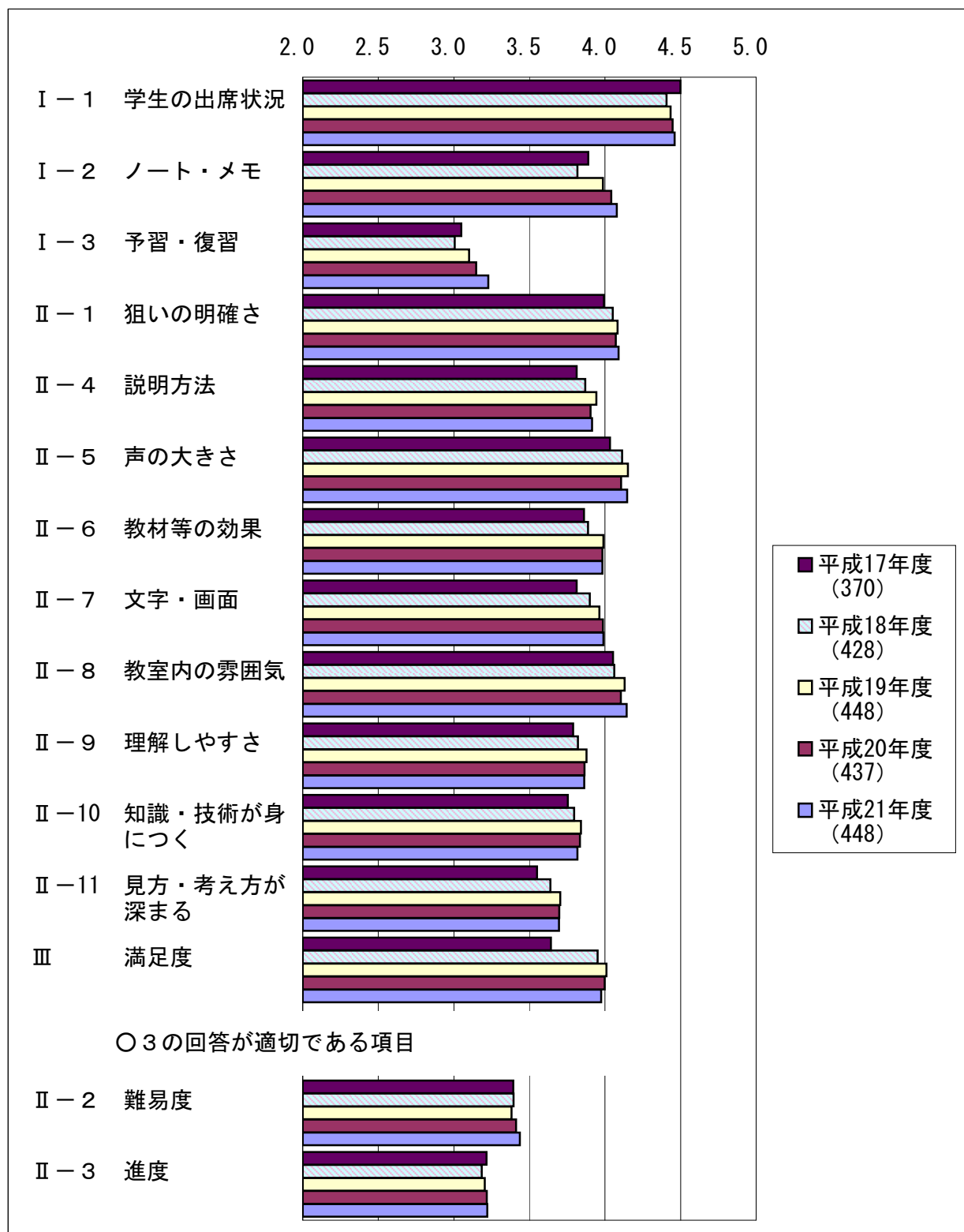
⑤ 国際学部専門科目



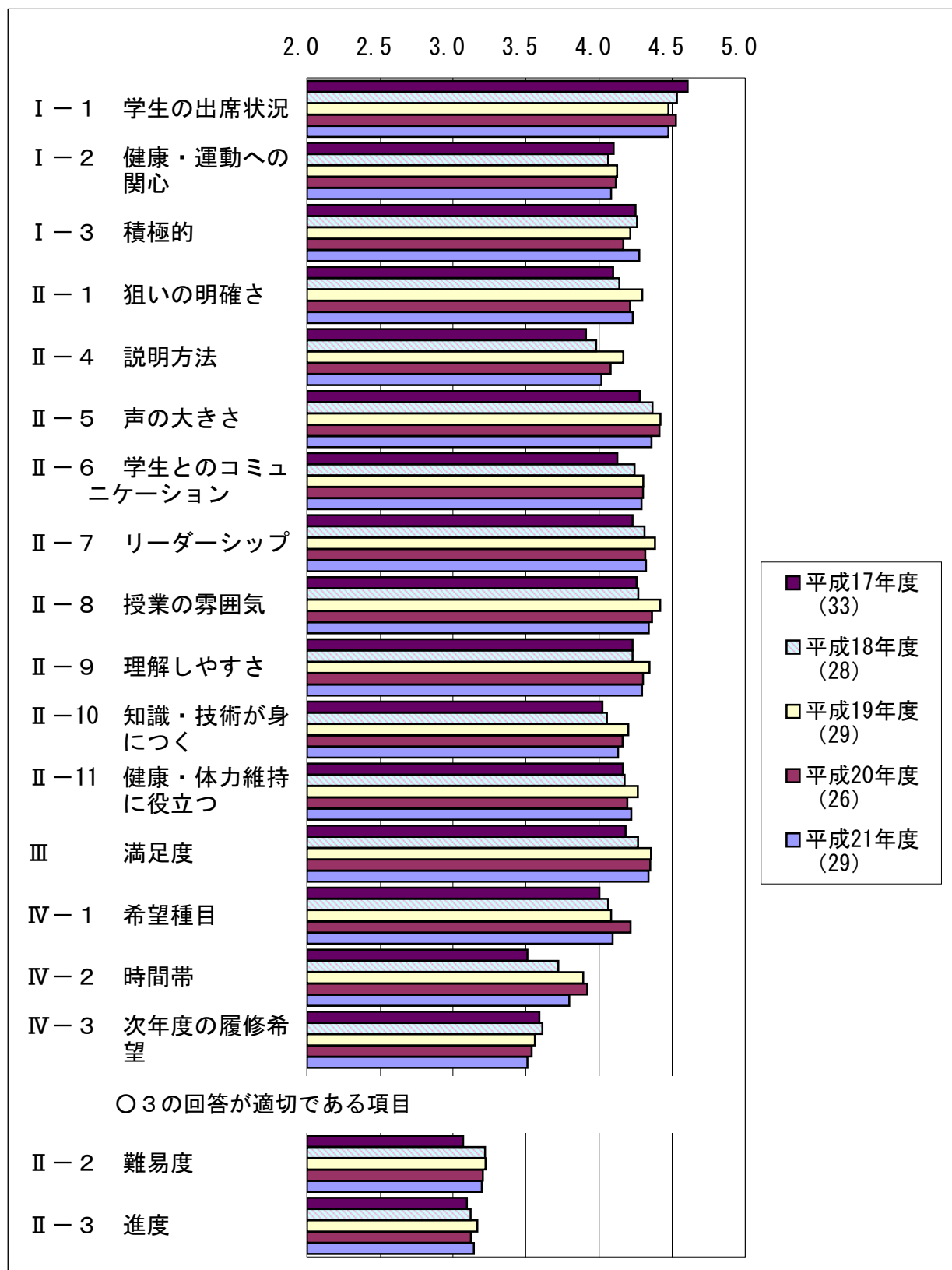
⑥ 教養教育科目



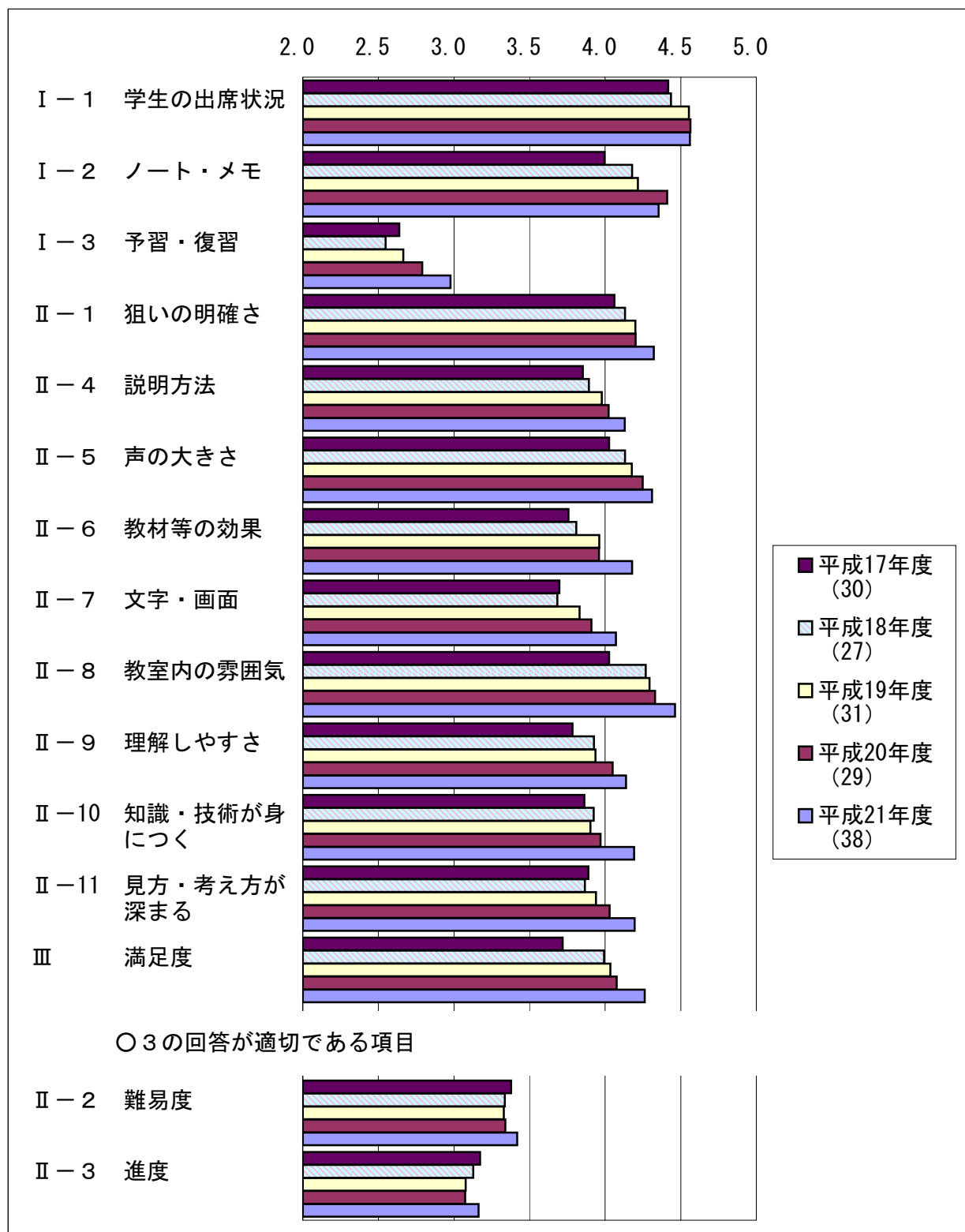
⑦ 外国語科目



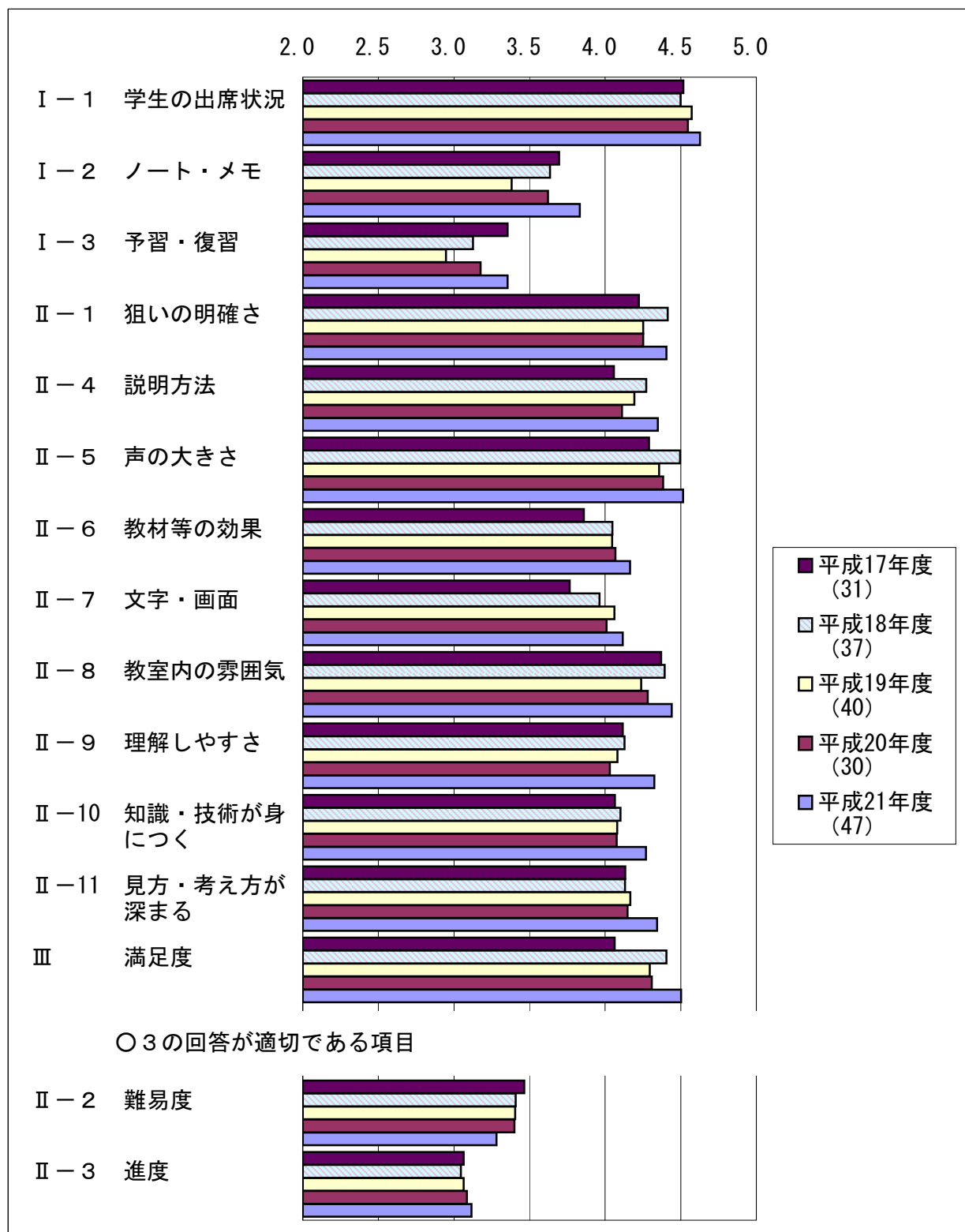
⑧ スポーツ・トレーニング科目



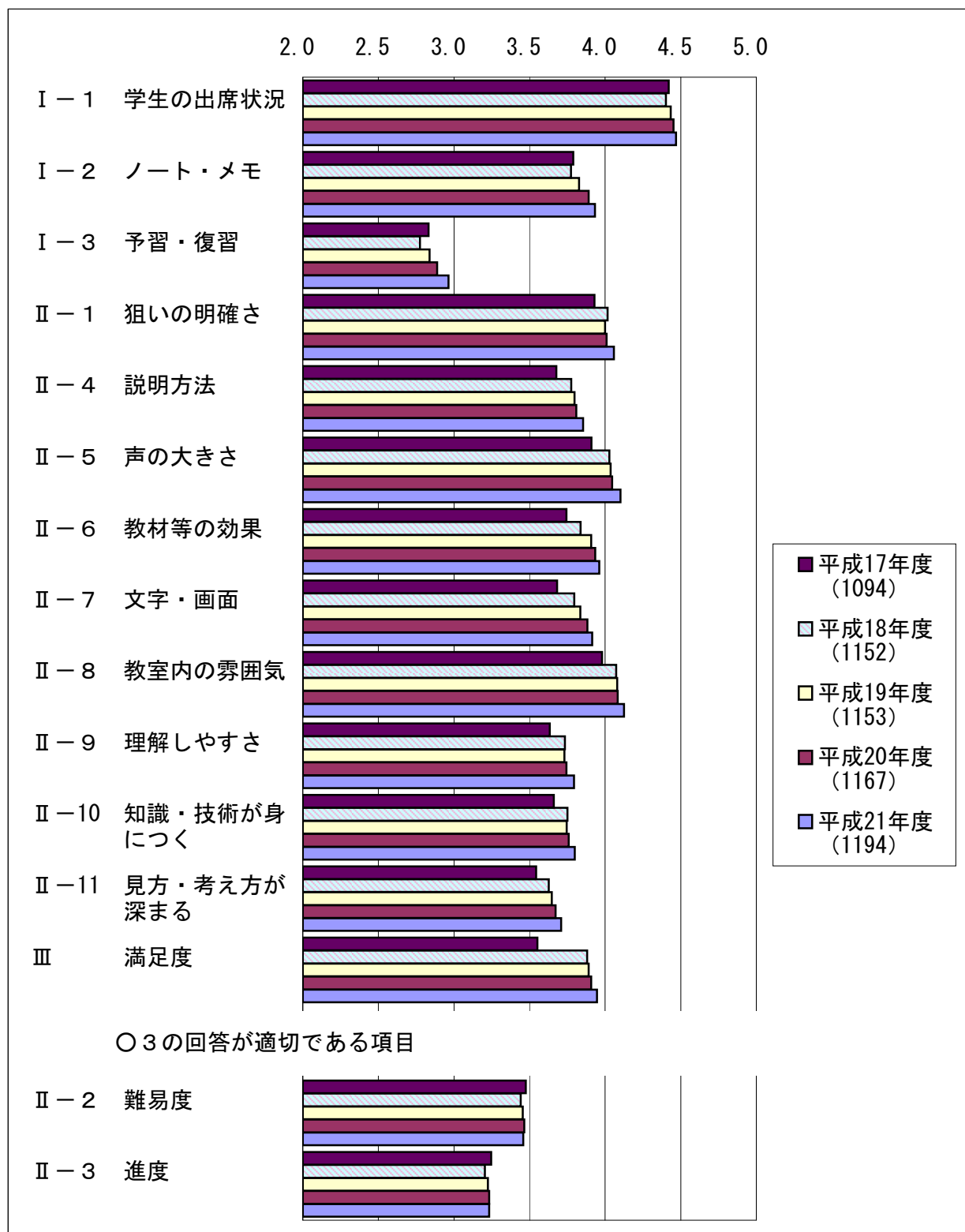
⑨ 教職・社教・日語科目



⑩ ゼミ・外書講読科目



⑪ 全体（講義等科目）



(2) 学生所属別平均値・標準偏差 (講義科目)

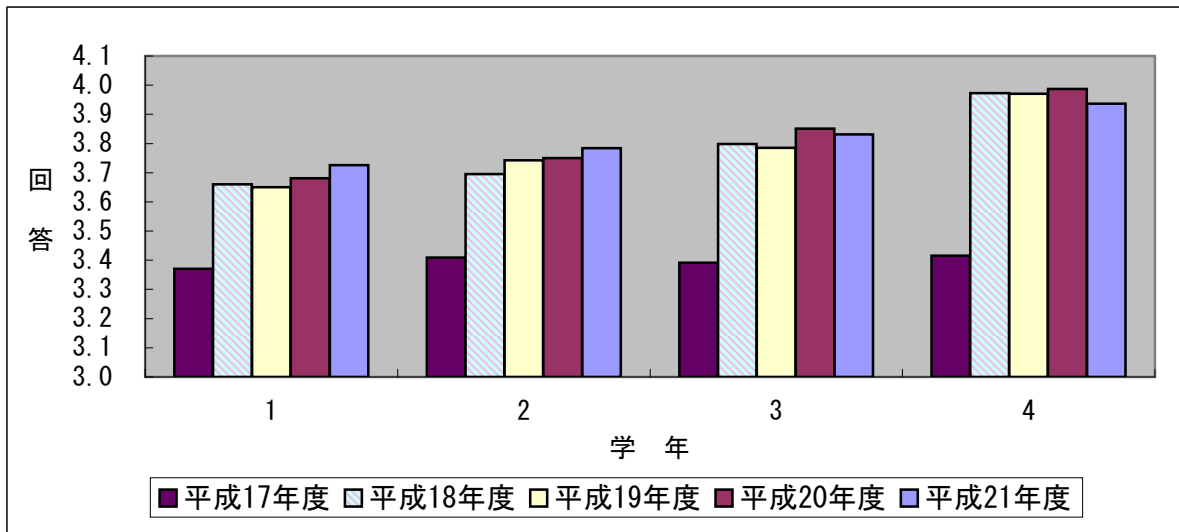
① 学年別

設問項目	区分	1年	2年	3年	4年
		回答件数: (12993)	回答件数: (12515)	回答件数: (8671)	回答件数: (2704)
I-1 学生の出席状況	平均値	4.53	4.50	4.47	4.06
	標準偏差	0.81	0.80	0.83	1.00
I-2 ノート・メモ	平均値	3.79	3.93	3.91	3.87
	標準偏差	1.23	1.13	1.15	1.16
I-3 予習・復習	平均値	2.70	2.79	2.72	2.64
	標準偏差	1.24	1.21	1.23	1.21
II-1 狙いの明確さ	平均値	3.87	3.93	3.95	4.03
	標準偏差	1.02	0.99	0.99	0.97
II-4 説明方法	平均値	3.63	3.70	3.72	3.84
	標準偏差	1.08	1.04	1.05	1.02
II-5 声の大きさ	平均値	3.89	3.97	3.97	4.07
	標準偏差	1.08	1.03	1.04	1.03
II-6 教材等の効果	平均値	3.83	3.86	3.92	3.98
	標準偏差	1.09	1.07	1.08	1.07
II-7 文字・画面	平均値	3.74	3.80	3.82	3.88
	標準偏差	1.09	1.07	1.09	1.10
II-8 教室内の雰囲気	平均値	3.84	3.93	3.97	4.01
	標準偏差	1.04	1.01	1.01	1.03
II-9 理解しやすさ	平均値	3.58	3.62	3.65	3.76
	標準偏差	1.05	1.03	1.02	0.97
II-10 知識・技術が身につく	平均値	3.59	3.62	3.68	3.76
	標準偏差	1.03	1.01	1.02	0.97
II-11 見方・考え方が深まる	平均値	3.50	3.55	3.66	3.71
	標準偏差	1.06	1.04	1.04	1.02
III 満足度	平均値	3.73	3.78	3.83	3.94
	標準偏差	1.08	1.06	1.04	1.01

○3の回答が適切である項目

II-2 難易度	平均値	3.49	3.51	3.48	3.40
	標準偏差	0.82	0.79	0.77	0.79
II-3 進度	平均値	3.29	3.27	3.24	3.18
	標準偏差	0.71	0.68	0.66	0.65

○学年別満足度 (平均値)



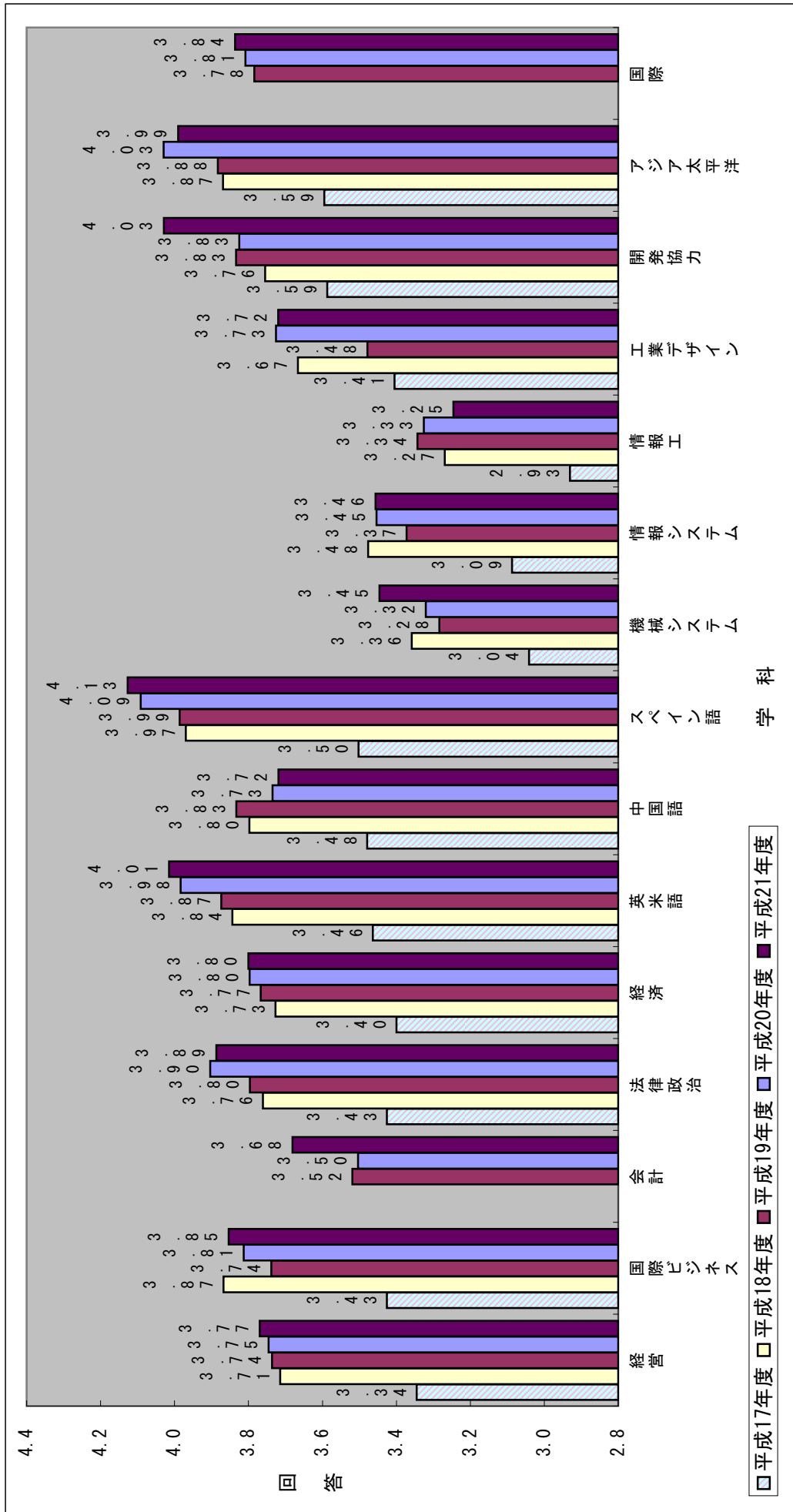
② 学科別

設問項目	区分	経営	国際ビジネス	会計	法律政治	経済	英米語	中国語	スペイン語	機械システム	情報システム	情報工	工業デザイン	開発協力	アジア太平洋	国際
		回答件数: (7316)	回答件数: (2536)	回答件数: (1353)	回答件数: (4187)	回答件数: (7203)	回答件数: (1364)	回答件数: (658)	回答件数: (803)	回答件数: (1005)	回答件数: (1176)	回答件数: (1227)	回答件数: (688)	回答件数: (207)	回答件数: (203)	回答件数: (7009)
I-1 学生の出席状況	平均値	4.51	4.46	4.63	4.48	4.42	4.57	4.45	4.46	4.65	4.63	4.57	4.43	3.87	3.68	4.41
	標準偏差	0.81	0.85	0.77	0.83	0.86	0.75	0.85	0.80	0.75	0.79	0.73	0.83	1.08	1.04	0.84
I-2 ノート・メモ	平均値	3.92	4.04	3.84	3.94	3.82	4.04	3.97	3.94	3.70	3.64	3.56	3.86	3.70	3.90	3.87
	標準偏差	1.17	1.14	1.24	1.16	1.22	1.09	1.13	1.15	1.25	1.26	1.18	1.14	1.21	1.04	1.13
I-3 予習・復習	平均値	2.66	2.77	2.52	2.71	2.63	2.78	2.86	3.18	2.63	2.74	2.61	2.39	2.59	2.79	2.98
	標準偏差	1.21	1.25	1.20	1.18	1.22	1.29	1.21	1.27	1.18	1.20	1.12	1.20	1.27	1.26	1.22
II-1 狙いの明確さ	平均値	3.92	4.02	3.81	4.00	3.92	4.11	3.84	4.13	3.64	3.72	3.56	3.76	4.14	4.08	3.97
	標準偏差	1.01	0.98	1.01	0.95	0.98	0.98	1.06	0.92	1.00	1.09	1.03	1.07	0.97	1.00	0.98
II-4 説明方法	平均値	3.68	3.79	3.54	3.76	3.69	3.92	3.66	3.99	3.33	3.41	3.31	3.55	4.03	3.82	3.75
	標準偏差	1.05	1.03	1.07	1.01	1.04	1.01	1.05	0.95	1.04	1.10	1.07	1.12	0.97	1.01	1.05
II-5 声の大きさ	平均値	3.95	4.01	3.88	4.03	3.93	4.16	3.96	4.20	3.49	3.72	3.64	3.79	4.22	4.10	4.01
	標準偏差	1.07	1.02	1.00	0.99	1.06	1.04	1.09	0.96	1.13	1.14	1.08	1.13	0.96	0.98	1.01
II-6 教材等の効果	平均値	3.87	3.91	3.78	3.93	3.90	4.01	3.70	4.01	3.61	3.69	3.66	3.87	3.97	4.10	3.89
	標準偏差	1.10	1.09	1.04	1.08	1.06	1.05	1.18	1.03	1.08	1.11	1.07	1.08	1.09	0.91	1.06
II-7 文字・画面	平均値	3.78	3.84	3.65	3.82	3.82	3.91	3.68	4.02	3.43	3.47	3.55	3.67	4.02	3.90	3.87
	標準偏差	1.11	1.09	1.05	1.09	1.08	1.08	1.17	0.98	1.10	1.15	1.06	1.09	1.01	1.03	1.02
II-8 教室内の雰囲気	平均値	3.86	3.94	3.86	4.05	3.93	4.07	3.82	4.16	3.57	3.57	3.49	3.79	4.13	4.05	4.00
	標準偏差	1.05	1.01	0.98	1.00	1.02	1.04	1.07	0.91	1.01	1.09	1.01	1.05	0.97	1.02	0.97
II-9 理解しやすさ	平均値	3.58	3.67	3.43	3.71	3.61	3.89	3.61	3.95	3.29	3.32	3.10	3.60	4.03	3.82	3.74
	標準偏差	1.06	1.02	1.02	0.96	1.00	0.96	1.05	0.93	1.01	1.07	1.09	1.00	0.91	0.99	1.02
II-10 知識・技術が身につく	平均値	3.59	3.71	3.47	3.73	3.62	3.90	3.60	4.02	3.32	3.36	3.10	3.56	3.89	3.81	3.73
	標準偏差	1.03	1.01	1.01	0.95	0.99	0.96	1.06	0.88	0.98	1.05	1.06	0.99	0.96	0.99	1.02
II-11 見方・考え方が深まる	平均値	3.51	3.66	3.37	3.72	3.56	3.77	3.42	3.89	3.23	3.29	3.05	3.65	3.83	3.80	3.68
	標準偏差	1.05	1.05	1.03	0.99	1.04	1.05	1.09	0.95	0.99	1.09	1.08	1.04	0.99	0.99	1.03
III 満足度	平均値	3.77	3.85	3.68	3.89	3.80	4.01	3.72	4.13	3.45	3.46	3.25	3.72	4.03	3.99	3.84
	標準偏差	1.07	1.04	1.02	1.02	1.02	1.04	1.12	0.93	1.06	1.11	1.09	1.06	0.99	1.01	1.08

○3の回答が適切である項目

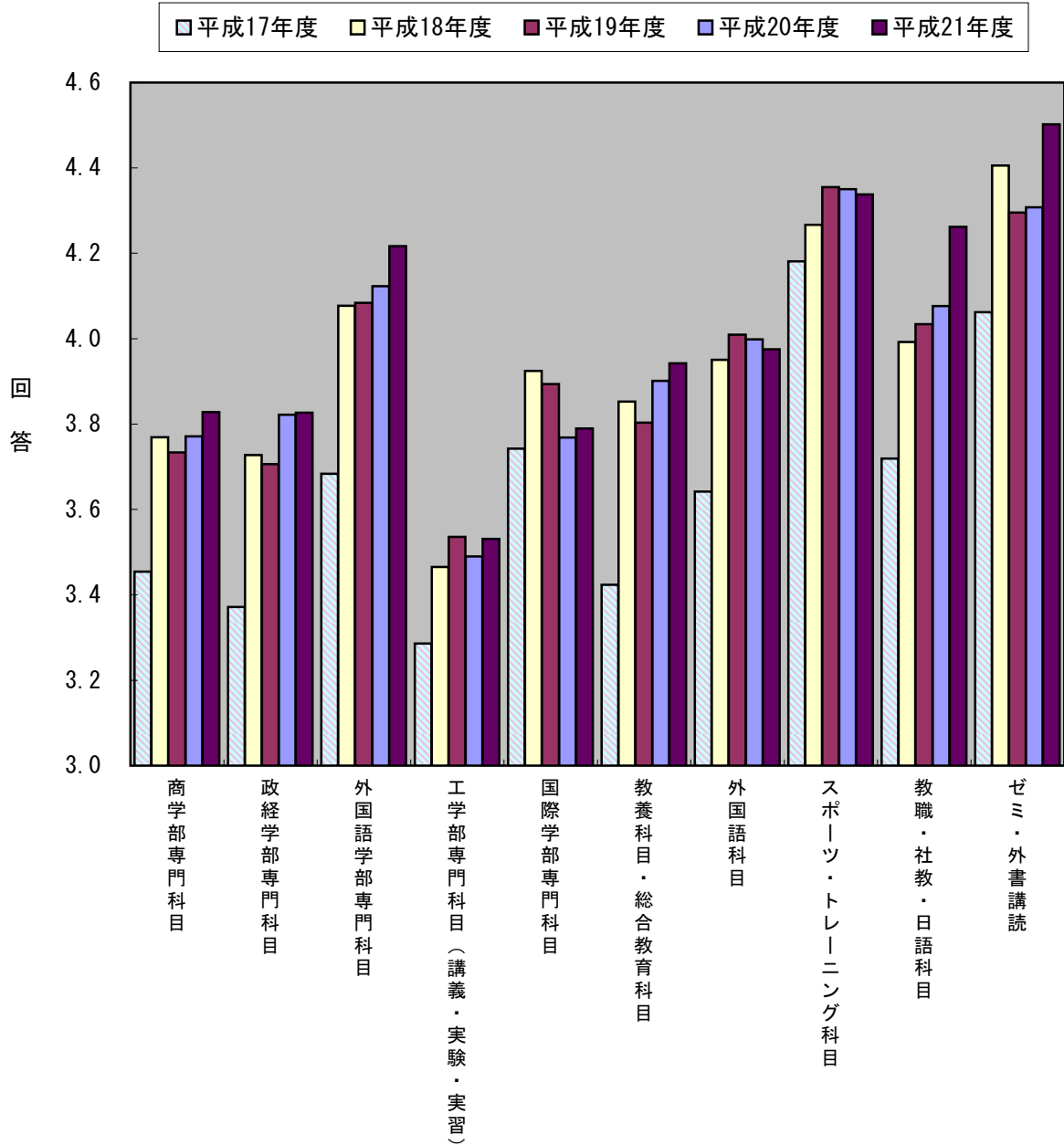
II-2 難易度	平均値	3.52	3.48	3.55	3.46	3.49	3.40	3.45	3.40	3.51	3.63	3.63	3.37	3.29	3.43	3.44
	標準偏差	0.81	0.75	0.86	0.76	0.81	0.72	0.80	0.75	0.76	0.90	0.88	0.83	0.74	0.70	0.76
II-3 進捗	平均値	3.29	3.25	3.30	3.25	3.25	3.21	3.24	3.25	3.36	3.40	3.30	3.18	3.11	3.15	3.24
	標準偏差	0.71	0.65	0.77	0.64	0.70	0.60	0.72	0.66	0.71	0.79	0.70	0.66	0.62	0.55	0.66

○学年別満足度（平均値）



(3) 満足度 平均値

① 学科目別

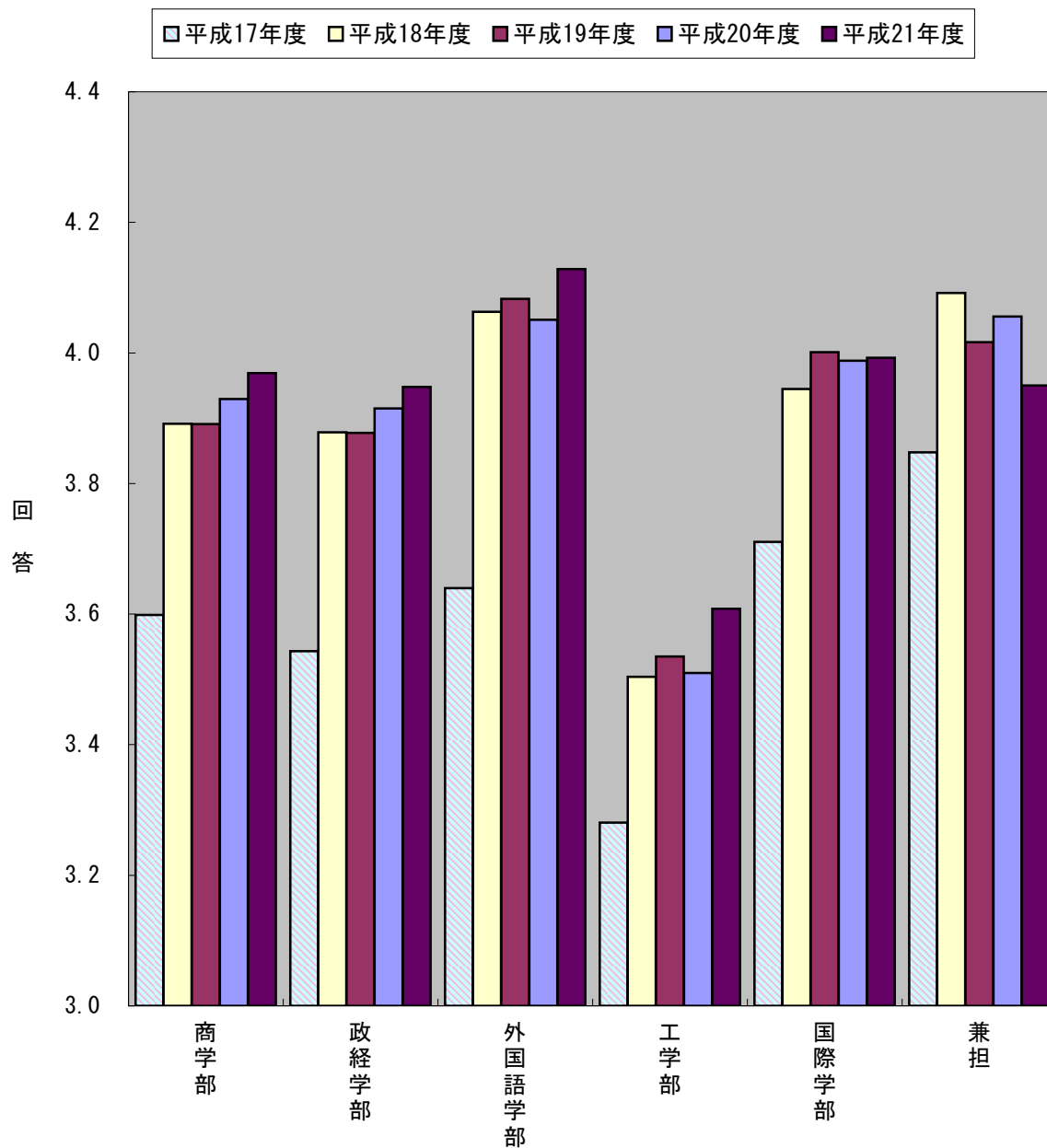


○科目数

平成17年度	108	126	121	125	102	117	370	33	30	31
平成18年度	115	140	108	111	83	137	428	28	27	37
平成19年度	118	137	111	110	61	135	448	29	31	40
平成20年度	126	141	101	108	72	155	437	26	29	30
平成21年度	130	142	105	106	65	147	448	29	38	47

学科目

② 所属別



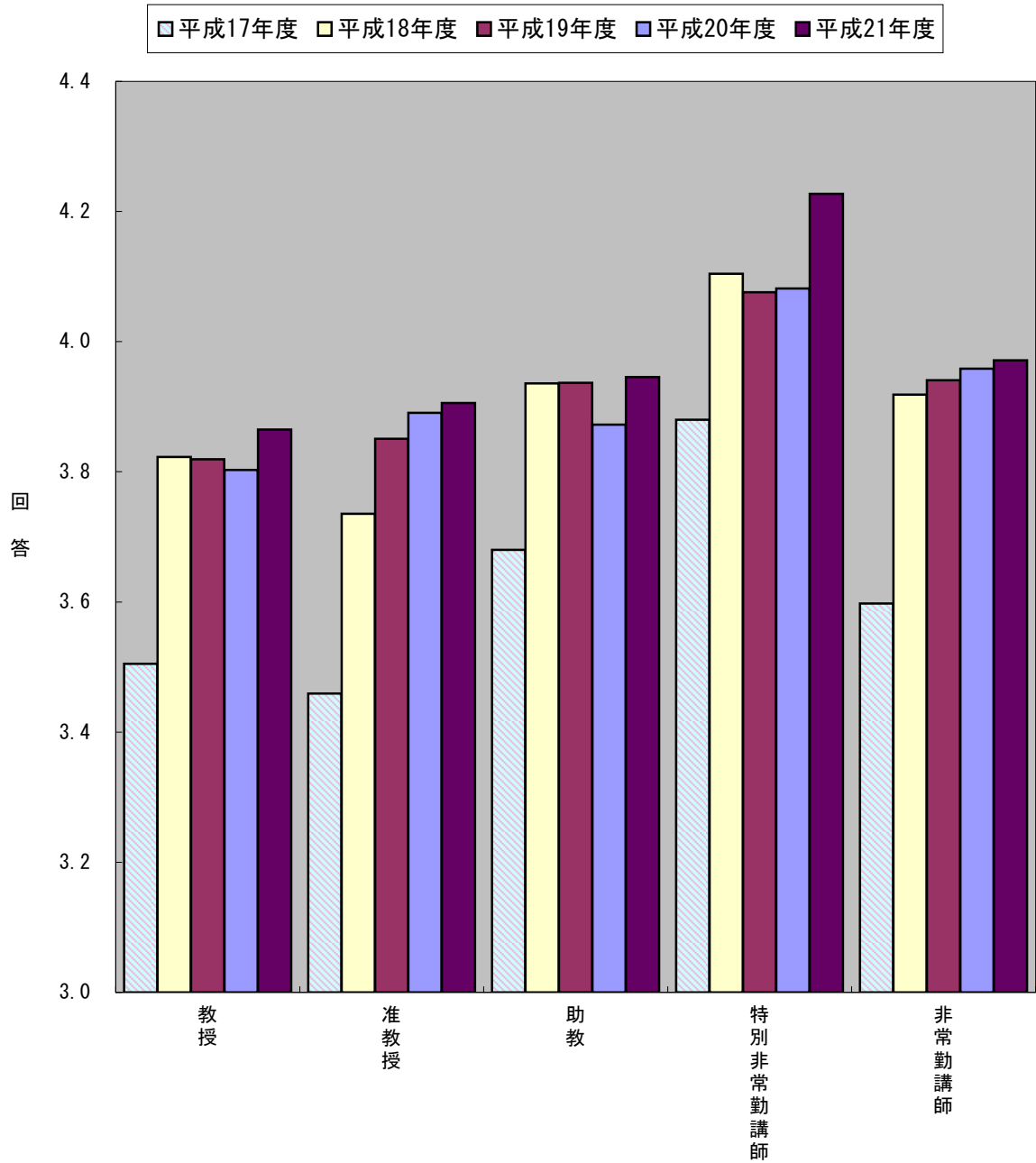
○人数

平成17年度	148	158	92	104	80	18
平成18年度	152	159	92	98	79	22
平成19年度	159	167	93	92	80	19
平成20年度	164	167	88	91	84	19
平成21年度	166	170	88	90	80	28

※講師（非常勤）を含む

学部

③ 身分別

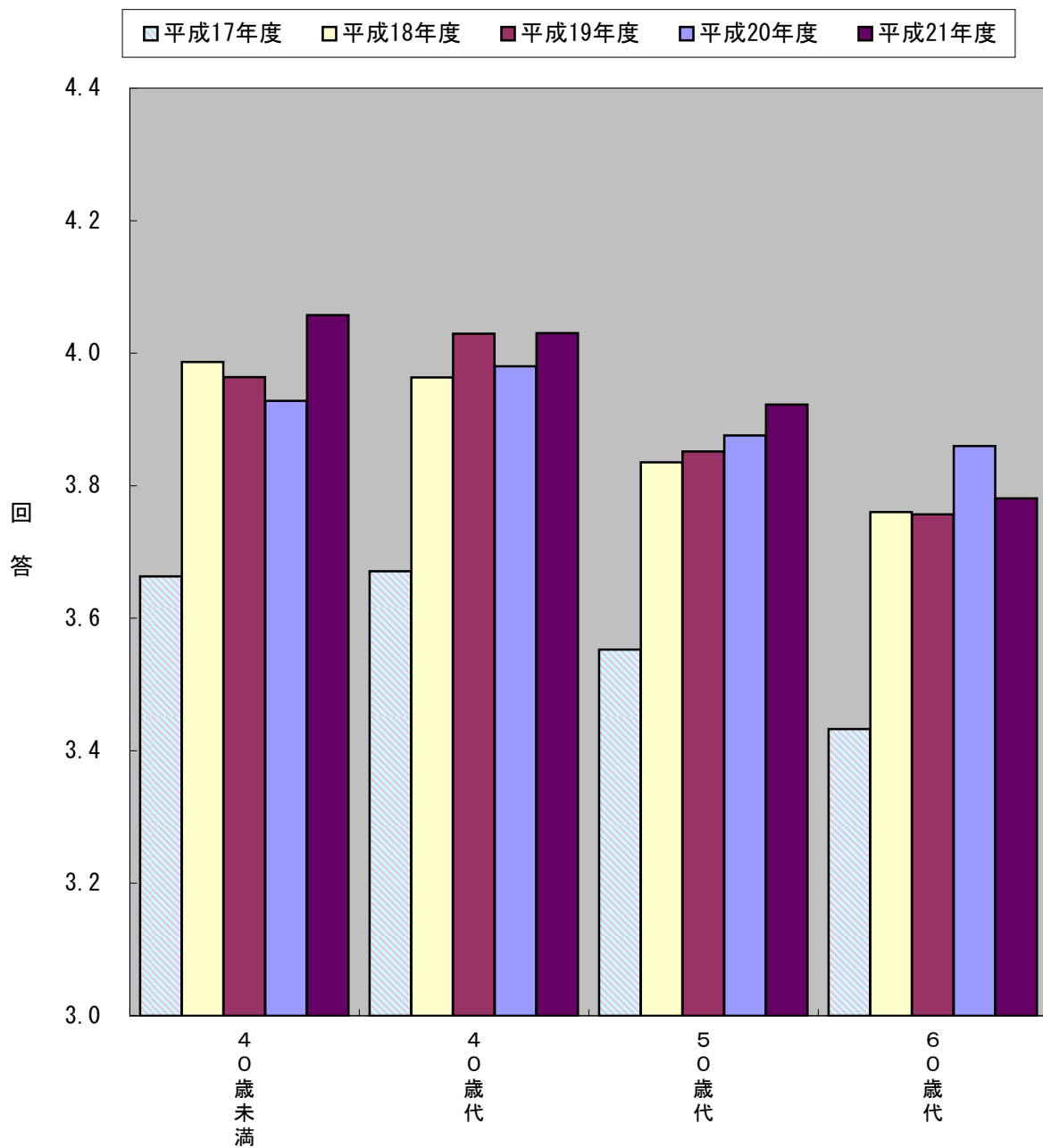


○人数

平成17年度	164	47	32	19	338
平成18年度	167	50	26	18	341
平成19年度	165	53	22	19	351
平成20年度	154	60	18	19	361
平成21年度	159	63	14	21	365

身分

④ 年齢別



○人数

平成17年度	99	165	187	149
平成18年度	99	161	188	151
平成19年度	103	162	195	150
平成20年度	99	174	183	146
平成21年度	106	176	195	143

年齢

5. 学科目別 回答の分析

(1) 商学部専門科目

設問／回答	①	②	③	④	⑤
I-1	1.02%	1.36%	8.57%	22.86%	66.18%
I-2	4.84%	4.82%	16.26%	30.90%	43.19%
I-3	21.22%	18.31%	34.74%	17.49%	8.23%
I-4	12.66%	2.23%	44.33%	12.89%	27.90%
II-1	1.99%	4.93%	20.96%	38.98%	33.15%
II-2	0.78%	2.75%	47.39%	36.98%	12.09%
II-3	0.75%	3.72%	65.92%	22.49%	7.12%
II-4	3.14%	7.82%	29.82%	34.42%	24.80%
II-5	1.97%	5.24%	21.64%	33.92%	37.23%
II-6	2.15%	4.41%	24.00%	34.74%	34.69%
II-7	3.06%	7.67%	24.66%	32.02%	32.59%
II-8	1.69%	5.65%	24.75%	35.22%	32.70%
II-9	3.38%	8.57%	32.16%	36.92%	18.98%
II-10	2.80%	6.82%	32.63%	38.97%	18.77%
II-11	3.50%	7.52%	35.26%	35.25%	18.46%
III	2.67%	5.73%	26.87%	37.17%	27.57%

(2) 政経学部専門科目

設問／回答	①	②	③	④	⑤
I-1	0.74%	1.33%	11.16%	24.69%	62.09%
I-2	8.31%	6.09%	20.31%	27.88%	37.40%
I-3	24.14%	18.49%	36.58%	13.59%	7.19%
I-4	17.09%	2.81%	32.59%	13.79%	33.72%
II-1	2.19%	4.60%	23.62%	37.61%	31.98%
II-2	0.94%	2.72%	49.13%	36.20%	11.01%
II-3	0.81%	3.28%	68.70%	20.88%	6.33%
II-4	3.66%	7.32%	31.39%	34.95%	22.67%
II-5	2.74%	6.21%	23.87%	32.46%	34.71%
II-6	2.26%	3.83%	24.20%	33.89%	35.82%
II-7	3.50%	7.14%	25.44%	31.49%	32.44%
II-8	2.15%	4.69%	23.05%	32.79%	37.32%
II-9	2.87%	7.25%	34.09%	37.12%	18.67%
II-10	2.58%	6.24%	32.60%	39.49%	19.10%
II-11	3.27%	6.24%	34.42%	35.77%	20.30%
III	2.42%	4.67%	27.32%	38.86%	26.74%

(3) 外国語学部専門科目

設問／回答	①	②	③	④	⑤
I-1	0.40%	0.85%	10.90%	23.04%	64.81%
I-2	3.58%	4.83%	17.44%	32.16%	41.99%
I-3	11.67%	14.01%	32.29%	26.03%	16.00%
I-4	5.27%	1.39%	51.83%	14.28%	27.23%
II-1	1.59%	3.53%	15.14%	36.14%	43.60%
II-2	0.91%	5.30%	53.53%	33.37%	6.89%
II-3	1.02%	3.92%	69.05%	20.84%	5.17%
II-4	1.87%	4.09%	20.95%	36.85%	36.23%
II-5	2.10%	3.86%	13.86%	29.66%	50.51%
II-6	2.36%	3.28%	21.99%	35.58%	36.79%
II-7	2.22%	4.51%	22.65%	34.57%	36.05%
II-8	1.82%	3.01%	15.66%	33.20%	46.31%
II-9	1.76%	4.04%	19.44%	44.29%	30.47%
II-10	1.48%	3.07%	20.74%	44.09%	30.63%
II-11	2.33%	4.78%	29.58%	35.10%	28.21%
III	1.93%	3.47%	16.93%	36.08%	41.59%

(4) 工学部専門科目 (講義科目)

設問/回答	①	②	③	④	⑤
I-1	0.45%	0.91%	7.42%	18.37%	72.85%
I-2	8.45%	8.39%	25.78%	29.34%	28.04%
I-3	20.06%	20.19%	39.86%	14.23%	5.67%
I-4	9.48%	2.66%	62.39%	8.54%	16.94%
II-1	3.64%	7.05%	30.81%	37.44%	21.07%
II-2	0.71%	2.53%	41.73%	38.25%	16.77%
II-3	0.45%	2.14%	63.69%	25.50%	8.21%
II-4	6.88%	11.13%	38.82%	29.31%	13.86%
II-5	5.11%	8.23%	30.63%	32.07%	23.97%
II-6	3.91%	5.54%	31.80%	34.51%	24.23%
II-7	4.63%	9.23%	35.70%	31.56%	18.88%
II-8	3.26%	7.49%	37.76%	32.36%	19.13%
II-9	7.22%	13.24%	40.61%	29.42%	9.50%
II-10	6.42%	11.18%	42.39%	30.17%	9.84%
II-11	7.01%	11.64%	44.10%	26.21%	11.05%
III	6.20%	8.88%	39.18%	31.02%	14.72%

(5) 工学部専門科目 (実験・実習科目)

設問/回答	①	②	③	④	⑤
I-1	0.14%	0.29%	5.21%	12.38%	81.97%
I-2	9.26%	8.82%	31.31%	30.37%	20.25%
I-3	2.24%	2.75%	20.98%	32.13%	41.90%
I-4	0.66%	3.94%	31.48%	38.50%	25.42%
II-1	1.30%	4.20%	22.16%	42.80%	29.54%
II-2	0.29%	2.47%	39.09%	44.31%	13.85%
II-3	0.44%	3.07%	60.70%	28.12%	7.67%
II-4	3.76%	8.46%	33.84%	36.88%	17.06%
II-5	1.75%	5.40%	28.30%	37.49%	27.06%
II-6	1.39%	4.67%	34.16%	35.33%	24.45%
II-7	1.67%	4.58%	35.97%	36.34%	21.44%
II-8	1.24%	4.87%	33.38%	38.98%	21.53%
II-9	3.05%	8.79%	34.38%	38.30%	15.48%
II-10	1.74%	6.08%	32.51%	42.00%	17.67%
II-11	1.96%	6.59%	34.18%	38.23%	19.04%
III	2.32%	5.95%	30.24%	38.58%	22.92%

(6) 国際学部専門科目

設問/回答	①	②	③	④	⑤
I-1	0.41%	1.25%	13.12%	29.11%	56.12%
I-2	6.47%	7.23%	24.88%	28.70%	32.73%
I-3	22.43%	18.40%	36.88%	15.27%	7.02%
I-4	13.75%	1.93%	36.52%	16.28%	31.52%
II-1	3.20%	5.63%	24.91%	35.93%	30.33%
II-2	0.62%	3.11%	58.14%	30.54%	7.58%
II-3	0.87%	3.01%	74.55%	16.91%	4.67%
II-4	4.39%	8.26%	30.75%	32.35%	24.26%
II-5	2.87%	5.86%	24.91%	31.01%	35.35%
II-6	3.24%	4.42%	27.95%	33.32%	31.08%
II-7	3.96%	6.73%	28.71%	32.13%	28.47%
II-8	2.25%	4.99%	24.91%	34.80%	33.06%
II-9	4.04%	7.78%	31.58%	34.91%	21.69%
II-10	3.92%	7.19%	31.57%	36.15%	21.18%
II-11	4.19%	7.15%	31.60%	34.13%	22.93%
III	4.02%	6.09%	27.62%	34.95%	27.32%

(7) 教養科目

設問/回答	①	②	③	④	⑤
I-1	1.05%	1.23%	10.83%	23.16%	63.74%
I-2	7.73%	7.03%	21.10%	28.57%	35.56%
I-3	29.25%	20.43%	33.71%	10.72%	5.88%
I-4	20.23%	3.18%	33.18%	9.49%	33.92%
II-1	3.02%	5.07%	25.24%	36.22%	30.45%
II-2	0.89%	3.43%	53.53%	31.75%	10.40%
II-3	0.90%	3.04%	69.75%	19.70%	6.61%
II-4	4.21%	7.86%	31.27%	33.76%	22.90%
II-5	3.38%	6.33%	23.40%	30.88%	36.01%
II-6	3.10%	4.78%	25.77%	32.37%	33.99%
II-7	4.35%	8.35%	27.61%	30.42%	29.27%
II-8	3.45%	7.94%	28.21%	31.53%	28.87%
II-9	4.15%	7.75%	33.24%	35.58%	19.28%
II-10	3.72%	7.35%	32.85%	37.31%	18.77%
II-11	4.43%	7.51%	34.98%	33.32%	19.76%
III	3.53%	5.99%	27.52%	36.48%	26.48%

(8) 外国語科目

設問/回答	①	②	③	④	⑤
I-1	0.38%	1.19%	11.29%	24.28%	62.86%
I-2	3.24%	4.31%	18.24%	34.14%	40.07%
I-3	10.88%	13.62%	36.75%	25.12%	13.62%
I-4	2.41%	2.19%	61.19%	10.22%	24.00%
II-1	1.27%	3.71%	19.49%	40.21%	35.32%
II-2	1.07%	3.81%	51.70%	33.70%	9.71%
II-3	0.72%	3.38%	70.64%	20.35%	4.90%
II-4	2.09%	5.50%	26.74%	36.07%	29.60%
II-5	1.28%	4.16%	19.69%	32.66%	42.21%
II-6	1.24%	2.99%	25.88%	36.47%	33.43%
II-7	1.41%	3.72%	26.11%	36.02%	32.74%
II-8	0.88%	2.76%	20.87%	36.74%	38.75%
II-9	1.99%	6.07%	28.18%	38.37%	25.39%
II-10	1.93%	5.33%	30.69%	39.41%	22.65%
II-11	2.66%	6.93%	37.03%	32.81%	20.57%
III	2.04%	4.40%	24.28%	36.86%	32.43%

(9) スポーツ・トレーニング科目

設問/回答	①	②	③	④	⑤
I-1	0.31%	0.63%	11.09%	22.81%	65.16%
I-2	1.25%	4.22%	17.66%	36.88%	40.00%
I-3		1.11%	13.51%	33.39%	51.99%
I-4	5.41%	5.19%	43.72%	11.47%	34.20%
II-1	0.31%	1.25%	14.71%	41.16%	42.57%
II-2	3.77%	3.45%	67.50%	16.95%	8.32%
II-3	1.72%	1.72%	81.44%	9.36%	5.77%
II-4	0.63%	1.88%	28.06%	31.97%	37.46%
II-5	0.16%	0.95%	13.00%	28.37%	57.53%
II-6	0.31%	2.03%	14.40%	35.05%	48.20%
II-7		1.57%	13.03%	34.22%	51.18%
II-8		0.63%	12.68%	38.18%	48.51%
II-9		0.78%	14.13%	36.42%	48.67%
II-10	0.31%	1.25%	19.87%	40.53%	38.03%
II-11	0.16%	0.94%	18.78%	36.31%	43.82%
III	0.16%	0.94%	12.76%	34.49%	51.65%

(10) 教職・社教・日語科目

設問／回答	①	②	③	④	⑤
I-1		0.43%	6.64%	25.91%	67.02%
I-2	0.75%	1.71%	8.77%	30.59%	58.18%
I-3	15.70%	16.88%	37.20%	20.11%	10.11%
I-4	3.10%	0.31%	69.49%	11.89%	15.20%
II-1	0.64%	3.00%	13.72%	36.87%	45.77%
II-2	0.21%	1.29%	62.02%	29.18%	7.30%
II-3	0.21%	1.93%	78.52%	14.50%	4.83%
II-4	1.40%	3.11%	21.70%	39.42%	34.37%
II-5	0.64%	2.90%	15.34%	35.19%	45.92%
II-6	1.18%	2.36%	20.92%	35.94%	39.59%
II-7	1.72%	5.48%	21.91%	37.81%	33.08%
II-8	0.21%	1.61%	13.49%	35.22%	49.46%
II-9	0.96%	3.43%	21.22%	41.05%	33.33%
II-10	0.54%	3.66%	19.89%	39.78%	36.13%
II-11	1.72%	2.47%	19.85%	38.84%	37.12%
III	0.86%	3.44%	17.98%	36.17%	41.55%

(11) ゼミ・外書講読

設問／回答	①	②	③	④	⑤
I-1		0.98%	8.01%	19.34%	71.68%
I-2	12.52%	5.68%	16.44%	28.38%	36.99%
I-3	11.02%	11.22%	32.48%	27.17%	18.11%
I-4	6.34%	3.60%	16.27%	21.40%	52.40%
II-1	0.39%	1.18%	11.37%	32.55%	54.51%
II-2	2.17%	3.15%	63.98%	24.41%	6.30%
II-3	0.19%	1.56%	87.52%	6.63%	4.09%
II-4	0.39%	1.36%	15.59%	32.16%	50.49%
II-5	0.19%	0.58%	11.11%	28.46%	59.65%
II-6	2.15%	2.35%	18.79%	31.51%	45.21%
II-7	2.35%	1.57%	21.76%	32.55%	41.76%
II-8	0.97%	0.58%	13.65%	30.60%	54.19%
II-9	0.78%	0.59%	13.89%	41.68%	43.05%
II-10	0.78%	1.56%	14.65%	40.23%	42.77%
II-11	0.59%	1.37%	13.67%	36.72%	47.66%
III	0.39%	0.98%	10.00%	30.00%	58.63%

(12) 全体（講義科目）

設問／回答	①	②	③	④	⑤
I-1	0.66%	1.20%	10.46%	23.83%	63.85%
I-2	6.05%	5.81%	19.80%	30.32%	38.03%
I-3	20.33%	17.55%	35.84%	17.29%	9.00%
I-4	13.37%	2.52%	42.34%	12.12%	29.65%
II-1	2.24%	4.70%	22.53%	37.80%	32.73%
II-2	0.88%	3.22%	51.26%	34.07%	10.56%
II-3	0.76%	3.18%	69.57%	20.42%	6.06%
II-4	3.48%	7.16%	29.71%	34.35%	25.29%
II-5	2.51%	5.50%	22.32%	32.13%	37.54%
II-6	2.38%	4.02%	25.56%	34.38%	33.66%
II-7	3.15%	6.59%	26.75%	32.74%	30.77%
II-8	2.07%	5.08%	24.47%	33.99%	34.39%
II-9	3.33%	7.48%	31.36%	36.73%	21.10%
II-10	2.99%	6.55%	31.83%	38.15%	20.48%
II-11	3.66%	7.12%	34.90%	33.70%	20.62%
III	2.95%	5.36%	26.65%	36.40%	28.63%

6. 学部設問項目 平均値・標準偏差

(1) 政経学部

設問項目		教員別	科目数	平均値	標準偏差
IV-1	この授業で使う教室の大きさ、施設・設備などは適切ですか	専任教員	124	3.77	1.01
		非常勤講師	171	3.96	0.53
IV-2	授業に支障をきたすような私語は無い	専任教員	124	4.09	0.53
		非常勤講師	171	3.89	0.77

(2) 外国語学部

設問項目		教員別	科目数	平均値	標準偏差
IV-1	この授業で使う教室の大きさ、施設・設備などは適切である	専任教員	97	4.16	0.55
		非常勤講師	94	4.01	0.55
IV-2	このクラスの学生数は適切ですか	専任教員	97	4.25	0.48
		非常勤講師	94	4.05	0.65

(3) 国際学部

設問項目		教員別	科目数	平均値	標準偏差
IV-1	授業の開始時間、終了時間は守られている	専任教員	94	4.45	0.33
		非常勤講師	150	4.41	0.40
IV-2	出欠はきちんととられている	専任教員	94	4.43	0.39
		非常勤講師	150	4.48	0.35
IV-3	授業中、学生同士の私語はない	専任教員	94	4.06	0.43
		非常勤講師	150	3.76	0.52
IV-4	1年生は今後進むコースを、2年生以降は所属するコースを選んでください。①国際協力、②国際経済、③国際政治、④国際文化、⑤国際観光	専任教員	94	2.51	0.95
		非常勤講師	150	2.84	0.73

IV コース・分野・学科別集計

1. 商学部専門科目（コース別）

区 分 項 目	学 科 コ ー ス 科 目 数	経 営			国際ビジネス		会 計	全 体
		経 営	経営情報	流 通	国際ビジネス	コミュニケーション		
		20	33	18	25	16	51	163
I-1	平均値	4.38	4.54	4.59	4.34	4.60	4.54	4.50
	標準偏差	0.22	0.21	0.25	0.37	0.29	0.28	0.29
I-2	平均値	3.93	2.91	4.14	3.86	4.12	3.89	3.74
	標準偏差	0.72	0.90	0.38	0.70	0.47	0.60	0.79
I-3	平均値	2.65	2.51	2.89	2.80	3.47	2.78	2.79
	標準偏差	0.49	0.44	0.57	0.61	0.68	0.50	0.58
II-1	平均値	3.87	3.94	4.20	4.13	4.44	3.96	4.05
	標準偏差	0.43	0.44	0.37	0.36	0.42	0.52	0.47
II-4	平均値	3.68	3.66	4.02	3.94	4.02	3.64	3.77
	標準偏差	0.38	0.52	0.39	0.45	0.37	0.62	0.52
II-5	平均値	3.92	3.95	4.23	4.24	4.35	4.00	4.08
	標準偏差	0.41	0.50	0.38	0.36	0.36	0.51	0.47
II-6	平均値	3.66	4.07	4.17	4.07	4.17	3.81	3.96
	標準偏差	0.58	0.40	0.34	0.39	0.55	0.43	0.47
II-7	平均値	3.64	4.04	4.04	4.03	4.28	3.68	3.90
	標準偏差	0.60	0.45	0.38	0.44	0.46	0.58	0.55
II-8	平均値	3.73	4.00	4.06	4.17	4.33	4.13	4.07
	標準偏差	0.39	0.45	0.56	0.44	0.39	0.46	0.47
II-9	平均値	3.50	3.65	3.92	3.80	4.20	3.49	3.69
	標準偏差	0.50	0.47	0.37	0.48	0.48	0.50	0.52
II-10	平均値	3.51	3.75	3.92	3.81	4.20	3.61	3.75
	標準偏差	0.49	0.41	0.35	0.39	0.47	0.45	0.47
II-11	平均値	3.48	3.48	3.89	3.80	4.20	3.46	3.64
	標準偏差	0.46	0.45	0.50	0.42	0.51	0.44	0.51
III	平均値	3.73	3.81	4.06	3.99	4.32	3.74	3.88
	標準偏差	0.54	0.52	0.51	0.42	0.43	0.55	0.53

※3の回答が適切である項目

II-2	平均値	3.43	3.56	3.46	3.48	3.45	3.63	3.53
	標準偏差	0.32	0.28	0.15	0.31	0.31	0.34	0.31
II-3	平均値	3.23	3.44	3.28	3.20	3.14	3.28	3.28
	標準偏差	0.20	0.29	0.19	0.22	0.27	0.23	0.25

※1-4「受講動機」回答の分布（複数回答可）

単位：%

回 答 / コース	経 営	経営情報	流 通	国際ビジネス	コミュニケーション	会 計	全 体
1. 講義への興味	14.5	12.3	11.0	12.4	3.4	12.3	12.2
2. 教員にひかれて	3.3	2.8	2.1	1.2	1.1	1.9	2.2
3. 単位が必要	44.8	45.7	39.8	37.6	44.7	49.8	43.6
4. 単位取得が楽	14.0	11.8	13.5	14.3	13.7	11.2	13.1
5. 時間帯が空いている	23.4	27.4	33.7	34.5	37.0	24.8	28.9
合 計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

2. 政経学部専門科目（分野別）

区分	分野	法律	政治	行政	経済	全体
設問	科目数	25	30	9	66	130
I-1	平均値	4.47	4.51	4.42	4.44	4.46
	標準偏差	0.21	0.25	0.36	0.29	0.27
I-2	平均値	3.99	4.12	3.77	3.92	3.97
	標準偏差	0.61	0.61	0.63	0.58	0.60
I-3	平均値	2.64	2.73	2.65	2.67	2.67
	標準偏差	0.33	0.49	0.38	0.58	0.50
II-1	平均値	4.06	4.04	4.01	3.94	3.99
	標準偏差	0.46	0.44	0.29	0.42	0.42
II-4	平均値	3.78	3.77	3.73	3.75	3.76
	標準偏差	0.45	0.39	0.52	0.56	0.50
II-5	平均値	4.06	4.05	4.13	3.96	4.01
	標準偏差	0.49	0.46	0.45	0.57	0.52
II-6	平均値	4.03	3.86	3.84	3.97	3.95
	標準偏差	0.41	0.52	0.32	0.45	0.45
II-7	平均値	3.80	3.72	3.83	3.83	3.80
	標準偏差	0.51	0.62	0.54	0.59	0.58
II-8	平均値	4.25	4.33	4.27	4.11	4.20
	標準偏差	0.50	0.44	0.35	0.46	0.46
II-9	平均値	3.68	3.79	3.63	3.64	3.68
	標準偏差	0.36	0.45	0.39	0.49	0.45
II-10	平均値	3.77	3.84	3.65	3.63	3.71
	標準偏差	0.36	0.41	0.26	0.46	0.42
II-11	平均値	3.75	3.83	3.77	3.65	3.72
	標準偏差	0.38	0.42	0.34	0.52	0.46
III	平均値	3.90	3.97	3.83	3.88	3.90
	標準偏差	0.40	0.39	0.32	0.52	0.46

※3の回答が適切である項目

II-2	平均値	3.53	3.51	3.49	3.51	3.51
	標準偏差	0.18	0.28	0.37	0.29	0.27
II-3	平均値	3.27	3.33	3.15	3.20	3.24
	標準偏差	0.15	0.32	0.19	0.19	0.22

※1-4「受講動機」回答の分布（複数回答可）

単位：%

回答 / 分野	法律	政治	行政	経済	全体
1. 講義への興味	16.6	15.9	15.3	18.0	17.2
2. 教員にひかれて	1.2	2.3	2.4	3.6	2.8
3. 単位が必要	29.7	28.8	30.6	33.8	31.9
4. 単位取得が楽	12.7	15.0	16.5	14.2	14.2
5. 時間帯が空いている	39.8	38.0	35.2	30.4	33.9
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

3. 外国語学部専門科目（学科別）

区 分	学 科	英米語	中国語	スペイン語	全 体
設 問	科目数	51	22	40	113
I-1	平均値	4.52	4.52	4.42	4.48
	標準偏差	0.30	0.36	0.38	0.34
I-2	平均値	3.97	4.07	4.03	4.01
	標準偏差	0.56	0.50	0.63	0.57
I-3	平均値	3.20	3.14	3.45	3.27
	標準偏差	0.57	0.56	0.76	0.65
II-1	平均値	4.33	4.06	4.25	4.25
	標準偏差	0.40	0.59	0.37	0.44
II-4	平均値	4.19	3.88	4.16	4.12
	標準偏差	0.37	0.57	0.42	0.45
II-5	平均値	4.39	4.12	4.38	4.34
	標準偏差	0.46	0.63	0.37	0.48
II-6	平均値	4.18	3.80	4.02	4.05
	標準偏差	0.43	0.57	0.44	0.48
II-7	平均値	4.19	3.81	4.03	4.06
	標準偏差	0.47	0.60	0.45	0.51
II-8	平均値	4.37	4.11	4.32	4.30
	標準偏差	0.40	0.57	0.31	0.42
II-9	平均値	4.16	3.86	4.07	4.07
	標準偏差	0.39	0.56	0.41	0.44
II-10	平均値	4.17	3.82	4.14	4.09
	標準偏差	0.35	0.53	0.37	0.42
II-11	平均値	4.00	3.56	4.02	3.92
	標準偏差	0.43	0.51	0.36	0.46
III	平均値	4.31	3.92	4.30	4.24
	標準偏差	0.38	0.59	0.38	0.45

※3の回答が適切である項目

II-2	平均値	3.31	3.39	3.39	3.36
	標準偏差	0.38	0.39	0.33	0.36
II-3	平均値	3.14	3.27	3.25	3.20
	標準偏差	0.23	0.39	0.31	0.30

※1-4「受講動機」回答の分布（複数回答可）

単位：%

回 答 / 学 科	英米語	中国語	スペイン語	全 体
1. 講義への興味	5.5	2.9	5.8	5.1
2. 教員にひかれて	1.1	2.6	0.9	1.3
3. 単位が必要	44.6	69.9	45.9	49.8
4. 単位取得が楽	15.0	10.3	18.4	15.1
5. 時間帯が空いている	33.8	14.3	28.9	28.6
合 計	100.0	100.0	100.0	100.0

4. 工学部専門科目

(1) 実験・実習科目 (学科別)

区分	学科	機械	情エレ(電子)	情報	デザイン	基礎教育	全体
設問	科目数	5	7	7	14	1	34
I-1	平均値	4.87	4.75	4.88	4.49	4.98	4.69
	標準偏差	0.11	0.21	0.07	0.19		0.24
I-2	平均値	2.64	3.20	3.47	3.71	4.41	3.42
	標準偏差	0.79	0.50	0.46	0.41		0.63
I-3	平均値	4.08	4.00	4.12	4.02	4.59	4.06
	標準偏差	0.28	0.35	0.36	0.29		0.32
I-4	平均値	3.91	3.77	3.71	3.70	4.10	3.76
	標準偏差	0.24	0.32	0.21	0.26		0.26
II-1	平均値	3.65	4.07	3.76	4.07	3.98	3.94
	標準偏差	0.52	0.38	0.19	0.35		0.38
II-4	平均値	3.14	3.65	3.38	3.79	3.46	3.57
	標準偏差	0.72	0.48	0.32	0.47		0.52
II-5	平均値	3.61	3.85	3.67	4.05	3.63	3.85
	標準偏差	0.47	0.41	0.26	0.51		0.45
II-6	平均値	3.41	3.78	3.52	3.95	3.59	3.74
	標準偏差	0.30	0.29	0.22	0.33		0.35
II-7	平均値	3.30	3.74	3.50	3.95	3.66	3.71
	標準偏差	0.34	0.35	0.20	0.31		0.37
II-8	平均値	3.51	3.76	3.70	3.84	3.90	3.75
	標準偏差	0.36	0.30	0.22	0.43		0.36
II-9	平均値	3.08	3.55	3.38	3.86	3.49	3.57
	標準偏差	0.53	0.39	0.21	0.45		0.48
II-10	平均値	3.38	3.62	3.55	3.94	3.49	3.70
	標準偏差	0.39	0.34	0.13	0.35		0.37
II-11	平均値	3.26	3.54	3.50	4.00	3.61	3.68
	標準偏差	0.40	0.38	0.12	0.35		0.42
III	平均値	3.27	3.69	3.51	4.10	3.61	3.76
	標準偏差	0.52	0.41	0.19	0.39		0.48

※3の回答が適切である項目

II-2	平均値	3.89	3.66	3.77	3.50	3.66	3.65
	標準偏差	0.25	0.24	0.29	0.20		0.26
II-3	平均値	3.38	3.33	3.32	3.32	3.15	3.33
	標準偏差	0.14	0.35	0.23	0.27		0.25

(注) : 「実験・実習用アンケート」で実施した演習等科目を含む。

(2) 学科・学科目別(講義科目)

区分	学 科	機 械		情エレ(電子システム)		情 報			デザイン	基礎教育系列		全 体
	科 目	1・2年次選択	3・4年次選択	コア	応用	講義	コア	選択	講義	必修	選択	
設 問	科目数	13	4	8	11	3	5	8	7	9	4	72
I-1	平均値	4.66	4.69	4.65	4.71	4.54	4.63	4.58	4.36	4.45	4.34	4.58
	標準偏差	0.14	0.07	0.19	0.14	0.08	0.16	0.21	0.27	0.18	0.28	0.21
I-2	平均値	3.66	3.83	3.45	3.52	3.13	3.69	3.34	3.79	3.82	4.00	3.62
	標準偏差	0.71	0.74	0.78	0.26	0.18	0.50	0.47	0.56	0.30	0.11	0.54
I-3	平均値	2.63	2.52	2.65	2.75	2.50	2.65	2.66	2.64	2.71	2.50	2.65
	標準偏差	0.26	0.73	0.41	0.21	0.19	0.16	0.24	0.52	0.26	0.39	0.33
II-1	平均値	3.68	3.79	3.94	3.64	3.34	3.80	3.41	4.14	3.42	3.55	3.68
	標準偏差	0.42	0.57	0.21	0.57	0.11	0.32	0.47	0.26	0.32	0.10	0.44
II-4	平均値	3.34	3.47	3.62	3.29	3.08	3.62	3.13	3.87	3.04	3.22	3.36
	標準偏差	0.55	0.76	0.20	0.57	0.02	0.37	0.67	0.51	0.42	0.16	0.53
II-5	平均値	3.59	3.54	3.95	3.58	3.61	3.89	3.55	4.03	3.33	3.57	3.65
	標準偏差	0.60	0.99	0.23	0.61	0.32	0.36	0.54	0.57	0.46	0.28	0.55
II-6	平均値	3.58	3.79	3.70	3.73	3.60	3.93	3.58	4.22	3.38	3.55	3.69
	標準偏差	0.39	0.54	0.29	0.62	0.14	0.35	0.51	0.44	0.29	0.17	0.46
II-7	平均値	3.49	3.49	3.60	3.48	3.37	3.76	3.40	4.01	3.15	3.46	3.51
	標準偏差	0.48	0.48	0.23	0.62	0.17	0.40	0.51	0.53	0.26	0.18	0.47
II-8	平均値	3.59	3.94	3.71	3.48	3.35	3.73	3.44	4.30	3.31	3.72	3.63
	標準偏差	0.44	0.72	0.28	0.58	0.30	0.56	0.49	0.23	0.34	0.32	0.50
II-9	平均値	3.32	3.07	3.45	3.15	2.80	3.39	2.84	3.94	2.92	3.18	3.23
	標準偏差	0.45	0.31	0.29	0.48	0.17	0.50	0.61	0.37	0.31	0.16	0.50
II-10	平均値	3.28	3.28	3.53	3.25	2.91	3.36	2.91	3.90	3.06	3.25	3.28
	標準偏差	0.35	0.62	0.27	0.50	0.13	0.40	0.64	0.21	0.23	0.12	0.46
II-11	平均値	3.16	3.42	3.45	3.21	3.01	3.36	2.89	4.12	2.91	3.20	3.26
	標準偏差	0.24	0.79	0.26	0.52	0.02	0.39	0.65	0.15	0.26	0.20	0.51
III	平均値	3.44	3.57	3.65	3.37	3.11	3.57	3.02	4.06	3.06	3.51	3.42
	標準偏差	0.49	0.82	0.24	0.57	0.07	0.49	0.69	0.35	0.34	0.23	0.54

※3の回答が適切である項目

II-2	平均値	3.51	3.88	3.51	3.87	3.85	3.48	3.75	3.50	3.74	3.52	3.65
	標準偏差	0.28	0.48	0.28	0.15	0.26	0.17	0.35	0.37	0.34	0.16	0.32
II-3	平均値	3.34	3.31	3.34	3.45	3.39	3.18	3.34	3.19	3.49	3.32	3.35
	標準偏差	0.25	0.26	0.20	0.19	0.13	0.02	0.15	0.17	0.35	0.16	0.23

※1-4「受講動機」回答の分布(複数回答可)

単位：%

学 科	機 械		情エレ(電子システム)		情 報			デザイン	基礎教育系列		全 体
回答/科目	1・2年次選択	3・4年次選択	コア	応用	講義	コア	選択	講義	必修	選択	
1. 講義への興味	10.4	15.1	3.9	8.3	7.7	11.0	8.4	11.9	2.6	16.1	9.5
2. 教員にひかれて	2.5	0.8	2.9	1.9	1.9	2.2	3.0	3.1	3.6	5.0	2.7
3. 単位が必要	63.1	62.7	70.4	64.6	76.3	57.0	73.6	39.7	73.6	52.8	62.4
4. 単位取得が楽	9.0	5.6	9.7	10.6	5.8	9.6	5.9	11.6	5.2	6.1	8.5
5. 時間帯が空いている	15.1	15.9	13.1	14.6	8.3	20.2	9.1	33.8	15.0	20.0	16.9
合 計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

5. 国際学部科目

(1) 英語群 (配当学年、回答者の学年で分類)

区 分	回答者学年	1年配当 (1年)	1年配当 (2～4年)	2年配当 (2年)	2年配当 (3・4年)	3・4年配当 (3・4年)	全 体
設 問	科 目 数	32	4	36	28	2	77
I-1	平 均 値	4.39	4.16	4.47	3.32	4.05	4.21
	標 準 偏 差	0.25	0.36	0.27	1.26	0.75	0.74
I-2	平 均 値	3.77	3.73	3.90	3.27	3.62	3.68
	標 準 偏 差	0.53	0.05	0.24	1.42	0.54	0.78
I-3	平 均 値	3.22	2.91	3.36	3.09	3.26	3.29
	標 準 偏 差	0.57	0.13	0.50	1.31	0.88	0.76
II-1	平 均 値	4.06	3.62	4.40	3.70	3.94	4.00
	標 準 偏 差	0.38	0.32	0.25	1.24	0.30	0.65
II-4	平 均 値	3.89	3.46	4.28	3.50	3.75	3.81
	標 準 偏 差	0.47	0.49	0.58	1.26	0.16	0.69
II-5	平 均 値	4.16	3.65	4.42	3.97	4.09	4.13
	標 準 偏 差	0.44	0.49	0.49	1.22	0.38	0.66
II-6	平 均 値	4.10	3.52	4.15	3.91	3.96	4.01
	標 準 偏 差	0.31	0.42	0.29	1.16	0.81	0.60
II-7	平 均 値	4.12	3.52	4.28	3.82	3.97	4.02
	標 準 偏 差	0.35	0.39	0.29	1.09	0.67	0.57
II-8	平 均 値	4.12	3.56	4.17	4.06	4.10	4.13
	標 準 偏 差	0.40	0.24	0.31	1.01	0.67	0.57
II-9	平 均 値	3.90	3.52	4.14	3.73	3.84	3.88
	標 準 偏 差	0.38	0.39	0.64	1.14	0.38	0.59
II-10	平 均 値	3.81	3.47	4.12	3.56	3.73	3.77
	標 準 偏 差	0.35	0.38	0.45	1.10	0.19	0.58
II-11	平 均 値	3.75	3.30	3.97	3.58	3.68	3.67
	標 準 偏 差	0.33	0.26	0.48	0.94	0.33	0.51
III	平 均 値	3.97	3.38	4.30	3.74	3.89	3.93
	標 準 偏 差	0.39	0.48	0.31	1.04	0.33	0.59

※3の回答が適切である項目

II-2	平 均 値	3.31	3.25	3.37	3.14	3.27	3.31
	標 準 偏 差	0.30	0.39	0.35	0.97	0.33	0.52
II-3	平 均 値	3.19	3.45	3.32	2.95	3.13	3.18
	標 準 偏 差	0.22	0.49	0.22	0.68	0.68	0.39

※1-4「受講動機」回答の分布 (複数回答可)

単位：%

回 答 / 学 科	1年配当 (1年)	1年配当 (2～4年)	2年配当 (2年)	2年配当 (3・4年)	3・4年配当 (3・4年)	全 体
1. 講義への興味	1.8	5.8	0.8	0.0	7.1	1.6
2. 教員にひかれて	2.2	1.9	1.6	0.0	0.0	1.8
3. 単位が必要	61.1	59.6	72.6	93.8	7.1	66.1
4. 単位取得が楽	11.2	9.6	10.6	6.3	14.3	10.8
5. 時間帯が空いている	23.6	23.1	14.4	0.0	71.4	19.7
合 計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

(2) 地域言語群 (配当学年、回答者の学年で分類)

区 分	回答者の学年	1年配当 (1年)	1年配当 (2~4年)	2年配当 (2年)	2年配当 (3・4年)	3・4年配当 (3・4年)	全 体
設 問	科目数	58	43	58	29	13	130
I-1	平均値	4.57	3.84	4.34	3.99	4.45	4.22
	標準偏差	0.30	0.84	0.32	0.86	0.62	0.68
I-2	平均値	4.36	4.18	4.23	4.35	4.38	4.28
	標準偏差	0.34	0.60	0.37	0.66	0.71	0.53
I-3	平均値	3.50	3.43	3.39	3.57	3.30	3.45
	標準偏差	0.53	0.76	0.37	0.74	1.03	0.67
II-1	平均値	4.16	4.25	4.13	4.27	4.47	4.23
	標準偏差	0.49	0.65	0.33	0.57	0.54	0.53
II-4	平均値	3.91	4.07	3.96	4.15	4.44	4.06
	標準偏差	0.46	0.76	0.42	0.70	0.60	0.62
II-5	平均値	4.10	4.27	4.19	4.33	4.56	4.25
	標準偏差	0.41	0.76	0.43	0.70	0.57	0.60
II-6	平均値	4.11	4.21	3.94	4.17	4.39	4.14
	標準偏差	0.38	0.62	0.38	0.74	0.62	0.56
II-7	平均値	4.04	4.03	4.02	4.07	4.20	4.06
	標準偏差	0.41	0.70	0.41	0.61	1.04	0.61
II-8	平均値	4.15	4.20	4.10	4.15	4.69	4.21
	標準偏差	0.41	0.62	0.38	0.68	0.49	0.54
II-9	平均値	3.93	3.93	3.88	3.88	4.42	3.96
	標準偏差	0.47	0.73	0.38	0.70	0.48	0.59
II-10	平均値	3.93	4.02	3.92	3.92	4.55	4.01
	標準偏差	0.44	0.58	0.36	0.72	0.54	0.56
II-11	平均値	3.87	3.91	3.81	3.95	4.30	3.92
	標準偏差	0.40	0.63	0.41	0.74	0.66	0.57
III	平均値	4.00	4.10	4.01	4.01	4.75	4.11
	標準偏差	0.51	0.65	0.40	1.00	0.44	0.66

※3の回答が適切である項目

II-2	平均値	3.53	3.59	3.55	3.67	3.28	3.55
	標準偏差	3.32	0.60	0.30	0.57	0.49	0.47
II-3	平均値	3.32	3.27	3.55	3.23	3.01	3.26
	標準偏差	0.23	0.50	0.30	0.44	0.32	0.38

※1-4「受講動機」回答の分布 (複数回答可)

単位：%

回 答 / 学 科	1年配当 (1年)	1年配当 (2~4年)	2年配当 (2年)	2年配当 (3・4年)	3・4年配当 (3・4年)	全 体
1. 講義への興味	0.5	2.8	1.8	3.9	4.7	1.5
2. 教員にひかれて	1.2	0.0	0.3	0.0	7.0	0.9
3. 単位が必要	41.5	56.6	61.3	54.9	4.7	47.1
4. 単位取得が楽	11.8	15.1	15.0	21.6	79.1	16.1
5. 時間帯が空いている	45.2	25.5	21.6	19.6	4.7	34.4
合 計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

(3) 基礎科目群 (回答者の学年で分類)

区 分	回答者の学年	1年	2年	3・4年	全 体
設 問	科目数	21	17	17	27
I-1	平均値	4.52	4.10	3.74	4.10
	標準偏差	0.31	0.66	0.99	0.80
I-2	平均値	3.93	4.01	3.59	3.81
	標準偏差	0.64	0.76	1.00	0.84
I-3	平均値	2.97	3.14	2.92	3.00
	標準偏差	0.59	0.81	0.74	0.71
II-1	平均値	4.11	4.16	4.13	4.13
	標準偏差	0.48	0.76	0.73	0.65
II-4	平均値	3.73	4.26	3.89	3.94
	標準偏差	0.61	0.60	0.64	0.64
II-5	平均値	4.05	4.57	4.07	4.20
	標準偏差	0.46	0.38	0.64	0.56
II-6	平均値	4.01	4.34	3.99	4.09
	標準偏差	0.46	0.64	0.65	0.60
II-7	平均値	4.03	4.35	4.01	4.11
	標準偏差	0.42	0.57	0.72	0.61
II-8	平均値	4.15	4.26	4.09	4.16
	標準偏差	0.41	0.50	0.66	0.54
II-9	平均値	3.66	3.73	4.03	3.83
	標準偏差	0.64	0.58	0.71	0.66
II-10	平均値	3.74	3.77	4.03	3.89
	標準偏差	0.54	0.64	0.71	0.65
II-11	平均値	3.60	3.84	4.10	3.79
	標準偏差	0.51	0.68	0.70	0.65
III	平均値	3.77	4.11	3.92	3.97
	標準偏差	0.61	0.67	0.72	0.66

※3の回答が適切である項目

II-2	平均値	3.69	3.46	3.47	3.54
	標準偏差	0.53	0.76	0.58	0.62
II-3	平均値	3.36	3.23	3.27	3.29
	標準偏差	0.41	0.45	0.48	0.45

※1-4「受講動機」回答の分布 (複数回答可)

単位：%

回 答 / 学 科	1年	2年	3・4年	全 体
1. 講義への興味	13.4	0.0	7.8	10.2
2. 教員にひかれて	3.0	2.1	2.4	2.6
3. 単位が必要	46.3	37.5	38.6	43.2
4. 単位取得が楽	10.0	33.3	18.7	14.6
5. 時間帯が空いている	27.4	27.1	32.5	29.4
合 計	100.0	100.0	100.0	100.0

(4) 専門共通科目 (回答者の所属で分類)

区分	科目区分	専門(1年)	専門(2年)	専門(3・4年)	全体
設問	科目数	11	13	12	18
I-1	平均値	4.61	4.46	4.22	4.39
	標準偏差	0.17	0.54	0.65	0.55
I-2	平均値	4.09	3.60	4.03	3.92
	標準偏差	0.62	0.97	0.89	0.86
I-3	平均値	2.79	2.86	2.80	2.82
	標準偏差	0.43	0.80	0.76	0.69
II-1	平均値	4.00	4.06	4.07	4.05
	標準偏差	0.42	0.72	0.84	0.70
II-4	平均値	3.79	3.92	4.02	3.93
	標準偏差	0.53	0.64	0.66	0.62
II-5	平均値	4.01	4.16	4.14	4.12
	標準偏差	0.45	0.66	0.60	0.58
II-6	平均値	3.86	3.78	4.02	3.91
	標準偏差	0.34	1.21	0.53	0.76
II-7	平均値	3.75	4.00	3.75	3.82
	標準偏差	0.48	0.52	0.56	0.53
II-8	平均値	3.97	3.91	3.91	3.92
	標準偏差	0.39	0.60	0.84	0.67
II-9	平均値	3.81	3.82	3.91	3.86
	標準偏差	0.48	0.62	0.71	0.62
II-10	平均値	3.78	3.79	3.98	3.87
	標準偏差	0.40	0.62	0.76	0.64
II-11	平均値	3.77	3.88	4.00	3.91
	標準偏差	0.41	0.57	0.73	0.61
III	平均値	3.88	3.93	4.11	4.00
	標準偏差	0.47	0.62	0.66	0.60

※3の回答が適切である項目

II-2	平均値	3.40	3.33	3.39	3.38
	標準偏差	0.22	0.46	0.36	0.36
II-3	平均値	3.23	3.23	3.29	3.26
	標準偏差	0.22	0.27	0.43	0.34

※1-4「受講動機」回答の分布(複数回答可)

単位：%

回答 / 科目区分	専門(1年)	専門(2年)	専門(3・4年)	全体
1. 講義への興味	11.2	22.1	11.1	12.3
2. 教員にひかれて	1.4	4.9	2.0	2.0
3. 単位が必要	37.8	31.1	47.9	40.9
4. 単位取得が楽	12.3	15.6	14.5	13.5
5. 時間帯が空いている	37.3	26.2	24.5	31.4
合計	100.0	100.0	100.0	100.0

(5) 専門コース科目（回答者の所属で分類）

区 分	科目区分	国際協力		国際経済		国際政治		国際文化		国際観光		専門コース科目	
	科目数	10		11		13		9		7		50	
設 問	学生所属	全体	主専攻	全体	主専攻	全体	主専攻	全体	主専攻	全体	主専攻	全体	主専攻
I-1	平均値	4.15	4.51	4.04	4.24	3.96	4.12	4.23	4.32	4.42	4.72	4.11	4.36
	標準偏差	0.66	0.60	0.64	0.68	0.65	1.24	0.57	0.52	0.39	0.27	0.62	0.75
I-2	平均値	3.79	4.04	3.65	3.70	3.59	3.18	3.80	3.91	4.04	4.31	3.73	3.81
	標準偏差	0.79	0.56	0.88	0.86	0.84	1.30	0.78	0.95	0.71	0.78	0.82	0.98
I-3	平均値	2.75	2.86	2.82	3.11	2.47	2.55	2.58	2.93	2.85	3.15	2.67	2.93
	標準偏差	0.92	0.83	0.81	0.84	0.82	1.00	0.70	1.01	0.77	0.90	0.82	0.92
II-1	平均値	4.24	4.43	3.95	3.92	3.91	3.03	3.79	3.91	3.79	3.90	3.95	3.82
	標準偏差	0.62	0.51	0.69	0.96	0.70	1.26	0.76	0.59	0.55	0.71	0.69	0.95
II-4	平均値	4.08	3.68	3.75	3.60	3.65	3.19	3.57	3.89	3.72	3.68	3.75	3.61
	標準偏差	0.59	0.62	0.70	0.86	0.71	1.20	0.84	0.94	0.55	0.65	0.71	0.90
II-5	平均値	4.35	4.19	3.85	3.75	3.84	3.47	3.69	4.04	3.94	3.87	3.92	3.85
	標準偏差	0.53	0.42	0.78	0.89	0.71	1.25	0.86	0.72	0.50	0.60	0.74	0.86
II-6	平均値	4.19	4.29	3.79	3.74	3.70	3.42	3.76	3.84	3.83	3.97	3.84	3.83
	標準偏差	0.72	0.71	0.80	1.01	0.67	1.00	0.81	0.98	0.52	0.56	0.74	0.91
II-7	平均値	4.21	4.14	3.85	3.76	3.60	3.33	3.65	3.87	3.78	3.84	3.81	3.77
	標準偏差	0.63	0.48	0.70	0.97	0.70	0.82	0.77	0.80	0.62	0.63	0.72	0.81
II-8	平均値	4.26	4.27	4.07	3.93	3.85	3.32	3.92	4.19	4.01	4.12	4.01	3.95
	標準偏差	0.63	0.62	0.69	0.92	0.74	0.55	0.54	0.53	0.54	0.70	0.66	0.76
II-9	平均値	4.01	4.03	3.65	3.52	3.64	3.34	3.66	3.85	3.76	3.92	3.73	3.70
	標準偏差	0.67	0.48	0.70	0.92	0.66	0.78	0.72	0.80	0.57	0.55	0.68	0.74
II-10	平均値	4.00	4.04	3.66	3.66	3.64	3.40	3.62	3.83	3.74	3.86	3.72	3.74
	標準偏差	0.58	0.32	0.70	0.87	0.63	0.82	0.76	0.78	0.54	0.51	0.66	0.73
II-11	平均値	3.96	3.92	3.68	3.74	3.58	3.41	3.55	3.75	3.66	3.79	3.68	3.71
	標準偏差	0.69	0.45	0.72	0.92	0.63	0.78	0.80	0.80	0.56	0.59	0.70	0.75
III	平均値	4.07	4.08	3.85	3.85	3.79	3.31	3.55	3.77	3.81	3.86	3.82	3.77
	標準偏差	0.63	0.58	0.76	0.83	0.64	0.79	1.03	0.85	0.55	0.61	0.76	0.78

※3の回答が適切である項目

II-2	平均値	3.33	3.50	3.52	3.56	3.33	3.15	3.37	3.48	3.34	3.29	3.38	3.40
	標準偏差	0.57	0.49	0.47	0.50	0.46	1.08	0.47	0.69	0.30	0.31	0.48	0.67
II-3	平均値	3.13	3.11	3.15	3.30	3.11	2.96	3.20	3.76	3.18	3.18	3.15	3.20
	標準偏差	0.52	0.18	0.55	0.50	0.41	0.90	0.42	0.97	0.25	0.29	0.46	0.61

※1-4「受講動機」回答の分布（複数回答可）

単位：%

回 答 / 科目区分	国際協力		国際経済		国際政治		国際文化		国際観光		全 体	
1. 講義への興味	14.6	8.3	12.4	17.0	17.0	18.7	14.7	15.0	13.6	7.0	14.8	13.2
2. 教員にひかれて	0.8	0.0	2.5	2.7	2.1	2.6	2.1	0.7	2.0	2.5	2.0	1.8
3. 単位が必要	37.0	30.3	39.3	33.9	33.8	37.4	33.3	35.0	37.9	47.8	35.7	37.6
4. 単位取得が楽	0.0	16.5	18.0	16.1	17.0	14.8	18.8	20.0	15.8	12.7	14.9	15.9
5. 時間帯が空いている	47.7	45.0	27.9	30.4	30.2	26.5	31.0	29.3	30.7	29.9	32.6	31.5
合 計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

6. 教養教育科目

(1) 講義科目 (群別)

項目	群	第1群	第2群	第3群	第4群	第5群	第6群	第7群	第8群	第9群	第10群	第12群	全体
	科目数	10	6	4	9	16	6	8	4	6	13	20	102
I-1	平均値	4.44	4.19	4.52	4.40	4.43	4.33	4.41	4.29	4.43	4.54	4.49	4.43
	標準偏差	0.16	0.49	0.12	0.23	0.15	0.10	0.19	0.12	0.22	0.27	0.36	0.26
I-2	平均値	4.24	3.71	3.61	3.96	4.03	3.28	4.20	3.74	3.31	3.43	2.54	3.56
	標準偏差	0.37	0.82	0.17	0.44	0.47	0.17	0.39	0.74	0.29	0.69	0.43	0.75
I-3	平均値	2.43	2.46	2.25	2.60	2.40	2.32	2.34	2.10	2.03	2.71	2.28	2.39
	標準偏差	0.23	0.47	0.54	0.42	0.20	0.20	0.26	0.44	0.18	0.21	0.44	0.36
II-1	平均値	3.95	3.91	3.76	3.73	3.91	3.70	3.61	3.53	3.41	4.50	4.13	3.93
	標準偏差	0.30	0.25	0.30	0.48	0.30	0.30	0.32	0.51	0.33	0.30	0.40	0.45
II-4	平均値	3.80	3.80	3.54	3.57	3.63	3.54	3.24	3.27	3.23	4.33	3.98	3.73
	標準偏差	0.32	0.29	0.22	0.48	0.31	0.32	0.33	0.62	0.44	0.30	0.43	0.49
II-5	平均値	4.14	4.06	3.74	3.85	3.87	3.77	3.43	3.72	3.48	4.60	4.24	4.00
	標準偏差	0.38	0.29	0.46	0.46	0.50	0.32	0.24	0.63	0.51	0.30	0.40	0.52
II-6	平均値	3.81	4.02	3.95	3.58	3.75	3.82	3.77	3.64	3.66	4.10	3.94	3.84
	標準偏差	0.40	0.28	0.20	0.41	0.41	0.34	0.44	0.40	0.29	0.34	0.39	0.39
II-7	平均値	3.79	3.86	3.72	3.54	3.53	3.71	3.45	3.58	3.54	4.11	4.05	3.77
	標準偏差	0.43	0.29	0.41	0.49	0.62	0.44	0.64	0.48	0.27	0.32	0.42	0.50
II-8	平均値	4.07	3.87	3.49	4.08	3.79	3.38	3.69	3.76	3.58	4.39	4.18	3.94
	標準偏差	0.41	0.39	0.31	0.35	0.65	0.41	0.45	0.53	0.54	0.30	0.38	0.51
II-9	平均値	3.67	3.77	3.51	3.64	3.54	3.49	3.17	3.19	3.11	4.28	3.99	3.68
	標準偏差	0.37	0.24	0.17	0.44	0.28	0.30	0.30	0.51	0.32	0.27	0.42	0.48
II-10	平均値	3.65	3.79	3.65	3.59	3.50	3.54	3.23	3.17	3.11	4.13	4.03	3.68
	標準偏差	0.27	0.27	0.13	0.48	0.20	0.26	0.28	0.46	0.21	0.20	0.40	0.44
II-11	平均値	3.66	3.80	3.59	3.56	3.54	3.68	3.23	3.20	3.06	4.13	3.52	3.58
	標準偏差	0.32	0.28	0.15	0.45	0.26	0.22	0.24	0.55	0.15	0.22	0.38	0.41
III	平均値	3.83	3.96	3.78	3.74	3.72	3.68	3.45	3.39	3.24	4.35	3.95	3.81
	標準偏差	0.25	0.30	0.18	0.46	0.25	0.33	0.29	0.38	0.27	0.28	0.46	0.43

※3の回答が適切である項目

II-2	平均値	3.51	3.30	3.37	3.39	3.44	3.28	3.79	3.75	3.57	3.17	3.29	3.41
	標準偏差	0.22	0.26	0.16	0.24	0.19	0.16	0.30	0.13	0.15	0.26	0.37	0.30
II-3	平均値	3.19	3.22	3.29	3.17	3.28	3.18	3.43	3.28	3.25	3.07	3.24	3.23
	標準偏差	0.16	0.09	0.16	0.16	0.15	0.07	0.30	0.05	0.13	0.12	0.33	0.22

※1-4「受講動機」回答の分布 (複数回答可)

単位：%

回答 / 群	第1群	第2群	第3群	第4群	第5群	第6群	第7群	第8群	第9群	第10群	第12群	全体
1. 講義への興味	21.6	16.4	22.3	25.1	22.6	22.8	21.4	25.7	28.2	11.7	0.7	21.3
2. 教員にひかれて	1.5	4.3	3.0	2.0	3.7	6.3	2.1	2.7	2.0	3.6	1.4	3.2
3. 単位が必要	25.5	27.8	30.7	28.6	27.5	29.2	43.5	39.8	43.6	29.0	79.9	32.7
4. 単位取得が楽	6.6	12.2	6.6	4.4	10.4	10.0	5.4	7.6	5.5	16.3	5.8	8.7
5. 時間帯が空いている	44.8	39.2	37.4	39.9	35.9	31.7	27.6	24.1	20.7	39.4	12.2	34.1
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

(2) 外国語科目 (商・政経・外国語学部、12カ国語)

項目	外国語	英語	A語	B・P語	C語	F語	G語	K語	I・M語	I・P語	R語	S語	日本語	全体
	科目数	129	1	5	27	16	16	8	7	0	7	19	28	263
I-1	平均値	4.50	4.71	4.58	4.61	4.54	4.33	4.36	4.58		4.54	4.49	4.68	4.52
	標準偏差	0.29	0.49	0.22	0.21	0.27	0.33	0.25	0.25		0.24	0.32	0.19	0.28
I-2	平均値	3.93	3.00	4.58	4.32	4.28	4.12	4.08	3.97		4.49	3.98	4.38	4.08
	標準偏差	0.49	1.53	0.23	0.29	0.47	0.74	0.47	0.64		0.36	0.46	0.30	0.51
I-3	平均値	2.94	2.57	3.72	3.24	3.14	3.21	3.20	3.25		2.58	2.87	3.75	3.10
	標準偏差	0.50	1.13	0.29	0.54	0.64	0.59	0.50	0.80		0.71	0.64	0.36	0.59
II-1	平均値	3.95	4.43	4.33	4.25	4.24	4.04	4.25	4.15		4.23	3.86	4.40	4.08
	標準偏差	0.53	0.53	0.22	0.35	0.47	0.57	0.23	0.43		0.68	0.49	0.32	0.51
II-4	平均値	3.81	4.00	3.95	4.00	4.05	3.86	4.27	3.95		3.99	3.64	4.40	3.92
	標準偏差	0.59	0.82	0.47	0.45	0.53	0.56	0.26	0.61		0.97	0.59	0.38	0.58
II-5	平均値	4.09	4.71	4.34	4.18	4.30	4.07	4.41	4.08		4.02	3.88	4.48	4.15
	標準偏差	0.51	0.76	0.38	0.44	0.53	0.73	0.17	0.63		1.09	0.67	0.37	0.55
II-6	平均値	3.89	3.43	3.76	4.03	4.10	3.90	3.98	4.04		3.95	3.83	4.29	3.96
	標準偏差	0.44	0.53	0.55	0.41	0.45	0.47	0.37	0.45		0.64	0.34	0.39	0.45
II-7	平均値	3.87	3.71	3.78	4.04	4.07	3.91	4.14	3.98		4.07	3.87	4.29	3.96
	標準偏差	0.50	1.11	0.40	0.41	0.50	0.53	0.30	0.50		0.89	0.46	0.35	0.50
II-8	平均値	4.09	3.86	4.50	4.21	4.35	4.25	4.18	4.17		4.19	4.03	4.36	4.17
	標準偏差	0.45	1.21	0.41	0.41	0.39	0.47	0.40	0.43		0.65	0.47	0.40	0.45
II-9	平均値	3.78	3.29	3.79	3.81	3.88	3.73	4.08	3.81		3.77	3.46	4.40	3.83
	標準偏差	0.50	0.76	0.45	0.44	0.51	0.51	0.45	0.58		0.78	0.48	0.36	0.53
II-10	平均値	3.66	3.29	3.90	3.89	3.87	3.78	4.17	3.85		3.70	3.47	4.31	3.78
	標準偏差	0.49	0.49	0.42	0.40	0.50	0.52	0.54	0.54		0.57	0.41	0.38	0.52
II-11	平均値	3.49	3.86	3.61	3.76	3.76	3.64	4.00	3.71		3.60	3.33	4.22	3.64
	標準偏差	0.52	0.38	0.30	0.49	0.53	0.62	0.56	0.61		0.55	0.44	0.38	0.56
III	平均値	3.85	3.71	4.06	4.05	4.15	3.97	4.28	4.00		4.07	3.70	4.36	3.97
	標準偏差	0.56	0.95	0.59	0.41	0.56	0.56	0.39	0.64		0.77	0.51	0.39	0.55

※3の回答が適切である項目

II-2	平均値	3.33	4.14	3.72	3.58	3.49	3.55	3.34	3.38		3.67	3.69	3.29	3.42
	標準偏差	0.35	0.69	0.26	0.29	0.28	0.40	0.19	0.30		0.40	0.19	0.24	0.34
II-3	平均値	3.14	3.29	3.40	3.31	3.18	3.26	3.16	3.24		3.08	3.32	3.13	3.19
	標準偏差	0.21	0.49	0.59	0.24	0.20	0.29	0.26	0.21		0.31	0.15	0.19	0.24

※1-4「受講動機」回答の分布 (複数回答可)

単位：%

回答 /	外国語	英語	A語	B・P語	C語	F語	G語	K語	I・M語	I・P語	R語	S語	日本語	全体
1. 講義への興味		3.8	0.0	4.5	2.0	2.9	4.8	1.7	2.7		3.4	0.4	3.0	3.1
2. 教員にひかれて		2.4	0.0	4.5	2.5	0.0	1.8	3.4	6.8		8.5	1.2	5.0	2.8
3. 単位が必要		72.0	0.0	54.5	58.3	60.1	49.1	45.3	39.2		44.1	65.1	49.0	62.5
4. 単位取得が楽		8.9	0.0	4.5	6.2	6.5	9.7	7.7	9.5		11.9	4.7	14.6	8.8
5. 時間帯が空いている		12.8	100.0	31.8	31.0	30.4	34.5	41.9	41.9		32.2	28.6	28.4	22.8
合計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0

注1. A語：アラビア語、B・P語：ブラジル・ポルトガル語、C語：中国語、F語：フランス語、
G語：ドイツ語、K語：韓国語、I・M語：インドネシア・マレーシア語、
I・P語：インド・パキスタン語 (実施科目なし)、R語：ロシア語、S語：スペイン語

注2. 国際学部の地域言語は、47ページを参照

(3) スポーツ・トレーニング科目

設 問	科 目 数	29
I-1	平均値	4.47
	標準偏差	0.31
I-2	平均値	4.08
	標準偏差	0.29
I-3	平均値	4.28
	標準偏差	0.32
II-1	平均値	4.23
	標準偏差	0.22
II-4	平均値	4.02
	標準偏差	0.26
II-5	平均値	4.36
	標準偏差	0.29
II-6	平均値	4.29
	標準偏差	0.29
II-7	平均値	4.32
	標準偏差	0.26
II-8	平均値	4.34
	標準偏差	0.23
II-9	平均値	4.29
	標準偏差	0.21
II-10	平均値	4.13
	標準偏差	0.25
II-11	平均値	4.22
	標準偏差	0.29
III	平均値	4.34
	標準偏差	0.27
IV-1	平均値	4.09
	標準偏差	0.42
IV-2	平均値	3.80
	標準偏差	0.58
IV-3	平均値	3.51
	標準偏差	0.49

※3の回答が適切である項目

設 問	科 目 数	29
II-2	平均値	3.20
	標準偏差	0.21
II-3	平均値	3.14
	標準偏差	0.18

※1-4「受講動機」回答の分布（複数回答可）

回 答	全 体
1. 講義への興味	5.4
2. 教員にひかれて	5.2
3. 単位が必要	43.7
4. 単位取得が楽	11.5
5. 時間帯が空いている	34.2
合 計	100.0

(4) 教職課程・社会教育主事講座・日本語教員養成基礎講座科目

区分	課程・講座	教 職	社 教	日 語	全 体
設 問	科目数	32	2	4	38
I-1	平均値	4.53	4.94	4.79	4.57
	標準偏差	0.30	0.09	0.14	0.30
I-2	平均値	4.34	3.27	4.36	4.29
	標準偏差	0.43	0.56	0.27	0.48
I-3	平均値	3.08	2.17	2.48	2.98
	標準偏差	0.46	0.24	0.70	0.53
II-1	平均値	4.27	3.98	4.61	4.29
	標準偏差	0.38	0.50	0.34	0.39
II-4	平均値	4.07	4.10	4.41	4.11
	標準偏差	0.45	0.32	0.29	0.44
II-5	平均値	4.26	4.04	4.63	4.29
	標準偏差	0.37	0.41	0.25	0.38
II-6	平均値	4.15	4.04	4.38	4.16
	標準偏差	0.35	0.41	0.47	0.36
II-7	平均値	4.00	4.15	4.56	4.06
	標準偏差	0.37	0.74	0.36	0.41
II-8	平均値	4.39	4.40	4.78	4.43
	標準偏差	0.32	0.38	0.16	0.33
II-9	平均値	4.10	3.73	4.45	4.12
	標準偏差	0.42	0.85	0.38	0.45
II-10	平均値	4.15	4.08	4.34	4.16
	標準偏差	0.39	0.82	0.29	0.40
II-11	平均値	4.18	4.08	4.29	4.18
	標準偏差	0.36	0.82	0.13	0.36
III	平均値	4.23	3.90	4.55	4.25
	標準偏差	0.41	1.09	0.41	0.45

※3の回答が適切である項目

II-2	平均値	3.44	3.25	3.17	3.40
	標準偏差	0.24	0.35	0.18	0.25
II-3	平均値	3.19	3.06	3.00	3.16
	標準偏差	0.16	0.09	0.10	0.16

※1-4「受講動機」回答の分布（複数回答可）

単位：%

回 答 / 課程・講座	教 職	社 教	日 語	全 体
1. 講義への興味	3.6	0.0	8.5	3.8
2. 教員にひかれて	0.5	0.0	0.0	0.5
3. 単位が必要	69.4	81.8	23.4	67.4
4. 単位取得が楽	12.7	0.0	4.3	12.1
5. 時間帯が空いている	13.8	18.2	63.8	16.2
合 計	100.0	100.0	100.0	100.0

V 評価及び課題

1. 商学部

(1) アンケート実施状況

平成 21 年度に「授業改善のための学生アンケート」を実施した教員数は、専任教員 48 名、講師（非常勤講師）119 名であり、どちらも実施率は 100%であった。

平成 12 年度から今年度までの実施率の推移を記すと、専任教員に関しては 100%である。講師に関しては、3 年前のみ 99%であり、それ以外の年度は 100%であった。これらの数字から判断する限り、「授業改善のための学生アンケート」の実施は定着しているようである。

平成 21 年度の実施科目数は専任教員 107 科目、講師 212 科目であった。前年度はそれぞれ 109 科目、201 科目であり、微増している。1 年生から 4 年生まで延べ 11429 名（前年度 10699 名）が回答しており、こちらも微増している。1 年生は 4327 名、2 年生は 3740 名、3 年生は 2434 名、4 年生は 905 名というように、学年が進むほど回答数が少なくなっていることが気になる。この傾向は前年度同様であった。

アンケートは授業改善が目的であって、アンケートの実施が目的ではない。アンケートの結果が教員に適正にフィードバックされて、授業改善されなければ意味がない。学生が「アンケートに回答しても授業改善が見られないので、アンケートに回答しても無駄である」という考えをもっていないことを願う。そのような考えをもたれないように、以下の(2)と(3)において平成 21 年度の反省点と翌年度以降に取り組むべき課題とその解決策を示す。

(2) 集計結果

(A) 設問項目別（前年度と比較しながら）

I-1「学生の出席状況」について、平成 19 年度、20 年度、21 年度の順に平均値を示すと、4.4、4.47、4.48 と微増している。平均値はここ数年微増傾向にある。最高値が 5.0 であるのでまじめに授業に出席する学生が増えている。

I-2「ノートやメモをとっているか」について、平成 19 年度、20 年度、21 年度の順に平均値を示すと、3.78、3.85、3.89 である。微減傾向にあった平均値が昨年増加に転じ、今年度は微増である。昨年度から 1 年生向けの基礎ゼミ I においてスタディ・スキルを必修化し、ノートの取り方を指導している。この効果か。あるいは教員側の工夫の結果か。どちらにしても改善が見られた。2・3・4 年生に対しても、ゼミにおいてスタディ・スキルの素養を指導する必要がある。

I-3「予習・復習」について、平成 19 年度、20 年度、21 年度の順に平均値を示すと、2.62、2.67、2.75 である。学生は授業に出席するようにはなったが、ノート等をとらず（あるいはノートをうまくとれず）、予習等を通して教室以外で学習する機会は少ない（あるいは学習する気はない）といった傾向があるのか。単位制の本来の目的を遂行するためにも、予習・復習を必要とするような授業（例えば小テストの実施など）を志向すべきなのかもしれない。

II-1「授業の狙いやポイントが明確か」について、平成 19 年度、20 年度、21 年度の順に平均値を示すと、3.90、3.96、4.00 と微増傾向にある。平均値が選択肢 4 の「そう思う」

の値となっている。教員の側では授業のポイント等を明確にしようという努力が見られ、学生の側ではそれをうまく理解しているということになる。今後は、シラバス（講義要項）にある授業の目的や達成目標を「〇〇できる」という形に統一することでよりこの数値が改善するのかもしれない。

Ⅱ-2「授業の難易度」について、平成19年度、20年度、21年度の順に平均値を示すと、3.56、3.58、3.56と微減している。平均値は選択肢3の「ちょうど良い」と選択肢4の「やや難しい」の中間値に近い値となっている。

Ⅱ-3「授業の進度」について、平成19年度、20年度、21年度の順に平均値を示すと、3.29、3.28、3.27であり微減している。平均値は選択肢3の「ちょうど良い」から選択肢4の「やや早い」に近い値となっている。

Ⅱ-4「説明はわかりやすいか」について、平成19年度、20年度、21年度の順に平均値を示すと、3.60、3.66、3.72と改善している。平均値は選択肢3の「どちらでもない」よりも選択肢4の「そう思う」に近い値となっている。

Ⅱ-9「授業の内容は理解できたか」について、平成19年度、20年度、21年度の順に平均値を示すと、3.51、3.54、3.61であり改善が見られた。平均値は選択肢3の「どちらでもない」よりも選択肢4の「そう思う」に近い値となっている。

Ⅱ-10「知識や技術が身についたか」について、平成19年度、20年度、21年度の順に平均値を示すと、3.59、3.61、3.67と微増している。平均値は選択肢3の「どちらでもない」から選択肢4の「そう思う」に近い値となっている。

Ⅱ-11「ものの見方や考え方が深まったか」について、平成19年度、20年度、21年度の順に平均値を示すと、3.47、3.55、3.58と微増している。平均値は選択肢3の「どちらでもない」と選択肢4の「そう思う」の中間値に近い値となっている。

Ⅲ「満足度」について、平成19年度、20年度、21年度の順に平均値を示すと、3.73、3.77、3.83と微増している。平均値は選択肢3の「どちらでもない」と選択肢4の「そう思う」の中間値よりやや高い値となっている。

FDの研究学会では、Ⅱ-10、Ⅱ-11、Ⅲの数値が5段階評価で3.5以上であることが一応の合格ラインであると考えられている。商学部専門科目はこの合格ラインを満たしているという結果にはなっている。

FDの研究学会では相関関係として紹介されることもあるが、学生の理解度や満足度、関心度は次の3つの要因（Ⅱ-5、Ⅱ-6、Ⅱ-7）とアンケートの項目にはないもう1つの要因に依存するそうである。

Ⅱ-5「話し方や声は聞きやすいか」について、平成19年度、20年度、21年度の順に平均値を示すと、3.94、4.00、4.05と微増している。平均値は「ちょうど良い」という評価に近い。

Ⅱ-6「教材等は授業内容を理解するのに有効か」について、平成19年度、20年度、21年度の順に平均値を示すと、3.86、3.92、3.93と微増している。平均値は「ちょうど良い」という評価に近くなってきている。

Ⅱ-7「板書等の文字等は見やすいか」について、平成19年度、20年度、21年度の順に平均値を示すと、3.74、3.80、3.84と微増している。平均値は「ちょうど良い」という評価に近くなってきている。

平成 19 年度の報告書において、「これら 3 つ(Ⅱ-5、Ⅱ-6、Ⅱ-7)の数値が上の 3 つ(Ⅱ-10、Ⅱ-11、Ⅲ)の数値と同水準かそれよりも上になっており、アンケートの項目にはないもう 1 つの要因である『双方向型、学生参加型授業』が実践されていないのかもしれない」と分析し、「学生の理解度、満足度等を上げるためには、教員からの一方的な授業ではなく、学生が参加できるような授業を志向すべきである」という解決策を示した。平成 20 年度には『双方向型、学生参加型授業』を実践するという教員個人の意識が高まったのであろうか、アンケート結果において上の 6 つの項目すべてに改善が見られた。平成 21 年度もすべて微増している。

来年度もこの方針を推進するとともに、Ⅱ-9「授業の内容は理解できたか」の平均値を上昇させることを最重視し、スタディ・スキルを徹底することで改善を図っていくべきであると考えられる。

(B) 専任教員と講師の結果に差はあるか

I-1「学生の出席状況」について、平成 21 年度の専任教員担当科目は 4.51、講師担当科目は 4.51 であった。20 年度ではそれぞれ 4.48、4.52 であった。講師担当科目に変化はほとんどないが、専任教員担当科目は微増し、講師担当科目を逆転しやや上にいっている。

I-2「ノートやメモをとっているか」について、平成 21 年度の専任教員担当科目は 3.91、講師担当科目は 3.95 であった。20 年度ではそれぞれ 3.98、3.86 であった。専任教員担当科目は微減し、講師担当科目は微増している。

I-3「予習・復習」について、平成 21 年度の専任教員担当科目は 2.80、講師担当科目は 2.99 であった。20 年度ではそれぞれ 2.77、2.83 であった。どちらも微増であった。

Ⅱ-1「授業の狙いやポイントが明確か」について、平成 21 年度の専任教員担当科目は 4.01、講師担当科目は 4.16 であった。20 年度ではそれぞれ 4.00、4.09 であった。専任教員担当科目は微増し、講師担当科目を逆転しやや上にいっている。

Ⅱ-2「授業の難易度」について、平成 21 年度の専任教員担当科目は 3.55、講師担当科目は 3.42 であった。20 年度ではそれぞれ 3.55、3.42 であり、まったく変化がなかった。

Ⅱ-3「授業の進度」について、平成 21 年度の専任教員担当科目は 3.27、講師担当科目は 3.22 であった。20 年度ではそれぞれ 3.26、3.23 であり、微増、微減となっている。

Ⅱ-4「説明はわかりやすいか」について、平成 21 年度の専任教員担当科目は 3.74、講師担当科目は 3.97 であった。20 年度ではそれぞれ 3.73、3.88 であり、講師の値が増加している。

Ⅱ-5「話し方や声は聞きやすいか」について、平成 21 年度の専任教員担当科目は 4.04、講師担当科目は 4.21 であった。20 年度ではそれぞれ 4.02、4.10 であり改善が見られる。

Ⅱ-6「教材等は授業内容を理解するのに有効か」について、平成 21 年度の専任教員担当科目は 3.92、講師担当科目は 4.00 であった。20 年度ではそれぞれ 3.90、3.99 であった。改善が見られる。

Ⅱ-7「板書等の文字等は見やすいか」について、平成 21 年度の専任教員担当科目は 3.80、講師担当科目は 3.97 であった。20 年度ではそれぞれ 3.79、3.95 であり、微増している。

Ⅱ-9「授業の内容は理解できたか」について、平成 21 年度の専任教員担当科目は 3.69、講師担当科目は 3.85 であった。20 年度ではそれぞれ 3.63、3.79 であったので増加している。

る。

Ⅱ-10「知識や技術が身についたか」について、平成 21 年度の専任教員担当科目は 3.70、講師担当科目は 3.86 であった。20 年度ではそれぞれ 3.65、3.80 であったので増加している。

Ⅱ-11「ものの見方や考え方が深まったか」について、平成 21 年度の専任教員担当科目は 3.66、講師担当科目は 3.70 であった。20 年度ではそれぞれ 3.64、3.65 であり、前者が微増、後者が減少となっている。

Ⅲ「満足度」について、平成 21 年度の専任教員担当科目は 3.87、講師担当科目は 4.00 であった。20 年度ではそれぞれ 3.85、3.95 であり、微増している。

以上の結果、大幅な改善を早急に要するほどの差はないといえる。

(C) 学生所属別

商学部には経営、国際ビジネス、会計の 3 学科ある。Ⅲ「満足度」について、経営が 3.77、国際ビジネスが 3.85、会計が 3.68 であった。会計がやや低いことが気になるが、平成 20 年度の値はそれぞれ 3.75、3.81、3.50 であったことと比較すると、3 学科とも改善しており、特に会計学科が大きく改善している。

I-1「学生の出席状況」については、経営、国際ビジネス、会計の順に 4.51、4.46、4.63 であった。平成 20 年度はそれぞれ 4.52、4.46、4.67 であった。前年同様、会計の値が一番高い。

I-2「ノートやメモをとっているか」については、経営、国際ビジネス、会計の順に 3.92、4.04、3.84 であった。平成 20 年度はそれぞれ 3.93、3.89、3.84 であった。国際ビジネスの値に改善が見られる。

I-3「予習・復習」については、経営、国際ビジネス、会計の順に 2.66、2.77、2.52 であった。平成 20 年度は 2.63、2.64、2.50 であり、会計がやや低い。

Ⅱ-1「授業の狙いやポイントが明確か」については経営、国際ビジネス、会計の順に 3.92、4.02、3.81 であった。平成 20 年度はそれぞれ 3.89、3.95、3.82 となっており、国際ビジネスが改善している。

Ⅱ-2「授業の難易度」については経営、国際ビジネス、会計の順に 3.52、3.48、3.55 であった。平成 20 年度はそれぞれ 3.52、3.50、3.71 となっており、会計が選択肢 4 の「やや難しい」に近い値となっている。国際ビジネスに改善が見られる。

Ⅱ-3「授業の進度」については経営、国際ビジネス、会計の順に 3.29、3.25、3.30 であった。平成 20 年度はそれぞれ 3.30、3.24、3.43 となっており、会計が選択肢 4 の「やや早い」に近い値となっている。

Ⅱ-4「説明はわかりやすいか」については、経営、国際ビジネス、会計の順に 3.68、3.79、3.54 であった。平成 20 年度はそれぞれ 3.65、3.72、3.45 となっている。会計の値がやや低い改善が見られる。国際ビジネスにも改善が見られる。

Ⅱ-9「授業の内容は理解できたか」については、経営、国際ビジネス、会計の順に 3.58、3.67、3.43 であった。平成 20 年度はそれぞれ 3.65、3.62、3.30 となっている。会計学科に改善が見られる。

Ⅱ-10「知識や技術が身についたか」については、経営、国際ビジネス、会計の順に 3.59、

3.71、3.47 であった。平成 20 年度はそれぞれ 3.59、3.64、3.37 となっている。国際ビジネス、会計に改善が見られる。

Ⅱ-11「ものの見方や考え方が深まったか」については、経営、国際ビジネス、会計の順に 3.51、3.66、3.37 であった。平成 20 年度はそれぞれ 3.51、3.58、3.23 となっている。国際ビジネス、会計に改善が見られる。

平成 20 年度の報告書では次のように指摘した。

「学生の理解度や満足度、関心度に影響を与えるとされるⅡ-5、Ⅱ-6、Ⅱ-7 を見ると、どれも会計が一番低くなっている。Ⅱ-5「話し方や声は聞きやすいか」については 3.92、3.96、3.75、Ⅱ-6「教材等は授業内容を理解するのに有効か」については 3.85、3.88、3.73、Ⅱ-7「板書等の文字等は見やすいか」については 3.72、3.81、3.58 という結果であった。平成 21 年度においては、特に会計コースに関して改善が必要であると判断される。」

会計学科にこの結果を伝えて改善に努力してもらったところ、平成 21 年度のアンケート結果に改善が見られた。また、国際ビジネス学科ではカリキュラムの見直しにより、専門導入科目から専門基礎へ、そして専門発展科目へと配当年次の調整が行われた。この結果か、国際ビジネスのアンケート結果にも改善が見られた。

(3) 今後の課題

最近、学士力（卒業時の学力）の向上が全国的な FD 活動の使命となっている。来年度の商学部の FD 活動ではこの点を強く意識し、学士力をコース別に設定し、その後に 4 年間の授業カリキュラムの再考、履修モデルの作成・改定等を行うことで学生の勉学意識と学力の向上を図っていききたい。

平成 20 年度には、国際ビジネス学科でカリキュラムの改訂が行われた。会計学科において履修モデルの改善・作成が行われた。21 年度は経営学科でカリキュラムの改訂が行われている。上のアンケート結果を見ると、経営学科の値に改善が見られない。組織レベルの FD 活動を推進していききたい。同時に、教員個人レベルでの FD 活動も推進していききたい。

2. 政経学部

(1) 実施状況について

平成21年度の「授業改善のための学生アンケート」調査は、専任教員では対象教員57人全員によって実施され(100%)、非常勤講師も対象教員113人全員によって実施された(100%)。

アンケート調査の実施科目数は専任教員全体で128科目、非常勤講師全体で186科目、合計314科目だった。専任教員数は平成20年度と比べて増減はないが、実施した科目数は前年比で3科目減り、非常勤講師は平成20年度に比べて3人増え、実施した科目数は前年比で27科目増えた。専任教員は1人あたり平均して2.2科目(昨年度は2.3科目)、非常勤講師は1人あたり平均して1.64科目(昨年度は1.45科目)のアンケート調査を実施したことになる。

アンケート調査の実施科目を科目別に多い順で言えば、専門科目が127科目(昨年度は128科目)、外国語科目が104科目(昨年度は92科目)、教養科目・総合教育科目が31科目(昨年度は33科目)、スポーツ・トレーニング科目が19科目(昨年度は13科目)、ゼミ・外書購読が16科目(昨年度は14科目)、教職・社教・日語科目が13科目(昨年度は7科目)などとなっている。

学生のアンケート回答数(延べ人数)は、1年生が3,639人(昨年度は3,695人)、2年生が3,658人(昨年度は3,673人)、3年生が3,060人(昨年度は2,762人)、4年生が1,217人(昨年度は907人)であり、無回答の48人を含めて合計11,622人(昨年度は11,069人)だった。

(2) 集計結果について

①. 設問項目別評価

近年、政経学部専門科目のアンケート結果に関して、全般に平均値の上昇が見られる。平成20年度はすべての項目の平均値が平成19年度を上回った。平成21年度は1項目だけ(II-8「教室内の雰囲気」)を除けば、すべての項目で平均値が平成20年度を上回った。各項目の上昇率は次のようになっている。

I-1「学生の出席状況」は+0.05、I-2「ノートやメモを取る」は+0.01、I-3「予習・復習」は+0.01、II-1「狙いの明確さ」は+0.02、II-4「説明方法」は+0.03、II-5「話し方・声の大きさ」は+0.05、II-6「教材等の効果」は+0.05、II-7「文字・画面の読み取りやすさ」は+0.03、II-8「教室内の雰囲気」は-0.03、II-9「理解しやすさ」は+0.03、II-10「知識・技術が身につく」は0.02、II-11「見方・考え方が深まる」は+0.02、III「総合的な満足度」は+0.01である。

ここ数年間にわたり連続して平均値が上昇する項目が多くなった。「学生の出席状況」は5年連続、「ノート・メモを取る」は4年連続、「予習・復習」は4年連続、「狙いの明確さ」は3年連続、「説明方法」は3年連続、「声の大きさ」は3年連続、「教材等の効果」は5年連続、「文字・画面」は5年連続、「理解しやすさ」は3年連続、「知識・技術が身につく」は3年連続、「見方・考え方が深まる」は5年連続、「総合的な満足度」は3年連続で平均値が前年度を上回っている。とりわけ「出席状況」、「ノート・メモ」、「予習

・復習」については、平成19年度から始まった初年次のアカデミックスキル・クラスで日頃から1年生に注意を喚起しているはずであるから、その効果がかなり現れてきたのではないだろうか。

以下では各項目ごとに見ていく。

I-1. 学生の出席状況は少しずつではあるが、毎年改善されてきたようである。授業に80%以上出席していると回答している学生は86.78%(昨年度は86.52%、一昨年度は85.21%)である。

I-2. ノートやメモを取っているかどうかについて、「そう思う」と「強くそう思う」を合計すれば65.28%(昨年度は63.71%、一昨年度は61.33%)になり、次第に改善されていることが分かる。しかし、「どちらとも言えない」、「そう思わない」、「まったくそう思わない」の合計が34.71%もいることを考えると、この点での底上げをさらに図ることが必要である。

I-3. 予習・復習をしているかどうかについて、平均値はわずかに上昇しているものの、「そう思う」と「強くそう思う」の合計は20.78%で昨年度よりやや低下した(昨年度は21.47%)。この点もまだ改善の余地が大きいと言える。

II-1. 授業の狙いは明確かどうかについて、「そう思う」と「強くそう思う」の合計は69.59%であり(昨年度は68.34%、一昨年度は66.65%)、次第に改善されて70%近くが授業の狙いが明確であると考えていることが分かる。「そう思わない」と「まったくそう思わない」が6.79%(昨年度は7.69%)である。

II-2. 授業の難易度について、内容が「難しすぎる」と「やや難しい」の合計は47.21%(昨年度は50.97%、一昨年度は51.46%)とやや改善されているようである。しかし、「ちょうど良い」と回答している学生は49.13%(昨年度は46.05%)であり、この部分が50%以上になるよう努力することが必要である。

II-3. 授業の進度について、「ちょうど良い」と回答しているのは68.70%(昨年度は65.56%)で、多くの学生は「ちょうど良い」と思っているようである。

II-4. 説明の分かりやすさについて、「そう思う」と「強くそう思う」の合計は57.62%(昨年度は56.48%、一昨年度は53.54%)であり、毎年改善されているように思われる。改善状況は「そう思わない」と「まったくそう思わない」の合計が10.98%に減っている(昨年度は12.84%、一昨年度は15.93%)ことから分かる。

II-5. 話し方や声は聞き取りやすいかについて、「そう思う」と「強くそう思う」の合計が67.17%(昨年度は66.82%、一昨年度は63.16%)になり、この点でも改善が見られる。

II-6. 教材の有効性について、「そう思う」と「強くそう思う」の合計は69.71%(昨年度は68.65%、一昨年度は63.05%)になっており、70%近くの学生が教材は授業内容を理解するのに有効だと考えているから、教材の改善が進んでいると思われる。

II-7. 文字・画面の見やすさについて、「そう思う」と「強くそう思う」と回答した学生は63.93%であり、ほぼ昨年度と同じである(63.43%)。

II-8. 学習しやすいように教室の雰囲気は保たれているかどうかについては唯一平均値がやや下がった項目であるが、「そう思う」と「強くそう思う」と回答している学生は70.11%(昨年度は70.81%)である。ただ「そう思わない」と「まったくそう思わな

い」の合計は6.84%(昨年度は7.05%)と少なくなっているので、±0と考えてよいかも知れない。

II-9. 授業内容が理解できたかどうかについて、「そう思う」と「強くそう思う」と回答している学生は55.79%(昨年度は53.89%、一昨年度は50.16%)になっている。ここ数年間は学生の理解度が進んできているが、授業が理解できるかどうかは教育の要であるから、理解できる学生の割合をせめて70%以上にはしなければならないだろう。

II-10. 知識が身についたかどうかについて、「そう思う」と「強くそう思う」の合計は58.59%(昨年度は56.54%、一昨年度は53.40%)になっており、この点でも改善が見られる。「そう思わない」と「まったくそう思わない」の合計は8.82%(昨年度は10.50%、一昨年度は13.10%)である。

II-11. 見方・考え方が深まったかどうかについて、「そう思う」と「強くそう思う」と回答した学生は56.07%(昨年度は54.85%、一昨年度は50.14%)である。また「そう思わない」と「まったくそう思わない」の合計は9.51%(昨年度は11.33%、一昨年度は14.34%)となり、見方や考え方が深まっていないと考える学生は10%を切った。

III. 総合的に見て授業に満足したかどうかについて、「そう思う」と「強くそう思う」と回答した学生は65.60%まで上昇した。一昨年度が60.77%、昨年度が63.98%であったから、授業に対する総合的な満足度は次第に増加している。

以上のように、設問項目の全体から見て授業は昨年度よりさらに改善されたと言える。ただ各項目について「どちらとも言えない」と回答している学生は20%台から36%台の間におり、決して少なくない。「ノート・メモ」の項目で20.31%(昨年度は20.49%)、「予習・復習」の項目で36.58%(昨年度は34.40%)、「狙いの明確さ」の項目で23.62%(昨年度は23.97%)、「説明の分かりやすさ」の項目で31.39%(昨年度は30.69%)、「話し方・声の聞きやすさ」の項目で23.87%(昨年度は23.24%)、「授業内容の理解度」の項目で34.09%(昨年度は34.03%)、「知識が身につく」の項目で32.60%(昨年度は33.06%)、「見方・考え方」の項目で34.42%(昨年度は33.83%)である。

この「どちらとも言えない」と思う学生が昨年度より減っている項目、つまり「ノート・メモ」、「狙いの明確さ」、「話し方・声」、「知識が身につく」では減った部分が「そう思う」の方向へ移ったと思われる。なぜなら「そう思わない」と「まったくそう思わない」が増えずに減っているからである。しかし、「どちらとも言えない」と思う学生が昨年度より増えた項目、つまり「予習・復習」、「説明の分かりやすさ」、「授業内容の理解度」、「見方・考え方が深まる」には注意しなければならないだろう。特に「授業内容の理解度」と「見方・考え方が深まる」は授業効果を考える上で重要な項目であり、「どちらとも言えない」とは授業内容を十分に理解していないことと同じであろうし、見方や考え方が深まっていないことを意味するだろう。

②. 教員別評価

I. 専任教員の評価

専任教員の評価では、昨年度に比べてすべての設問項目で平均値の上昇が認められる。昨年度も一昨年度に比べてすべての項目で平均値の上昇が見られたが、今年度はさらに評価が上がったことになる。

項目別に見ると、「出席状況」では+0.01、「ノート・メモ」では+0.03、「予習・復習」では+0.04、「狙いの明確さ」では+0.03、「説明方法」では+0.04、「話し方・声」では+0.06、「教材の有効性」では+0.05、「文字・画面」では+0.08、「教室内の雰囲気」では+0.01、「授業内容の理解度」では+0.05、「知識が身につく」では+0.02、「見方・考え方が深まる」では+0.03、「総合的な満足度」では+0.03である。

ここ数年間にわたる教員の積極的なFD活動の成果が現われている。

II. 非常勤講師の評価

非常勤講師の評価では、昨年度と比較すると、今年度はすべての項目で平均値の上昇が見られた。この点で非常勤講師の授業改善が進み、評価が高まったと言える。

項目別に見ると、「出席状況」は4.44(昨年度は4.39)で+0.05、「ノート・メモ」は3.87(昨年度は3.77)で+0.10、「予習・復習」は2.81(昨年度は2.68)で+0.13、「授業の狙い」は4.02(昨年度は3.96)で+0.06、「説明の分かりやすさ」は3.83(昨年度は3.76)で+0.07、「話し方・声」は4.07(昨年度は4.01)で+0.06、「教材の有効性」は3.95(昨年度は3.90)で+0.05、「文字・画面」は3.90(昨年度は3.87)で+0.03、「教室内の雰囲気」は4.12(昨年度は4.10)で+0.02、「授業の理解度」は3.74(昨年度は3.68)で+0.05、「知識が身につく」は3.73(昨年度は3.67)で+0.06、「見方・考え方が深まる」は3.65(昨年度は3.56)で+0.09、「総合的な満足度」は3.90(昨年度は3.86)で+0.04である。

III. 専任教員と非常勤講師との比較

専任教員と非常勤講師とを比較してみると、今年度は双方の平均値が上回っている項目数は、13項目のうち専任が9項目、非常勤講師が4項目である。専任教員の平均値が非常勤講師の平均値より低かったのは、「予習・復習」・「説明の分かりやすさ」・「話し方・声」・「文字・画面」の項目であり、専任教員の平均値が3.88であるのに対して、非常勤講師の平均値が3.85である。

非常勤講師の評価は昨年度に比べるとすべての項目で平均値の上昇が見られたのであるが、それでも専任教員の平均値の方が高い。

専任教員の平均値が非常勤講師の平均値より高い項目を列举すると、「出席状況」で+0.06、「ノート・メモ」で+0.15、「狙いの明確さ」で+0.03、「教材の有効性」で+0.01、「教室内の雰囲気」で+0.10、「授業内容の理解度」で+0.01、「知識が身につく」で+0.03、「見方・考え方が深まる」で+0.09、「総合的な満足度」で+0.06である。

③. 学科別評価

法律政治学科と経済学科とを比較すると、昨年度はすべての項目で法律政治学科の平均値が経済学科を上回っていた。今年度は「文字・画面」の1項目だけ両学科の平均値が同値(3.82)であるが、他のすべての項目で法律政治学科の平均値が経済学科の平均値を上回っている。

具体的には、法律政治学科の平均値は経済学科の平均値に比べて、「出席状況」が+0.06、「ノート・メモ」が+0.12、「予習・復習」が+0.08、「狙いの明確さ」が+0.08、「説明方法」が+0.07、「話し方・声の大きさ」が+0.10、「教材の効果」が+0.03、「教室内の雰囲気」が+0.12、「授業の理解度」が+0.10、「知識が身につく」が+0.11、「見方・考え方が深まる」が+0.16、「総合的な満足度」が+0.09という差がある。

数値の差が0.1以上あるのは「ノート・メモ」、「話し方・声の大きさ」、「教室内の雰囲気」、「授業の理解度」、「知識が身につく」、「見方・考え方」の6項目である。経済学科の学生数が法律政治学科の学生数の約2倍であり、必然的に多人数授業が多くなることからこのような差に反映されていると思われる。

④. 分野別評価

政経学部の専門科目である法律、政治、行政、経済の各分野について、それぞれの設問項目の平均値を合計して高い順に示せば、政治分野が50.56、法律分野が50.18、行政分野が49.53、経済分野が49.39である。平均値の合計が高い順は昨年度と同じであるが、行政分野と経済分野が接近したことが分かる。

I. 法律分野

昨年度と比べると、今年度の法律分野は「予習・復習」の項目だけは平均値が微減したけれども(-0.01)、他のすべての項目で昨年度を上回った。

「出席状況」は4.47(+0.07)、「ノート・メモ」は3.99(+0.13)、「狙いの明確さ」は4.06(+0.07)、「説明方法」は3.78(+0.10)、「話し方・声」は4.06(+0.05)、「教材の有効性」は4.03(+0.16)、「文字・画面」は3.80(+0.05)、「教室内の雰囲気」は4.25(+0.02)、「授業の理解度」は3.68(+0.16)、「知識が身につく」は3.77(+0.13)、「見方・考え方が深まる」は3.75(+0.10)、「総合的な満足度」は3.90(+0.07)である。そのうち4分野で最も平均値が高いのは「狙いの明確さ」、「説明方法」、「教材の有効性」の3項目である。

II. 政治分野

昨年度と比べると、今年度の政治分野は「ノート・メモ」、「話し方・声」、「文字・画面」、「教室内の雰囲気」の4項目で平均値が低下し、「予習・復習」の項目は昨年度と同値だったが、他の項目すべてで平均値が昨年度を上回った。

「出席状況」は4.51(+0.04)、「ノート・メモ」は4.12(-0.01)、「予習・復習」は2.73(±0)、「狙いの明確さ」は4.04(+0.01)、「説明方法」は3.77(+0.06)、「話し方・声」は4.05(-0.02)、「教材の有効性」は3.86(+0.02)、

「文字・画面」は3.72(-0.01)、「教室内の雰囲気」は4.33(-0.13)、「授業の理解度」は3.79(+0.09)、「知識が身につく」は3.84(+0.05)、「見方・考え方が深まる」は3.83(+0.06)、「総合的な満足度」は3.97(+0.04)となっている。そのうち分野で最も平均値が高いのは「出席状況」、「ノート・メモ」、「予習・復習」、「教室内の雰囲気」、「授業の理解度」、「知識が身につく」、「見方・考え方が深まる」、「総合的な満足度」の8項目である。「教室内の雰囲気」の平均値がかなり低下しているのは気になるところである。

Ⅲ. 行政分野

昨年度と比べると、今年度の行政分野は「狙いの明確さ」、「教材の有効性」、「文字・画面」、「教室内の雰囲気」、「総合的な満足度」の5項目で平均値が低下したが、他のすべての項目では昨年度を上回った。

「出席状況」は4.42(+0.28)、「ノート・メモ」は3.77(+0.28)、「予習・復習」は2.65(+0.11)、「狙いの明確さ」は4.01(-0.02)、「説明方法」は3.73(+0.05)、「話し方・声」は4.13(+0.06)、「教材の有効性」は3.84(-0.28)、「文字・画面」は3.83(-0.05)、「教室内の雰囲気」は4.27(-0.06)、「授業の理解度」は3.63(+0.13)、「知識が身につく」は3.65(+0.08)、「見方・考え方が深まる」は3.77(+0.10)、「総合的な満足度」は3.83(-0.02)である。「教材の有効性」がかなり低下していることには注意する必要がある。

Ⅳ. 経済分野

昨年度と比べると、今年度の経済分野はすべての項目で平均値が上回る、もしくは同数値で、授業の改善傾向が認められる。

「出席状況」は4.44(+0.02)、「ノート・メモ」は3.92(+0.10)、「予習・復習」は2.67(+0.07)、「狙いの明確さ」は3.94(+0.03)、「説明方法」は3.75(+0.08)、「話し方・声」は3.96(+0.10)、「教材の有効性」は3.97(+0.09)、「文字・画面」は3.83(+0.13)、「教室内の雰囲気」は4.11(+0.07)、「授業の理解度」は3.64(+0.07)、「知識が身につく」は3.63(+0.01)、「見方・考え方が深まる」は3.65(±0)、「総合的な満足度」は3.88(+0.05)である。このようにすべての項目で改善が見られた結果、経済分野と行政分野の平均値合計の差が0.14まで縮まり、経済分野と法律分野の平均値合計の差が0.79まで縮まったことになる。

(3) 今後の課題

各項目について学生による今年度の評価は、昨年度よりも平均値で微減した「教室内の雰囲気」の項目を除くと、過去5年間(平成17年度以降)で最高の平均値を示した。しかし、各項目を詳細に分析すると、こうした評価も教員にとって必ずしも満足できるわけではない。まだ不十分と思われる点が多々あるからである。

各教員が授業成果を高めるには、それぞれの設問項目で「どちらとも言えない」、「そう思わない」、「まったくそう思わない」の回答を可能な限り少なくすることが必要であ

る。「どちらとも言えない」との回答をどのように解釈するかで大きな差が生じるが、この回答を選んだ学生がその授業に十分満足していないことは確かであろう。「どちらとも言えない」と回答した学生は20%台から30%台もいる。もし教員が授業で少しでも手を抜くとすれば、この回答を選んだ学生はおそらく「そう思わない」の選択肢へと移るであろう。

受講生の30%以上は設問項目のほとんどで「どちらとも言えない」か、「そう思わない」か、「全くそう思わない」を回答している。「ノート・メモ」では34.71%、「予習・復習」では79.21%、「狙いの明確さ」では30.41%、「説明方法」では42.37%、「話し方・声の大きさ」では32.82%、「教材の有効性」では30.29%、「文字・画面」では36.08%、「授業内容の理解度」では44.21%、「知識が身につく」では41.42%、「見方・考え方が深まる」では43.93%であり、従って「総合的な満足度」では34.41%になっている。「予習・復習」の項目は80%近いが、教科書を使用しない科目では予習は難しいから、せめて復習だけは学生に促すことが重要であろう。教員はこうした受講生の割合が30%を下回るように努力することが求められている。

3. 外国語学部

(1) アンケート実施状況

今年度「授業改善のための学生アンケート」を実施した外国語学部教員は、専任教員（特別非常勤講師を含む）が 41 名、非常勤講師が 48 名であった。実施対象者がそれぞれ 41 名、47 名であるので、専任教員については実施率が 100 %であったが、非常勤講師については残念ながら 100 %に達しなかった。来年度はともに 100 %になるよう、アンケート調査の実施を呼びかけたい。

実施科目数を見ると、専任教員は 97、非常勤講師は 94 で、合計 191 であった。その内訳は、外国語学部専門科目が 104、政経学部専門科目が 1、教養科目・総合教育科目が 22、外国語科目が 50、教職・社教・日語科目が 6、ゼミ・外書講読が 8 であった。

アンケート回答数（延べ人数）は、1 年が 1,162 名、2 年が 816 名、3 年が 714 名、4 年が 136 名、無回答が 20 名で、合計 2,848 名であった。昨年度は、1 年が 1,055 名、2 年が 981 名、3 年が 553 名、4 年が 225 名、無回答が 23 名で、合計 2,837 名であった。昨年度と同じような数であり、バランスのとれたアンケート調査となっている。

(2) 集計結果

①学科目別（講義等科目） 外国語学部専門科目に対する評価

設問項目別に具体的に見ていくと、次のような結果になる。

I-1「学生の出席状況」4.49 は、大学全体の平均値 4.47 を 0.02 だけ上回っている。また I-2「ノート・メモ」4.02 および I-3「予習・復習」3.27 も、それぞれ 0.09、0.31 だけ大学全体の平均値を上回っている。

残りの科目もすべて大学全体の平均値より良好な数字が出ている。

I-1「学生の出席状況」、「ノート・メモ」以外に 4.0 以上がついている項目は、次のとおりである。

II-1「狙いの明確さ」 4.24

II-4「説明方法」 4.10

II-5「声の大きさ」 4.32

II-6「教材等の効果」 4.05

II-7「文字・画面」 4.07

II-8「教室内の雰囲気」 4.29

II-9「理解しやすさ」 4.05

II-10「知識・技術が身につく」 4.08

III「満足度」 4.22

4.0 以上がついている項目は、昨年度より 1 つ増えている。

II-11「見方・考え方が深まる」は 3.89 であるが、大学全体の平均値 3.71 よりは上である。

II-1「狙いの明確さ」、II-4「説明方法」、II-5「声の大きさ」など、いずれも外国語教育にとって重要な項目であるが、全般に良好な評価であるといえる。

また、3.00 の回答が適切であると考えられる設問項目 II-2「難易度」と II-3「進度」に関しても、それぞれ 3.37、3.22 という数字で、大学全体の平均値より良好な結果が出ている。

以上のことから、外国語担当教員の基本的な姿勢や資質、適正などと大いに関係ある項目は、概ね学生から高い評価を受けていることがわかる。特に「難易度」、「進度」、「教室内の雰囲気」などは、少人数のクラスが多いため、学生へのきめ細かい対応ができていると推察することができる。

また、外国語学部専門科目は、すべての設問項目について、それぞれ昨年度と同様かやや良好な評価がつけられている。たとえ少しずつであっても、上向き傾向が今後も続くよう期待したい。

一方、改善の余地があると考えられるのは、I-3「予習・復習」であろう。数字の上では今年度も他学部の学生を上回っているが、これは、毎時間の予習と復習が不可欠な外国語学部の学生として当然のことである。昨年度が 3.20 だったので、予習・復習に励む学生がわずかに増えているものの、まだ不十分であると思われる。外国語学部の学生に対しては、もっと予習・復習に力を入れるよう、普段の授業で強調し、指導しなければいけないだろう。

最近 5 年間のデータから見た評価

外国語学部専門科目に対する評価に関しての大きな特徴は、平成 17 年度から平成 21 年度の間ポイントが少しずつ上がっていることである。

「声の大きさ」、「教材等の効果」、「文字・画面」、「知識・技術が身につく」、「見方・考え方が深まる」、「満足度」などの項目は、アンケートを実施するたびに評価が高くなっている。

昨年度までと比べ、今年度は特に「狙いの明確さ」、「教室内の雰囲気」、「知識・技術が身につく」、「見方・考え方が深まる」の項目のポイント上昇が目立つ。

単に外国語を習得するだけでなく、文化背景などの知識を学ぼうとする学生からの評価が高くなっているのであろうか。今までとは違う新たな面が評価され始めているようにも思えて、興味深い。

今後もこの上向き傾向を維持できるよう、いっそう努力したい。

②教員所属別評価 専任教員（特別非常勤講師を含む）に対する評価

「狙いの明確さ」から「満足度」まで、今年度はどの項目も他学部より高い評価を受けている。「見方・考え方が深まる」だけが 3.93 で、あとの項目は 4.0 以上である。「見方・考え方が深まる」の項目も、前述したとおり、昨年度よりは上昇している。

「狙いの明確さ」4.24、「声の大きさ」4.33、「教室内の雰囲気」4.31 など、特にポイントが高いが、外国語学部の専任教員たちが、それぞれ授業の工夫をしながら学生の指導にあたっていることが窺える。

非常勤講師に対する評価

「狙いの明確さ」から「満足度」まで、大学全体の平均を少しずつ上回る評価を受けている。特に、「狙いの明確さ」、「声の大きさ」、「教室内の雰囲気」、「満足度」は、昨年同様、評価が4.0以上であり、講師たちの熱意が学生にも伝わっていると言える。

唯一の問題点は、やはりここでも学生たちの「予習・復習」である。非常勤講師担当授業での学生たちの「予習・復習」は、大学の平均を上回っているものの、外国語学部の学生として3.05という数字は決して高くはないし、昨年度より0.02ポイント下回っている。学生たちが予習・復習にもっと時間を割くよう、いっそうのご指導をお願いしたいと考えている。

専任教員の場合も非常勤講師の場合も、教育効果を上げるために創意工夫してきた結果が、学生の満足度（専任教員4.21、非常勤講師4.04）につながっているようである。専任教員と非常勤講師との連携をさらに密にすることで、外国語教育はさらに効果が期待できるだろう。今後もそうした努力を重ねていきたい。

③学生所属別評価（講義科目）

学科別の分析

講義科目に関する今回の学生アンケートの回答を学科別に見てみよう。

「学生の出席状況」

学科ごとの平均値は、英米語 4.57、中国語 4.45、スペイン語 4.46 で、英米語がやや高いが、全体として他学部の平均値に近い。

「ノート・メモ」

学科ごとの平均値は、英米語 4.04、中国語 3.97、スペイン語 3.94 で、英米語だけが若干上回っている。中国語とスペイン語は、今年度も他学部並みである。

「予習・復習」

学科ごとの平均値は、英米語 2.78、中国語 2.86、スペイン語 3.18 で、他学部の平均値と大差ない。

「狙いの明確さ」

学科ごとの平均値は、英米語 4.11、中国語 3.84、スペイン語 4.13 で、スペイン語と英米語が高く、学内では開発協力量科に次いでいる。

「説明方法」

学科ごとの平均値は、英米語 3.92、中国語 3.66、スペイン語 3.99 で、これもスペイン語と英米語が高く、学内では開発協力量科に次いでいる。

「声の大きさ」

学科ごとの平均値は、英米語 4.16、中国語 3.96、スペイン語 4.20 で、これもスペイン語と英米語が高く、学内では開発協力量科に次いでいる。

「教材等の効果」

学科ごとの平均値は、英米語 4.01、中国語 3.70、スペイン語 4.01 で、英米語とスペイン語が高く、学内ではアジア太平洋学科に次いでいる。

「文字・画面」

学科ごとの平均値は、英米語 3.91、中国語 3.68、スペイン語 4.02 で、学内ではスペイン語と開発協力量科が並んで最も高い。

「教室内の雰囲気」

学科ごとの平均値は、英米語 4.07、中国語 3.82、スペイン語 4.16 で、スペイン語が学内で最も高い。

「理解しやすさ」

学科ごとの平均値は、英米語 3.89、中国語 3.61、スペイン語 3.95 で、学内ではスペイン語が開発協力量科に次いでいる。

「知識・技術が身につく」

学科ごとの平均値は、英米語 3.90、中国語 3.60、スペイン語 4.02 で、スペイン語が学内で最も高く、英米語がそれに続いている。

「見方・考え方が深まる」

学科ごとの平均値は、英米語 3.77、中国語 3.42、スペイン語 3.89 で、スペイン語が学内で最も高くなっている。

「満足度」

学科ごとの平均値は、英米語 4.01、中国語 3.72、スペイン語 4.13 で、これもスペイン語が学内で最も高くなっている。

外国語学部の3学科中、中国語学科の評価が若干低いですが、大学全体の中では決して低くはなく、ほぼ平均値に近い評価を受けている。

昨年度までも、「狙いの明確さ」、「声の大きさ」、「教室内の雰囲気」、「満足度」などの項目は、学内で高い評価を受けていた。今後も、いい意味で外国語学部らしさが出せるような授業を続けていきたい。

この5年間を振り返ってみると、英米語、中国語、スペイン語ともに、平成17年度の満足度は高くなかったものの、翌18年度には回復している。そして、英米語、スペイン語は、年々上昇し、平成21年度は特に満足度が高くなっている。

残念ながら、中国語は一昨年度まで上がっていたが、平成20年度と21年度は、やや伸び悩んでいる。

④授業に対する学生の満足度

学科目別満足度

学科目別満足度の平均値を見てみると、「外国語学部専門科目」は、「ゼミ・外書講読」や「スポーツ・トレーニング科目」には及ばないものの、大学全体の中では高いポイントを得ている。

また、この5年間のデータを見ても、平成17年に低かったものの（これはアンケートの実施時期によるものと思われ、全学的に低くなっている）、平成18年度以降は平均値4.0以上を維持し、上昇し続けている。特に、今年度はよく伸びていて好ましい結果となった。

このデータを見る限り、外国語学部では、概ね学生の満足いく授業が行われていると考

えていただろう。

教員所属別満足度

外国語学部に所属する教員（非常勤講師を含む）の授業に対する学生の満足度はどうであろうか。

平成21年度、学内では最も満足度が高くなっている。また、平成18年度以降は平均値4.0以上を維持し、安定した数値を示している。

身分別に見た満足度

平成18年度以降の過去4年間、どれも比較的安定した数値になっているが、学生からの満足度が特に高いのは、特別非常勤講師である。この一年の伸びも顕著である。授業時間数が多く、学生と接する機会が多いため、学生からの信頼を十分得るような授業が行われていることが推察できる。

また、正規の授業ではないため、今回のアンケートの対象になっていないが、外国語学部では特別非常勤講師による「語学サロン」があり、それぞれ英米語、中国語、スペイン語のみを使って、学生が特別非常勤講師と自由に会話ができる時間を設けている。さらに弁論大会出場学生の指導などでも、特別非常勤講師たちは活躍している。

外国語学部の授業では、英米語、中国語、スペイン語の3学科とも、ネイティブ・スピーカーである特別非常勤講師の果たす役割が大である。その意味では、今後もさらに熱心な教育活動が行われるよう、期待したい。

学科目別回答の分析

設問項目別に見た「外国語学部専門科目」に対する満足度

それぞれの設問に対し、学生は5段階（最高値は⑤）で評価を下している。どの項目で満足のいく数値⑤や④が多く付けられているだろうか。

I-1「学生の出席状況」は、⑤が64.81%と最も多く、次いで④の23.04%となっている。

I-2「ノート・メモ」は、⑤の41.99%が最も多く、次いで④の32.16%となっている。

I-3「予習・復習」は、③の32.29%が最も多く、次いで④の26.03%となっている。

I-4「受講した動機」は、③の「単位が必要だから」51.83%が最も多く、次いで⑤の「講義要項を読んで興味を持ったから」27.23%となっている。

II-1「狙いの明確さ」は、⑤の43.60%が最も多く、次いで④の36.14%となっている。

II-2「難易度」は、③のちょうど良いが53.53%で最も多く、次いで④のやや難しいが33.37%である。

II-3「進度」は、③のちょうど良いが69.05%で、④のやや速いが20.84%である。

II-4「説明方法」は、④の36.85%と⑤の36.23%がほぼ並んでいる。

II-5「声の大きさ」は、⑤の50.51%が最も多く、次いで④の29.66%となっている。

II-6「教材等の効果」は、⑤の36.79%と④の35.58%がほぼ並んでいる。

II-7「文字・画面」も、⑤の36.05%と④の34.57%がほぼ並んでいる。

II-8「教室内の雰囲気」は、⑤の46.31%が最も多く、次いで④の33.20%となっている。

II-9「理解しやすさ」は、④の44.29%が最も多く、次いで⑤の30.47%となっている。

II-10「知識・技術が身につく」は、④の44.09%が最も多く、次いで⑤の30.63%となっている。

II-11「見方・考え方が深まる」は、④の35.10%が最も多く、次いで③の29.58%、⑤の28.21%である。

III「満足度」は、⑤の41.59%が最も多く、次いで④の36.08%である。

⑤学部設問項目

今回のアンケートに外国語学部が独自に入れた設問項目は、次の2つであった。

「この授業で使う教室の大きさ、施設・設備などは適切である」

「このクラスの学生数は適切ですか」

「この授業で使う教室の大きさ、施設・設備などは適切である」に対する回答の平均値は、専任教員の授業では4.16で、非常勤講師の授業では4.01であった。

また、「このクラスの学生数は適切ですか」に対する回答の平均値は、専任教員の授業では4.25で、非常勤講師の授業では4.05であった。

この2項目は、特に少人数教育を中心とした外国語の授業で、集中して効果的に授業が行われる環境が整備されているかどうかを問うものであるが、学生の反応は、今年度も概ね良好であったと言える。

(3) 授業改善に向けての今後の課題

以上、平成21年度「授業改善のための学生アンケート」の集計結果を分析してきたが、外国語学部は、今年度も、全般にわたって比較的高い数値を得られている。

説明方法や声の大きさ、理解のしやすさ、明確さなど、特に外国語教授法の中の要となる部分を、多くの教員たちがよく心得て実践している結果が、この数年間の安定した右上がりの評価につながっていると考えられる。

授業時間内だけでなく、休み時間を利用して研究室に足を運び、教員の指導を受けている学生の姿は、今年度もよく見かけられた。また、留学相談、資格試験対策、外国語弁論大会などの指導も、おそらく教員に対する学生の評価が上がっている一因であろう。教室内外でのより懇切な指導が、外国語学部の学生たちをさらに伸ばすはずである。そのため創意工夫はたえず怠らないようにしなければならないだろう。

学生の気質や学習能力は、入学年によってかなりばらつきがあり、また同じ年に入学した学生たちの間にも、かなりの能力差が見られるようになっている。外国語学部では、3学科とも能力別クラスを一部導入することによって、より学習効果が上がるよう配慮している。しかし、そのためには、教員たちがたえず学生の学習到達度を細かくチェックする必要があり、教員間の連携も重要である。

将来も、学生間の学力差は広がる可能性がある。さまざまな学習到達度の学生が混在する授業では、それにどう対応するか、教員の力量がますます問われることになるだろう。

4. 工学部

(1) 授業アンケートの実施状況

今年度も例年と同様、後期科目および通年科目に関して授業改善のための学生アンケートを行った。

工学部での実施科目は、149科目で、昨年の142科目を上回ったが、アンケート回答数(のべ人数)は、5470人で、昨年より約500名程度少なかった。昨年の同時期より、2年生と3年生で授業に出席する学生数が少なかったようである。授業の履修制限制度が影響している可能性があると思われる。

学生アンケートを実施した149科目の内訳は、専門(講義)科目が72科目、専門(実験・実習・演習)科目が34科目、教養科目が7科目、外国語科目が26科目、スポーツ・トレーニング科目が2科目、教職・日本語科目が2科目、その他が4科目である。昨年と比べて、外国語科目が18科目から8科目増加し、教養科目が3科目減少した。専門科目では、講義科目が4科目減少し、実験・実習・演習科目が2科目増加した。

実施対象教員数は、専任教員61名と講師(非常勤)29名であるが、専任教員61名と講師(非常勤)29名が実施し、昨年までと同様100%の実施率となった。

実施率が常に高率であることは、授業完全に役立つデータを得る有効な手段として「学生によるアンケート」が定着していることを示している。今後もアンケートの分析結果を具体的にいかに授業改善に結びつけるかが重要である。今年度を含めて4年間後期開講科目・通年科目を対象に授業アンケートを実施したことから、授業改善結果を検証できるだけの、いわゆる定点観測を行う資料が揃ったと考えることができるが、一方では、前期科目についても、学生アンケートを実施したい、という意見もあった。

以下、全体集計結果に基づき、工学部の専門科目に対する授業アンケート結果を分析し、所見を述べる。さらに分野別集計結果に基づいて工学部専門科目に対する授業アンケートを分析し、所見を述べ、実施目的が達成できたかという視点から今後の課題を指摘して総評としたい。

(2) 全体集計結果に基づく授業アンケート結果の分析

工学部の卒業生の多くが、製造業や、他の様々な分野の企業でも技術系の職種に就職する。このため、工学部の専門科目(学科別専門科目と基礎科目)には、実験・実習・演習科目が多い。また、近年座学による学習を苦手とする学生が多く、実験や演習を通じて、初めて実際に技術を自分のものとしてできる場合が少なくない。かつては、講義科目を対象としたアンケート様式を実験・実習・演習科目にも適用していたが、授業内容の違いから講義用アンケートでは授業改善に行かせるデータ収集が難しいという欠点があった。そこで、現在はそれらの科目用のアンケート様式は新たに作成され、講義科目とは別にすることが可能になった。

以下、昨年までと同様に専門(講義)科目、専門(実験・実習・演習)科目の順に授業アンケート結果を分析する。

1) 専門（講義）科目

① 出席状況（設問Ⅰ－１）

今年度も含め、この数年工学部の学生の70%以上が、90%以上授業に出席していると回答しており、おおむね授業への出席状況は良好であるが、年々わずかずつであるが、出席率が下がっているのが問題である。

② ノート・メモ（設問Ⅰ－２）

近年講義に出席に出席しても、ノートやメモを取らない学生がしばしば見受けられる。一昨年をピークとして、2年連続して減少している。ノートを取る習慣がなかったり、取り方がわからない学生もいることが予想される。

この①と②の結果から、学生の授業への取り組みの姿勢がわずかであるが悪くなっていることがわかる。入学してくる学生の基礎学力の低下と関係があるかもしれない。

③ 予習・復習（設問Ⅰ－３）

予習や復習に取り組む学生はまだまだ少ないが、少しずつではあるが、4年連続して改善されている。

④ 狙いの明確さ・説明方法・声の大きさ・教材の効果

（設問Ⅱ－１、Ⅱ－４、Ⅱ－５、Ⅱ－６）

これらのすべての項目において、4年連続して、改善している。

⑤ 文字・画面（設問Ⅱ－７）

昨年より、文字・画面は、改善されている。

これら③と④わずかずつであるが、学生アンケートの結果からの教員の努力は学生にも認められているようである。

⑥ 教室の雰囲気（設問Ⅱ－８）

昨年度と同程度である。

⑦ 難易度・理解のしやすさ（設問Ⅱ－２、Ⅱ－９）

アンケート実施が後期科目であるため、難易度は前期より高く、授業が難しいと思う学生がわずかであるが増加している。①や②の結果で述べたように、入学生の基礎学力が低下していることも影響しているかもしれない。授業の難易度については、就職する卒業生に要求される専門性を考えるとやむをえない面もある。また、多様な入試システムから工学の基礎である数学や物理などの科目を高校で履修していない学生が増えていることも一因ではないかと思われる、

一方、理解のしやすさについては、昨年より改善しており、授業は難しいと感じながらも、教員の努力により、理解度も向上していると考えられる。

⑧ 進度（設問Ⅱ－３）

授業の進行速度については、この2・3年ほとんど変化がない。半分を超える学生が「ちょうど良い」と回答しているが、速すぎると感じている学生もいる。

⑨ 知識・技術が身につく（設問Ⅱ－１０）

この3年間で、改善されてきていることがわかる。工学部の授業は実践力養成を目的としており、その目的が少しずつであるが理解されるようになってきているといえる。

⑩ 見方・考え方が深まる（設問Ⅱ－１１）

この項目も⑨と同様３年間改善されてきている。

⑪ 満足度（設問Ⅲ）

満足度もわずかであるが、改善されている。⑨や⑩の知識・技術が身についたり、見方・考え方が深まる、という実感から満足度につながるよう取り組みたいと思う。

アンケートが現在の方法になってから、少しずつではあるが、教員の授業改善の努力により良い方向に向かっているといえる。しかし、今度、ますます入学する学生の多様性が増し、難しすぎたり進行が速すぎると感じる学生がいる一方、易しすぎると感じる学生もおり、両者のやる気を引き出すことが難しいが重要なことだと思う。

2) 専門（実験・実習・演習）科目

① 出席状況（設問Ⅰ－１）

きわめて出席率は高いが、年々少しずつ減少している。

② 事前準備・レポートの作成（設問Ⅰ－２、Ⅰ－３）

昨年度より改善されているが、まだ、一昨年の状態まで回復していない。実験などに事前の予習が必要であるという認識のない学生も多いため、そのあたりから教育する必要がある。また、実験や演習のあとのレポートは、実習した内容を自分のものにするために必要不可欠であるばかりでなく、エンジニアとしても必要な技術であるため、再提出を課すなどして、きめ細かく指導する必要があると思う。

③ 狙いの明確さ・説明方法・声の大きさ（設問Ⅱ－１、Ⅱ－４、Ⅱ－５）

これらの項目は、すべて昨年より改善されたが、まだ、一昨年のレベルに達していないものもある。昨年のアンケート結果により教員の努力の結果が反映されているようである。実験や演習などは、狙いの明確さが重要であるので、これが改善されているのは、よい効果があると思われる、

④ 教材の効果・適切性（設問Ⅱ－６、Ⅱ－７）

大きな変化はないが、わずかに悪くなっている。

⑤ 理解のしやすさ（設問、Ⅱ－９）

昨年より、改善されているが、実験・演習科目であることを考えるともう少し高くする工夫が必要だと考える。

⑥ 知識・技術が身につく（設問Ⅱ－１０）

昨年よりわずかであるが改善している。

⑦ 見方・考え方が深まる（設問Ⅱ－１１）

昨年よりわずかであるが改善している。

⑤～⑦の項目で、学生の基礎学力の低下に教員が対処し、授業が改善されてきたことがわかる。実験・演習科目であるので、よりいっそうこれらの項目が改善される必要がある。

⑧ 難易度・進度（設問Ⅱ－２、Ⅱ－３）

難しいと感じる学生が増加しているようである。一定の技術や知識、考え方を取得す

ることと難易度や進度の兼ね合いは難しい問題である。安易に内容を易しくするのではなく、学生が興味を持って取り組み、困難さを感じないようなテーマなどを工夫したい。

⑨ 満足度（設問Ⅲ）

一昨年には及ばないが、昨年より満足度が高くなっている。

（３）分野別集計に基づく授業アンケート結果の分析

工学部の組織は、機械システム工学科（以下、機械）、電子システム工学科（以下、電子）、情報工学科（以下、情報）、工業デザイン学科（以下、工デ）の４学科および基礎教育系列（以下、基礎）から構成されている。

以下、専門（講義）科目、専門（実験・実習・演習）科目の順に、分野別集計結果に基づき、授業アンケート結果を分析する。

１）専門（講義）科目

① 出席状況（設問Ⅰ－１）

工学部全体の平均は４．５８であり、昨年度（４．５９）とほとんど変わっていない。本年度も機械の選択科目や電子のコア・応用が工学部平均より高い。情報のコア科目の出席状況は改善されたが、工デの講義科目が低下した。

選択科目の講義科目は必修となっていることが多い実験・実習科目になどに比べると若干ではあるが、出席率が低い。しかし、他学部などの結果と比較すれば、工学部の全科目区分について出席率が高い。

② ノート・メモ（設問Ⅰ－２）

工学部全体の平均は３．６２で、昨年度（３．６９）よりも低下した。一昨年度の平均値は３．８０であり、減少傾向が続いている。昨年度までと同様に機械の３・４年次選択科目の平均値が高い。本年度の情報のコア科目は平均値を上回り、改善傾向が見受けられるが、講義科目の平均値は低下した。

③ 予習・復習（設問Ⅰ－３）

工学部全体の平均値は２．６５と低いが、昨年度の２．６０より改善され、一昨年度の２．５７から漸増している。基礎の選択科目が昨年の平均値２．２１に比べて２．５０となり改善されている。全体的には、学科・基礎別あるいは科目区分に関わらず、予習・復習に取り組む学生がまだまだ少なく、今後も改善が必要である。

④ 狙いの明確さ（設問Ⅱ－１）

工学部全体の平均は３．６８であり、昨年度３．６４と大きな変化はなかった。工デの講義科目の４．１４がもっとも高く、昨年度も４．１８と高い結果を得ている。最低は情報の講義科目の３．３４であり、昨年度と比べてあまり変わっていない。

⑤ 説明方法（設問Ⅱ－４）

工学部全体の平均値は３．３６であり、昨年度の３．３４と大きな変化は見られない。工学部の講義科目全般に説明方法の工夫・改善の余地がある状況に大きな変化はない。

⑥ 声の大きさ（設問Ⅱ－５）

工学部全体の平均は3.65であり、昨年度の3.63と大きな変化はなかった。電子のコア科目と工デの講義が例年高い評価を受けている。基礎の選択科目には改善傾向が見受けられるが、必修科目の平均値が例年低い。しかし、声の大きさに関しては全ての区分について問題無いと言える。

⑦ 教材等の効果（設問Ⅱ－６）

工学部全体の平均値は3.69であり、昨年度の3.69と変化がなかった。情報のコア科目と工デの講義が例年高い評価を受けている。今後も全般的に教材開発に関しては改善の余地がある。

⑨ 文字・画面（設問Ⅱ－７）

工学部全体の平均は3.51であり、昨年度の3.49と大きな変化がなかったが、一昨年度の3.42から少しずつ改善傾向にある。工デの講義科目が高い平均値となっているが、科目区分ごとの差はあまり無い。板書方法や液晶プロジェクタ等の活用方法にもう一工夫必要である。

⑩ 教室内の雰囲気（設問Ⅱ－８）

工学部全体の平均は3.63であり、昨年度の3.63と変化がなかった。工デの講義が4.30と高い平均値となっている。機シの3・4年次選択科目に改善傾向が見られる。最低は基礎科目の必修科目の3.31であるが、科目ごとの差は小さい。教室の雰囲気がやや悪いのは履修者数やマナーを守らない学生が増えてきた事と関連があると推測される。

⑪ 難易度（設問Ⅱ－２）

授業の難易度が適切かどうかとの問いに対して、工学部全体の平均は3.65であり、昨年度の3.67と大きな変化はない。若干、低下したが、他学部と比べて高い値となっている。今後も授業内容を見直し、改善していく必要がある。

⑫ 理解のしやすさ（設問Ⅱ－９）

工学部全体の平均は3.23であり、昨年度の3.16と比べると若干の改善が見られるが、他学部と比べると低い値となっている。工学部の専門性を考えれば、やむを得ない面もあるが、高度な内容を分かりやすく説明する努力が必要とされ、如何に授業を理解させるかに改善・工夫の余地は多い。

⑬ 進度（設問Ⅱ－３）

工学部全体の平均は3.35であり、昨年度の3.37と比べると大きな変化は見られない。科目ごとの差は小さく、学生はどの科目についても授業の進め方が速いと感じている。

⑭ 知識・技術が身につく（設問Ⅱ－１０）

工学部全体の平均は3.28であり、昨年度の3.25とあまり大きな変化はない。一昨年度は3.21であり、徐々に改善傾向が続いているが、全学部と比べると低い値となっている。工学部の授業は実践力養成を目的としており、知識・技術の習得を重要視しているが、理解のし難さゆえに知識・技術が身につくとは考えない学生が多いようである。

⑮ 見方・考え方が深まる（設問Ⅱ－１１）

工学部全体の平均は3.26であり、昨年度の3.20と比べて大きな変化はなく、他学部と比べると低い状況が続いている。「知識・技術が身につく」と同様に習得すべき内容の理解のし難さ故に、見方・考え方を深められたと考えさせるまでには至っていない。

⑯ 満足度（設問Ⅲ）

全学部の満足度の平均値、3.95と比べると、工学部全体の平均値は3.42と低く、昨年度の3.41と変わっていない。「受講動機」の解答分布を見ると、単位の取得を一番の理由とする学生数が他学部と比べると多く、また、他学部では「時間帯が空いているから」とする学生が多いのに対して、工学部はその割合が低い。体系だった学問をひとつひとつ地道に学んでいく工学部には新奇さが少なく、講義に興味があり、積極的に履修したいという学生よりも、エンジニアとして必要な知識を修得したいという動機をもった学生が多く、授業への期待感が少ない分、満足度も低いのではないかと思われる。

2) 専門（実験・実習・演習）科目

① 出席状況（設問Ⅰ－１）

工学部34科目の平均値は4.69であり、他学部と比べても高い平均値になっている。

② 事前準備（設問Ⅰ－２）

工学部の平均値は3.42であり、昨年度の平均値3.28に比べると改善されているが、全般的に低い。機シの平均値が低く、事前準備の指導を見直す必要がある。

③ レポート作成（設問Ⅰ－３）

工学部全体の平均は4.06であり、昨年度の平均値4.04と大きく変わらない。科目区分ごとの差は小さく、レポート作成の指導は適切に行なわれていると考えられる。

④ 理解のしやすさ（設問Ⅱ－９）

工学部全体の平均は3.57であり、昨年度（3.52）と変化がなかった。実験・実習科目は講義課目（平均値3.16）と比べて理解しやすいと考えているように思われる。

⑤ 授業の狙い・重要なポイント（設問Ⅱ－１）

工学部全体の平均は3.94であり、昨年度の3.86と比べて若干の改善が見られる。実験・実習科目で具体的に説明するテキストや実際のモノを見て理解する内容が受け入れやすいものと思われる。

⑥ 知識・技術が身につく（設問Ⅱ－１０）

理解しやすさと関連して、工学部全体の平均は3.70と高い。眼前で行われる実験・実習の経験を通して、学生は知識・技術が身につくと感じているようである。

⑦ 満足度（設問Ⅲ）

工学部全体の平均は3.76であり、昨年度（3.68）に若干の改善が見受けられ

る。昨年と同様に工デの科目は4.10と高い水準となっている。これに対して機シの平均値は3.27と低い。自然現象の客観的な理解と、自由な発想の下での創造作業に学生が覚える満足度の特徴が現れていると思われる。

(4) 今後の課題

工学部専門科目に関する授業アンケートの全体集計結果および分野別集計結果に基づいて分析を行なった。設問Ⅰ-3予習・復習から、設問Ⅲ満足度まで、ほとんどの項目で、徐々にではあるが、平均値は高くなっており、改善が進んでいるといえる。一方、授業を受ける学生に関わる設問Ⅰ-1の出席状況は低下傾向にあり、設問Ⅰ-2のノート・メモでも低下傾向が見受けられる。ゆとり教育の下で学んできた学生気質や、入試の多様化の影響で、工学部に入学してくる学生の基礎学力にかなりの幅が見られ、設問Ⅱ-2の難易度や設問Ⅱ-3の進度が低下傾向にあるように、授業についていけず、授業が面白くなる学生が増えてしまうことが懸念される。

授業アンケートの目的が、「教員の授業改善に役立てること。また、教育の質の向上を図ること」であることを踏まえ、以下の点を今後の課題としたい。

① 学生の授業への取り組み姿勢を改善する方策の検討

高校までの学習が不十分な学生が増加している現状に対応するために、工学部学習支援センターを設立し、高大接続教育に一定の効果を上げている。この取り組みを今後も授業改善にも活かしていく必要がある。

教員の授業改善が徐々に進んでいる一方、学生の授業への取り組みは少しずつではあるが悪くなっている。数学や物理を基礎とする工学部の授業にあっては、これらに対する基礎学力が不足している学生が増加しており、これらの科目が基礎となっている講義は理解しやすいとは言いがたく、授業への取り組み方を再考する必要がある。

漠然とした興味で工学部に進んだ学生も多いように思われる。初年次教育や、来年度から始まるコース制の下で学ぶ学生が積極的に関わろうとする勉学環境を一層盛り上げることが重要である。

② 満足度の改善

工学部の実験・実習科目は例年、「満足度」が比較的高く、「出席状況」、「理解しやすさ」、「知識・技術が身につく」などの項目の全てで講義科目よりも高い評価になっている。机上の知識だけを学んできた学生が新鮮さをもって実際のモノに触れる実験・実習科目を習得しているのではないと思われる。工学部の専門講義科目の満足度は改善されてきたとは言えるが、他学部と比べてまだ、その満足度は低く、改善の余地が大きい。

実験・実習に興味を覚える学生に対して、その原理や理屈を分かりやすく説明することにより一段と高いレベルに上げることが期待される。各授業の目的をより周知させ、コース制の下で展開される将来の進路と授業科目の関連などを説明することが重要である。このような努力が「満足度」の改善に繋がり、「理解しやすい授業」へとも繋がると思われる。

5. 国際学部

(1) 実施状況・形態

本年度も、これまで同様に専任教員、非常勤講師にかかわらず学部開設のすべての科目を対象に「授業改善のための学生アンケート」を実施した。できるだけ授業を多く行った後での学生の反応を知るために、実施期間は予備日も利用し、平成 21 年 11 月 2 日～ 12 月 12 日に設定した。

アンケートの実施科目総数は 244 科目であった。アンケート結果は、英語群（77 科目、6 分類）、地域言語群（130 科目、6 分類）、基礎科目群（27 科目、4 分類）、専門共通科目（18 科目、4 分類）、専門コース科目（50 科目、12 分類）の 5 群 32 分類の分野別データとして集計された。なお、今年度は、国際開発学部所属学生が 4 年生だけとなり履修者として小さな部分になることが予想されたため、従来の開発協力学科、アジア太平洋学科に分けての分野別集計を廃し、かわりに現行学部の 5 コースの所属別の集計を加えた。

アンケート回答数（延べ人数）は、1 年生 2,653 人、2 年生 2,758 人、3 年生 1,474 人、4 年生 375 人、無回答 185 人の計 7,445 人であった。4 年生の回答者数からみて、分野別集計の変更は妥当であったといえる。

(2) 学科目別評価

① 全体傾向

まず、国際学部専門科目（65 科目）について過去 4 年間の各項目平均値を並べてみた（左から平成 18 年度→ 19 年度→ 20 年度→ 21 年度）。21 年度に前年度よりも上昇したものに△印、下降したものに▼印を付けた。なお、「2-2. 授業難易度」と「2-3. 授業進度」の 2 項目は数値が 3 のとき最適と判断される項目であるため、3 に近づく方向を「上昇」とした。比較対象として 21 年度の大学全体の集計値も入れた。

	H18	H19	H20	H21	H21 全体
1-1. 授業への出席状況	4.26	→ 4.18	→ 4.33	→▼ 4.31	4.47
1-2. ノート・メモをとる	3.64	→ 3.72	→ 3.74	→△ 3.81	3.93
1-3. 予習・復習	2.66	→ 2.75	→ 2.66	→△ 2.68	2.96
2-1. 狙いの明確さ	4.11	→ 4.04	→ 3.94	→▼ 3.92	4.04
2-2. 授業難易度（3 が最善）	3.47	→ 3.45	→ 3.46	→△ 3.44	3.46
2-3. 授業進度（3 が最善）	3.18	→ 3.17	→ 3.21	→△ 3.19	3.23
2-4. 説明のわかりやすさ	3.80	→ 3.78	→ 3.67	→△ 3.71	3.85
2-5. 聞き取りやすさ	4.09	→ 4.01	→ 3.92	→△ 3.93	4.10
2-6. 教材の効果	3.97	→ 3.98	→ 3.81	→△ 3.84	3.96
2-7. 読み取りやすさ	3.89	→ 3.82	→ 3.70	→△ 3.79	3.91
2-8. 教室の雰囲気	4.14	→ 4.10	→ 4.04	→ 4.04	4.12
2-9. 理解度	3.76	→ 3.76	→ 3.63	→△ 3.66	3.79
2-10. 知識・技術の習得	3.81	→ 3.81	→ 3.67	→△ 3.68	3.80
2-11. 見方・考え方の深まり	3.78	→ 3.83	→ 3.66	→△ 3.68	3.71

国際学部の専門科目のアンケート結果は平成 18 年度をピークに過去 2 年間評価を下げていた。特に 20 年度の落ち込みは大きく、それまでは多くの項目で全学部でも上から 1、2 番目に位置していた優位性がすっかり失われてしまった。たしかに数値の絶対値は決して低いものではないし、特に授業の意義・効果に関わる「2-9 理解度」「2-10 知識・技術の習得」「2-11 見方・考え方の深まり」の 3 項目は低くなったとはいえ他学部と比べても遜色のない数値であった。それでも、2 年続けての下落傾向は憂慮すべきものであった。しかし、本年度は、15 項目中 13 項目で前年度よりもわずかとはいえ上昇に転じ、この傾向に反転の兆しが見えてきた。以下、各項目について分析していく。

② 学生の受講姿勢

まず、1-1、1-2、1-3 の 3 項目からは学生が授業に臨む様子がうかがえる。「1-1. 出席」は昨年度大きく改善したが、本年度はやや悪化している。実は、4.31 という数値は大学全体の中では最低なのだが、数値としては決して悪くない。本学部ではすべての授業で出欠管理を行い、出欠席の成績への反映を行っている教員も多いので、学生の出席に対する意識は高いはずである。授業の学期最後近くになってアンケートをとることが多いことも本学部では、それまで休みの多い学生も出欠の帳尻合わせのために出席しているだろうことも、この項目の数値が低くなる一因かもしれない。「1-2. ノート・メモ」と「1-3. 予習・復習」は改善された。「全体」と比べれば低い、「専門科目」の中では健闘している。しかし、数値的には両者ともに向上の余地は大きい。学生の学習スキルが低下しているとの意見はよく聞かれるが、教員が学生の自覚、覚醒を待つだけでは状況は変わらない。「レポート・ライティング」の授業やクラスゼミなど、大学入学後早い段階でノート取りについて指導をし、意識付けを行うことを進めていきたい。予習・復習についても各回の授業内容に関連した課題を課すなどして、学生が予習・復習をせざるをえない環境を教員が作る必要がある。授業見学では一部教員が B b を利用した小テストを行っていることが報告されていたが、B b を活用して教室外での学習機会を増やすことも考えていくべきだろう。

③ 授業の設計と運営

2-1、2-2、2-3 の 3 項目は授業の設計にかかわる。「2-1. 狙い」は今年度もやや下降し、この項目だけは 18 年度から下がり続けている。後述するが、学生の考えと学部で用意している科目の目標にずれがでてきている可能性がある。しかし、何のために学んでいるのかを知ることは学習の大きな動機付けになるものであり、その点でこの数値の下降は看過できない。担当する科目を学ぶ意義を学生にわかりやすく伝えることを各教員が意識する必要がある。一方、「2-2. 難易度」「2-3. 進度」はやや改善した。この 2 項目のみは全体を上回っており、学生の学力に見合った授業が行われていると考えられる。これは「2-9. 理解度」の向上にも結びついているだろう。

一方、講義技術・教室運営に関わる 2-4 から 2-8 までの 5 項目は、前年度と同値の「2-8. 雰囲気」以外の 4 項目が改善した。これらも「2-9. 理解度」向上に貢献しているはずだ。授業見学では、双方向型の授業形式の導入、さまざまな視覚要素の活用など、各教員が学

生を授業に引き込むための工夫をしている様子が多く報告されている。これまでの「講義」形式ではついてこれない学生を意識した授業へと変わってきている。この変化は今後も続けるべきであろう。

「2-8.雰囲気」は 4.04 と悪くはない数値だが、全学、他学部に劣っている。国際学部では前述のように出席を強制するシステムであるため、やる気のない学生も出席だけはあるということが起こりうる。こうした学生の存在が教室の雰囲気を悪くし、授業の進行を妨げているという意見は各種会議などでもよく報告されていることである。そういう学生を教室に来させ、しかも勉強する気にさせるというのはたいへん難しい課題である。しかし、そのような学生が増えているのではないかと危惧されている。今年度は下げ止まったこの項目であるが、次年度も注目したい項目の一つである。

④ 授業の成果

2-9、2-10、2-11 は学習の成果についての項目である。この3項目とも数値は微増した。上記の講義技術・授業運営への評価の向上のおかげだろう。また、「3. 満足度」も上昇した。

ただし、学習の成果についての3項目が他学部専門科目に比べても遜色のない評価にもかかわらず、満足度の数値はやや見劣りする結果になっている。これは、先の「2-1.狙い」の理解が低いため、「ためにはなったが、でも何の役に立つの?」と相変わらず目的がつかめていない学生がいるからかもしれない。そうだとすれば、やはり学生に「狙い」をしっかり理解してもらう必要がある。そのためには、学部が育てたい人材像（ディプロマ・ポリシー）があり、そのために必要な科目（カリキュラム・ポリシー）が用意されていることを学生に説明する機会が必要なのではないだろうか。

（3）教員所属別評価

① 全体の傾向

次に教員所属別（専任／非常勤）に見ていく。ここでは昨年度と比較しながら、いくつかの特徴に注目したい。なお、数字の配列は、専任教員・昨年度→同・今年度（太字）／非常勤教員・昨年度→同・今年度（太字）となっている。上昇には△印、下降には▼印をつけた。なお、「2-2. 授業難易度」と「2-3. 授業進度」の2項目は数値が3のとき最適と判断される項目であるため、3に近づく方向を「上昇」としてある。参考として大学全体の集計値を専任教員／講師（非常勤）の順に付した。なお、専任教員の集計対象科目数は94科目、講師（非常勤）は同150科目である。

	専任教員	講師（非常勤）	全体（専任／講師）
1-1. 学生の出席状況	(4.39 → ▼ 4.38 / 4.36 → ▼ 4.35)		4.49 / 4.46
1-2. ノート・メモ	(3.91 → △ 3.99 / 3.97 → △ 4.03)		3.92 / 3.94
1-3. 予習・復習	(2.99 → △ 3.11 / 3.18 → △ 3.24)		2.92 / 3.00
2-1. 狙いの明確さ	(4.07 → △ 4.13 / 4.06 → △ 4.09)		4.04 / 4.07
2-2. 授業難易度（3が最善）	(3.45 → △ 3.41 / 3.41 → ▼ 3.43)		3.48 / 3.44
2-3. 授業進度（3が最善）	(3.22 → △ 3.20 / 3.19 → ▼ 3.23)		3.24 / 3.22
2-4. 説明のわかりやすさ	(3.83 → △ 3.89 / 3.88 → △ 3.92)		3.81 / 3.89

2-5. 聞き取りやすさ	(4.06 →△ 4.11 / 4.11 →△ 4.16)	4.06 / 4.13
2-6. 教材の効果	(3.97 →△ 4.00 / 4.02 →△ 4.04)	3.93 / 3.98
2-7. 読み取りやすさ	(3.93 →△ 4.00 / 4.00 →△ 4.02)	3.86 / 3.96
2-8. 教室の雰囲気	(4.18 →△ 4.19 / 4.08 →△ 4.12)	4.12 / 4.13
2-9. 理解度	(3.82 →△ 3.88 / 3.88 →△ 3.92)	3.76 / 3.82
2-10. 知識・技術の習得	(3.83 →△ 3.86 / 3.93 →▼ 3.91)	3.77 / 3.82
2-11. 見方・考え方の深まり	(3.77 →△ 3.82 / 3.83 →▼ 3.80)	3.72 / 3.70
3. 満足度	(3.91 →△ 3.95 / 4.05 →▼ 4.02)	3.93 / 3.96

② 講師（非常勤）担当科目の評価が上昇

まず、専任教員は、「1-1.出席」以外のすべての項目で前年より数値が改善している。また、大学全体の専任教員の数値に対しても「1-1.出席」以外はすべて上回っている。特に、授業の成果である「2-9.理解度」「2-10.知識・技術」「2-11.見方・考え方」の3項目はかなり高いとあってよい。

一方、講師（非常勤、以下「講師」とする）の場合、前年に対し上昇9項目、下降6項目と分かれたが、全学の講師全体を下回ったのは「1-1.出席状況」と「2-8.雰囲気」の2項目だけであり、しかも後者は僅差である。また、6項目で下降したとはいえ、それでも「1-1.出席状況」「2-8.雰囲気」の2項目以外は専任教員の数値を上回っている。

このように数値的にはよい結果であったと言えるが、課題もある。まず、講師が担当する科目は語学系の少人数クラスの科目の割合が高く、後述するようにこれらの授業の評価は総じて高くなりやすい。その中で、今年度の場合、「2-2.難易度」「2-3.進度」が難しいほうに振れ、その割に「2-9.理解度」が上昇したのは立派としても、「2-10.知識・技術」「2-11.見方・考え方」といった達成感に関わる部分で下降し、それが「3.満足度」の低下につながっているように見える点は気をつけたい。語学系の授業にこの種の達成感を求めるのは酷かもしれないが、なんらかの工夫が必要とされる。

また、専任教員も高い評価を得たが、これも注意が必要だ。先に見た「学科目別」集計では、国際学部専門科目を独立させ、専門科目以外の外国語、教職、教職等の科目は別に集計してある。そして、これら専門科目以外の科目の評価のほうが総じて高い。一方、この教員所属別集計の「専任教員」には、これら専門以外の科目担当者も含まれており、その分先の専門科目集計よりも高い数値となる。それを考えると、専任教員の数値が高いといっても一概に安心できない。

なお、専任教員がしっかり学生を指導している点は、「1-1.出席状況」「2-8.雰囲気」の2項目で講師を上回ったことに表れており、それだけ出席、教室内環境に気をつけていることがわかる。この辺は講師にも見習ってもらいたい点である。

（4）分野別の特徴

① 分野別集計の方針

国際学部の分野別集計は、英語群（学年－配当年次別6分類）、地域言語群（学年－配当年次別6分類）、基礎科目群（学年別4分類）、専門共通科目（学年別4分類）、専門

コース科目（コース配当 - 学生所属別 12 分類）と 5 群 28 分類にのぼる。学年別分類を行っている前者 4 群では、履修配当の学年かどうかによる違いを見ることで、特に再履修者の動向を知り対応を考えることができる。また、学生の所属別を含めた科目区分別分類を行った専門コース科目群の結果では、次の 3 点で利用されることが期待される。（1）科目担当者は、特性の異なる科目をも含む「全体平均」ではなく、共通の要素を持つ科目分野の平均値を比較対象とすることにより、より正確に自身の授業の改善の方向を見定めることができる。（2）共通の要素を持つ科目分野の担当者たちは、自身の科目分野と他の科目分野を比較することにより、科目分野としての課題を見つけ、その科目分野担当の他の教員と協力しながら科目分野に属する科目全体のレベルアップを考えることができる。（3）所属の別がある程度は学生の関心の方向の別に関わっていると仮定すると、その関心の違いが同じ科目分野への評価を変えていることが予想される。その差を把握し、受講学生全体の満足度を上げる方策の一助とすることができる。

② 科目群「全体」の比較

学年 - 配当年次別区分を行った 4 科目群について、それぞれの「全体」同士を比較する。4 群中数値が 1 番高かった項目には○、特にどの他群より 0.1 以上上回った場合には◎をつけた、また 1 番ではないが僅差であった場合には△をつけた。また、特にどの他群よりも 0.1 以上低かった場合には▼をつけていおいた。なお、専門コース科目は後述するようにコース間の格差が大きく、全体としてまとめる意味があまりなさそうのため、参考として「全体」の数値を挙げておくが、比較対象とはしない。

	英語群	地域言語群	基礎科目群	専門共通 科目群	専門コース 科目(参考)
1-1. 学生の出席状況	4.21	4.22	▼4.10	◎4.39	(4.11)
1-2. ノート・メモ	▼3.63	◎4.28	3.81	3.92	(3.73)
1-3. 予習・復習	3.29	◎3.45	3.00	▼2.82	(2.67)
2-1. 狙いの明確さ	4.00	○4.23	4.13	4.05	(3.95)
2-2. 授業難易度	◎3.31	3.55	3.54	3.38	(3.38)
2-3. 授業進度	◎3.18	3.26	3.29	3.26	(3.15)
2-4. 説明のわかりやすさ	▼3.81	◎4.06	3.94	3.93	(3.75)
2-5. 聞き取りやすさ	4.13	○4.25	4.20	4.12	(3.92)
2-6. 教材の効果	4.01	○4.14	4.09	3.91	(3.84)
2-7. 読み取りやすさ	4.02	4.06	○4.11	3.82	(3.81)
2-8. 教室の雰囲気	4.18	○4.21	4.16	▼3.92	(4.01)
2-9. 理解度	3.88	○3.96	3.83	3.86	(3.73)
2-10. 知識・技術の習得	3.77	◎4.01	3.89	3.87	(3.72)
2-11. 考え方の深まり	3.67	○3.92	3.79	△3.91	(3.68)
3. 満足度	3.93	◎4.11	3.97	4.00	(3.82)

②-1 英語群

まず、全体傾向を表す「3.満足度」を見てみると、地域言語群が群を抜いて高く、以下、専門共通科目群、基礎科目群、英語群と続いている。英語群は最下位となったとはいえ、3.93という数値そのものは十分高く、また過去5年間にわたり 3.58 → 3.88 → 3.89 → 3.91 → 今年 3.93 と改善し続けての結果である。英語群は、「2-2.難易度」「2-3.進度」でもっとも適切と評価され、クラス分けと授業の進行が効を奏していることが伺える。一方、「1-2.ノート・メモ」「2-4.説明」「2-10.知識・技術」「2-11.考え方」はかなり低い。学生の能力にちょうど見合った内容であったこと、英語が中学・高校とすでに6年間学んできた科目であることが、学生には新しい発見、刺激が少なかったととられた可能性もある。

②-2 地域言語群

その点、大学に入って新しく学ぶことになった地域言語群は、英語とは逆に、「たしかに新しい言葉を学ぶのは難しいのだが(2-2)、内容は目新しい文化なども含む刺激を受けるものであるし(2-10、2-11)、先生もいろいろと工夫をし(2-4、2-5、2-6)、一方学生もそれだけ一生懸命授業に臨んだ(1-2、1-3)結果、高い満足度が得られた」という構図が考えられる。このように同じ言語学習系科目とはいえ、「学びの新鮮さ」という点で英語科目が地域言語に比べ不利なのは否めない。また、TOEIC得点向上を視野に入れた授業の目的にはそぐわないのかもしれないが、これ以上に授業成果についての評価(2-10、2-11、3)を向上させようとするならば、技能習得以外に知識や考え方を深める要素を取り入れる必要があるのかもしれない。

②-3 専門共通科目群

専門共通科目群も「3.満足度」= 4.0 と地域言語群に次いで比較的高い評価を得ている。「1-1.出席率」「2-11.考え方」が一番高いかそれに次ぐ一方で、他群より目立って低い項目も4つある(1-3、2-6、2-7、2-8)。学生からすれば「多くの学生が出席する(1-1)中に真面目でない学生もおり、それが教室の雰囲気悪くしていたり(2-8)、教え方は今ひとつだったり(2-5、2-6、2-7)ながらも、予習・復習しなくていいぐらい(1-3)内容は容易であるし(2-2)、考え方で刺激も受けた(2-11)ので、まあ満足できた」という受け取り方であろうか。考え方を深めさせるという点では専門共通科目の意義を果たしているが、学習のさせ方、教え方・教室運営の点でもう一工夫必要なことがうかがえる。

②-4 基礎科目群

これまで見た3つの科目群に比べると、基礎科目群には目立ってよい、あるいは悪いといった特徴は見られない。しかし、課題はある。たしかに「2-7.読み取りやすさ」で一番高い評価だったほか、教え方、教室運営に関わる項目(2-4、2-5、2-6)はいずれも4群中2番目に高く評価されており、教師が授業方法に工夫していることがうかがえる。一方で、出席率は悪く(1-1)、学生はノート・メモも取らず(1-2)、予習・復習もしていない(1-3)ようである。それに加えて、難易度が高い(2-2)ため、授業の工夫にもかかわらず理解は進まず(2-9)、考え方も深まらず(2-11)、あまり満足感は得られなかった(3)という

ことになっていそうである。授業内での工夫だけでなく、学生の授業に臨む姿勢を改善する指導が必要ではないだろうか。

③ 学年 – 配当年次別比較

③-1 英語科目群

英語科目群の学年 – 配当年次別区分の最大の特徴は、2年配当（2年生）がすべての項目（「3」が最良値の項目2-2、2-3を除く）で一番高い数値であったことである。特に、「3.満足度」は4.30と全体を0.37も上回るきわめて高い評価になっている。そのほかにも2-1、2-4、2-10、2-11で「全体」を0.3以上上回っている。全体としては地域言語群の後塵を拝した英語群であるが、この区分に限っては地域言語群をもはるかに上回っている。

一方、選択科目として上級クラスが設置されている3・4年配当（3・4年生）区分は、本来は、英語に強い関心を抱く学生だけが選択しており、内容もそれに合わせて設定されているので高い評価を得やすいはずである。実際、昨年度のこの区分は、8項目で最高評価となっていたのだが、今年は配当年次＝学年となる3区分では「1-3.予習・復習」以外はすべて最下位と様変わりしている。

ここで、注目したいのが学年差である。実は、今年度2年配当（2年生）で高い評価を出した学年は、平成20年度には1年配当（1年生）としてかなり高い評価を示していた。一方、昨年度の2年配当（2年生）は、今年とは正反対に、8項目で最低評価となっている。そして、昨年この区分で低い評価をした学年が、昨年高評価であった3・4年配当（3・4年生）で今年は低い評価を出しているわけである。低い評価が高くなったのであれば、教員の努力の結果とも考えられるが、よかったものが一気に悪くなるとは考えにくい。また、教員配置から言えば、同じ先生が1年生も2年生も受け持っており、また去年と今年で大きく配置が変わったわけでもない。授業内容も大幅な変更があったとも聞かない。すると、このような学年ごとの評価の差異は、学年の特徴、あるいは学生の資質や授業の相性に求めるよりほかなさそうだ。たしかに、現3年生は入学者数が450人近くと多いため、英語の授業でもクラスあたり人数を増やさざるをえず、それにとまって能力別編成をしても他学年に比べると一クラス内の能力差が大きくなる傾向にあった。これが授業の効果を下げたことは否めない。では、現在の2年生が多く項目で他学年に比べ群を抜いて高い評価をしていることはどう説明できるのか。学年の特徴と教え方・内容のマッチングといったものがあるのであれば、それを知っておくことは今後役に立つであろう。このあたりは、今後英語科の教員の間で詳細に検討してもらいたいところである。

③-2 地域言語群

地域言語群には、英語群に見られたような学年ごとの差異はなく、全般に評価が高かった。傾向は（4）-②-2で見たとおりであるが、特徴的なのは、選択科目となる上級クラスの3・4年配当科目（3・4年生）が、1-1、1-3以外の項目で最高評価を得、「3.満足度」にいたっては4.75と高数値になったことである。これは、勉強したい学生だけが履修することになっている上級地域言語クラスの面目躍如といったところである。敢えて、課題をあげるとすれば、学生の能力からすれば易しすぎた（2-2 = 3.28、2-1 = 3.01）ため、学生があまり予習・復習しないで済んだ（1-3 = 3.30）点ぐらいである。これは、履

修動機で「単位取得が楽」とした学生が 79.1 %いたこととも関係している。ハードルを低くして履修を促すという観点もあるが、より高みを目指して内容を充実させることも考えてよい。

ほかにも、再履修者の評価もかなり高いことも特徴になっている。特に「3.満足度」が1年配当科目で 4.10、2年配当科目で 4.01 といずれも4を越えており、再履修者に対しても指導が適切に行われたと考えられる。ただ、再履修者の場合、配当年次履修者に比べると、各項目ともに標準偏差はかなり大きく、学生によって受け取り方の差がやや大きいこともうかがわせる。実際、再履修へと進む学生も少なくないと思われる。教科教員のみならず学部としての対応が必要となる部分である。

③-3 基礎科目群

基礎科目群は、1年配当2科目、2年配当1科目、2～4年配当2科目、1～4年配当9科目からなる。アンケートの評価では、授業の方法、教室運営について(2-5・6・7・8)はいずれの学年も 4.0 を越える評価がなされている。しかし、授業の成果に関する部分(「2-9.理解度」「2-10.知識・技術」「2-11.考え方」)では学年ごとに差が見られ、いずれも1年<2年<3・4年と学年が上がるごとに評価が高くなっている。配当学年なしの科目を履修した場合、高学年のほうが既存の知識が増え、同じ内容であっても低学年より理解がしやすいことが考えられる。実際、「2-2.難易度」は、1年生がもっとも難しく感じている(3.69)。この数値は今回の学部分野別全28区分の中でも最高である。これが、1年生の間に「理解しにくく、そのため知識も考え方もあまり向上せず、満足感が得られにくい」という学生を生み出している可能性がある。どの学年が履修するかわからない科目の場合、学生の知識を想定しながら授業をするのは困難ではあるが、やはり1年生のことを考えた難易度設定にすることも必要ではないだろうか。もっとも、1年生についてだけ昨年と比べてみると、「難易度」は3.74→3.69(3が最善)、「理解度」が3.54→3.66、「知識・技術」が3.72→3.74、「考え方」が3.60→3.60、「満足度」が3.76→3.77と改善の方向にはあるようだ。

なお、国際学部の基礎科目は他学部の教養教育科目に相当するものであるが、科目構成、科目数、教室など授業様態のなどの違いを考慮せずに数値だけを見れば、いずれの項目でも国際学部基礎科目が上回っている。

③-4 専門共通科目群

専門共通科目群は1年配当2科目、1～4年配当9科目、2～4年配当5科目からなる。専門共通科目は「全体」でも見たように、「1-1.出席」が非常に高い。たしかに、1年生>2年生>3・4年生と学年が上がるにつれ順当に下がっているのだが、3・4年生でも4.22と4.0を大きく上回っている。この時期に出席していた3・4年生がたまたま出席率のいい学生であった可能性も考えられるが、基礎科目群の3・4年生との違いは目立つ。2年生は他科目群でも比較的良好にノートを取り(1-2)、予習・復習をしている(1-3)のだが、なぜかこの専門共通科目群については3.60と、4.0を越える他学年に比べて、ノートをとっていないのが目立つ。なぜ、この科目群だけにこのような現象がみられるのかはわからないが、気になる点である。授業の方法・教室運営についての評価(2-4・5・6・7

・8) は、同学年でも項目ごとに高かったり低かったりと特別な傾向は見えない。学習の成果にかかわる部分(2-9・10・11、3)での学年ごとの傾向は、基礎科目群同様、1年<2年<3・4年と学年が上がるごとに評価が高くなっている。やはり、低学年のうちは理解が大変なのだろうが、1年生と3・4年生の評価差が基礎科目群ほど大きくはないのはよい傾向である。引き続き1年生への配慮が求められるところである。

④ 専門コース科目

専門コース科目については、履修学年別ではなく、科目の配当されているコースと学生の所属の2点を考慮して集計した。まず、専門コース科目全体の数値だが、先の表に参考として載せてあるように、実はほとんどの項目で他の科目群よりも低い評価となっている。しかし、コースによっては他科目群を大きく上回る場合もあったりするので、「専門コース科目は…」と言うことは無理である。以下、全履修者を対象とした数値をもとに項目ごとに評価の高い順にコースを並べ替えた表を示す。

	1	2	3	4	5
1-1. 学生の出席状況	観光 4.42	文化 4.23	協力 4.15	経済 4.04	政治 3.96
1-2. ノート・メモ	観光 4.04	文化 3.80	協力 3.79	経済 3.65	政治 3.59
1-3. 予習・復習	観光 2.85	経済 2.82	協力 2.75	文化 2.58	政治 2.47
2-1. 狙いの明確さ	協力 4.24	経済 3.95	政治 3.91	文化・観光 3.79	
2-2. 授業難易度	協力・政治 3.33		観光 3.34	文化 3.37	経済 3.52
2-3. 授業進度	政治 3.11	協力 3.13	経済 3.15	観光 3.18	文化 3.20
2-4. 説明のわかりやすさ	協力 4.08	経済 3.75	観光 3.72	政治 3.65	文化 3.57
2-5. 聞き取りやすさ	協力 4.35	観光 3.94	経済 3.85	政治 3.84	文化 3.69
2-6. 教材の効果	協力 4.19	観光 3.83	経済 3.79	文化 3.76	政治 3.70
2-7. 読み取りやすさ	協力 4.21	経済 3.85	観光 3.78	文化 3.65	政治 3.60
2-8. 教室の雰囲気	協力 4.26	経済 4.07	観光 4.01	文化 3.92	政治 3.85
2-9. 理解度	協力 4.01	観光 3.76	文化 3.66	経済 3.65	政治 3.64
2-10. 知識・技術の習得	協力 4.00	観光 3.74	経済 3.66	政治 3.64	文化 3.62
2-11. 考え方の深まり	協力 3.96	経済 3.68	観光 3.66	政治 3.58	文化 3.55
3.満足度	協力 4.07	経済 3.85	観光 3.81	政治 3.79	文化 3.55

まず、学生の学習状況(1-1、1-2、1-3)は、国際観光コースが抜きん出て良い。とはいえ、「予習・復習」が2.85というのは、決して褒められたものではない。この3項目では国際政治コースが最下位に甘んじているが、これは国際政治コースに体育推薦学生が集中していることにも一因がありそうだ。他学部では、そのコースを主専攻とする学生の数値がかなり高く出ていて、それが全体の数値を押し上げている様子が見てとれるが、政治コースだけは主専攻学生の数値が低目である。しかも、主専攻学生評価の標準偏差は1.00～1.03と他専攻に比べてかなり大きく、学生間の格差があることがうかがえる。これは学習姿勢も関係する「2-8.雰囲気」にも表れており、国際政治コースは全体(3.85)、主専攻(3.32)ともに際立って低い数値になっている。授業見学の際にも報告されていたこと

であるが、一部のやる気のない学生の存在が学習環境を悪化させていることを裏付けるものかもしれない。学習環境を維持するのはたしかに教員の役目ではあるが、そんな学生がけっこうな「一部」であったとしたら、その苦勞がしのばれる。学部として対策を講じる必要があり、現在検討中である。

授業の難しさ（2-2、2-3）は国際経済コースがかなり難しいと受け取られているが、他コースはそれほど差がない。授業の方法・教室運営（2-4・5・6・7・8）については、いずれも国際協力コースが一頭地抜きに出て高い評価を得ている。やや差をおき、国際観光コース・国際経済コースが2・3位グループを形成している。さらにその後には国際政治コース、国際文化コースが4・5位グループとして続いているという図式が見られる。

同様の図式は、学習の成果（2-9・10・11、3）の面でも見られる。その中で、国際文化コースの「3.満足度（全体）」は3.55と他コースより一段と低く、これは全学の文系科目各区分の中でも最も低い数字である。国際文化コースは5コースの中で選択する学生が1、2に多いコースであるが、他のコースほど中核となる科目や目標が明確ではない一方、何を学べるのかよくわからないままこのコースを選んでいる学生も多そうだという見方もある。そのような学生の間で、コースに入って勉強し始めたものの、どうも勉強したかったことと違うという思いが生まれているのかもしれない。

学習の成果の面で別の意味で目立っているのが国際政治コースである。他コースは、そのコースを選択しただけあって主専攻学生の数値が全体を大きく上回るのだが（高レベルで拮抗している国際協力コースは別）、国際政治コースだけは主専攻学生の数値が全体を下回っている。これは上で述べたようにここに配属されている体育推薦学生の影響かもしれないが、実はそれをのぞけば意外に高い評価になるのかもしれない。

（5）評価と課題

英語群については学年ごとの評価の格差が目立った。原因を追求することによって、安定した評価が得られる授業内容とすることができよう。

すべての科目群において、以前に比べればノート・メモを取るようになってはきている。しかし、いまだに予習・復習は十分されているとはいいがたい。特に、内容が高度になり自己学習が必要になるはずの専門共通科目、専門コース科目で数値が低いのは残念なことだ。自己学習をするよう指導していくことが求められる。

コースについては、5コースの間にはかなり格差があることが明らかになった。国際学部の看板たる国際協力コースが高い評価を得ていたことは喜ばしい一方、国際文化コースへの評価の不振は気がかりだ。これについては、国際文化コースの特徴が曖昧であるためという可能性を上で述べたが、逆に、国際協力コースはもっともコースの特性がはっきりしているコースといえよう。また、国際協力コースを主専攻として選ぶ学生も、数は少ないものの、学ぶ目的意識をはっきり持っていると思える。それを考えると、担当教員が一つ一つの授業内容をよくすることも必要だが、学生がコースで学べることをはっきり意識してコースが選択できるようにし、それによって学びたいことが学べるようにすることが必要なのだろう。そのためには、特に国際文化コースについては構成科目と内容を再考する必要がありそうだ。

6. 教養教育科目

(1) 講義等科目

本節で対象とする教養教育科目は、1～10群および12群の講義科目である。本節では、これらを便宜的に教養科目と略記する。教養科目で今年度アンケートを実施したのは102科目であった(昨年度は103科目実施)。ここでは、与えられたデータに基づいて教養科目の結果の概要を述べ、幾つかコメントをしておきたい。

① 教養科目全体の特徴——5学部の専門科目との比較より

まず、教養科目全体(p.11)の特徴から見ていこう。その際、同じ講義形式の科目でデータ数が比較的大きい商・政経・外国語・工・国際開発5学部の専門科目の結果(p.11)と比べながら見ることにする。

学生の受講姿勢 “出席状況”は、五番目すなわち下から二番目である。一方、〈ノート・メモ〉は、五番目、また“予習・復習”下から五番目であった。

授業の内容や進め方 この11項目に関しては、2位のものが8項目、3位のもの2項目であった。一位の項目はないものの、11項目中10項目で2位または3位であり、相対的に授業の内容や進め方については学生の支持を得ていたと考えられる。3位であったのは、〈教室内の雰囲気〉の項目であった。〈教室内の雰囲気〉については、教養科目に比較的受講者数の多い科目が多く、大教室での講義が中心であることが関係していると思われる。この講義規模の問題については最後までもう一度触れる。

満足度 全体の平均値をやや下回ったが、「順位」は外国語学部に次いで2位であった。

② 教養科目の各群の傾向①(P.51)

I.今年度の結果

第1～9群について

10群(日本語の表現)と12群(情報技術)の科目は、授業の規模や形態・必修か否かなどの点で1～9群の科目と異なっているので後に回し、まず1～9群から述べたい。これら各群の名称は次のようになっている。

A系列：1群(人間の探求)・2群(文学・芸術)・3群(身体と運動)

B系列：4群(歴史・民族)・5群(社会のしくみ)・6群(現代社会の変容)

C系列：7群(自然の認識)・8群(技術の発展)・9群(環境と人間)

9つの群は、カリキュラム上、上記のように、A系列(人間)・B系列(社会)・C系列(自然と環境)の3系列にまとめられている。各項目の平均値は、全体として、Aが高く、Bがこれに次ぎ、Cが最も低い傾向が見られた。ただ各系列とも群によってかなりの差が認められるので、ここでは群単位で見ることにする。

学生の受講姿勢や受講動機

〈出席状況〉の項目はどの群も高く4点を超える。〈ノート・メモ〉の項目は、1群が極めて高く、次いで7・5・4群の順番で高い。一方、6・9群は低かった。〈予習・復習〉の項目は全群とも低かった。この項目は、全群で大学全体の平均を下回っており、教養教育全体でも全学の平均を0.5ポイント以上下回っていた。予習・復習について、教養教育は大教室での講義が多く、仮に予習を課したとしてもその確認が難しいこと、また入門的な講座もあり、特に予習・復習を課していないとも考えられる。ただ、ブラック・ボードを利用して予習・復習を受講生に勧める講座もあり、そうした試みを推進させて、学生に十全な予習・復習を行わせるという方法もある。“受講動機”は、積極的動機である〈講義への興味〉の比率が、9・8・4・6群の順で高く、最も低い群でも16.4%で、大学全体の数字と比べてもその高さは際だっている。一方、消極的動機の〈時間帯が空いている〉は、1・4・2群の順番で高く、〈単位取得が楽〉は、9・7・8群の順番で高かった。

授業の内容や進め方 全項目を概観すると、1・2・4・5群の平均点が比較的高い一方、7・8・9群の平均点は比較的低かった。特に1・2群は一般的に平均点が高く、1群は4つの項目で教養教育の中で1位、2群は6つの項目で1位であった。対して、6・7・8・9群の数字は一般的に低く、多くの項目で教養教育全体の平均値を下回っていた。

また、〈教材等の効果〉〈教室内の雰囲気〉〈理解しやすさ〉などの項目で群ごとの平均値に大きな差が見られた。

満足度 上記の結果を反映して、満足度でも2群は、3.96と4に近い数値をたたき出しており、学生の講義に対する満足の高さが示されていた。次に1群が3.83、3群が3.78であった。対して8群と9群の満足度が低かった。

第10・12群について

以上は1～9群の特徴だったが、最後に、第10群（日本語の表現）と第12群（情報技術）に触れておく。

まず、受講姿勢では、“出席状況”は両群ともに高かった。しかし、〈ノート・メモ〉の項目では12群が教養科目全体の平均値を1ポイント以上下回る低いものであった。“予習・復習”では、10群で教養科目全体の平均値を上回った反面、12群では全体の平均値を下回った。授業の内容や進め方の項目では、第10群の平均点の高さが際だっており、各項目とも1～9群の平均値を大きく超え、全項目で4点台であった。満足度も4.35点と全学の科目と比較すると〈ゼミ・外書購読〉に次いで高い数値を出していた。一方第12群は、11項目中9項目で全体の平均値を上回り、〈授業の進度〉〈見方・考え方が深まる〉が平均値を下回った。

II. 昨年度の結果との比較

昨年度の結果と比べると、今年度は、〈授業のねらい〉、〈難易度〉、〈授業の進度〉、〈説明〉、〈話し方・声〉〈教材等の効果〉、〈板書・画面〉、〈理解しやすさ〉、〈知識・技術が身につく〉、〈見方・考え方が深まる〉、〈満足度〉の項目で昨年度の数値を上回った。昨年

を下回ったのは、〈出席〉、〈ノート・メモ〉、〈教室内の雰囲気〉の項目であった。しかし、いずれも 0.03 ～ 0.07 ポイント程度の低下であり、大幅に数値が悪化したわけではない。第 1・2・3・8・10・12 群は、多くの項目で昨年度を上回る数値を出していた。特に満足度において第 1・3 群は、0.15 ポイント、第 8 は、0.34 ポイント、12 群は、0.27 ポイント、それぞれ昨年度に較べて高く、これが教養教育全体の数値の上昇に寄与したと考えられる。

③ 若干のコメント

I. 教養科目全体の特徴に関して

教養科目の満足度について、5 学部と比較すると昨年と同様に外国語学部につき第 2 位であった。外国語学部との差は平均値にして 0.28 の開きで、昨年の差が 0.22 であったので、その差はやや広がった。この差は、昨年も指摘したように、授業規模の大小によるものと考えられ、差を縮めるには、授業規模の縮小が不可欠となっている。新入生が大学に入って最初に学ぶ教養教育を質的に充実させることは、大学の今後の死命を制する最重要の課題といえる。それだけに、大学執行部には、講義棟建設(八王子キャンパス)を含んだ教養教育の授業規模縮小計画を速やかに策定するよう、強く望んでおきたい。

II. 教養科目の各群の特徴に関して

他の群と比べ、第 10 群の受講姿勢を含め各項目の平均点が極めて高いのは、この群の授業が他の講義科目と比べて小規模であること、また学生の提出物に対して添削等を加えて返却するなど、教員と受講生の間での双方向的やりとりがほぼ毎行われていることを反映したものであろう。大学での教育は往々にして教師から学生への一方通交の教育になりがちである。ブラック・ボードが導入され、これを積極的に活用することで教師と学生との間の双方向的やりとりが活発化すれば、教育効果だけでなく、学生の拓殖大学への帰属意識の向上にもつながるものと考えられる。ただ、こうしたシステムの充実もさることながら、1 講座あたりの受講生数を減らすことは、きめ細かな教育を行うためには不可欠なことだということを申し添えておく。

学生の満足度において、教養教育全体では昨年度の数値を上回った。これは、日頃の教員の努力の結果が現れたものと評価できるだろう。12 の群の中で実に 9 つの群が昨年度の数値を上回った。特に第 1・3・8・12 群の伸びが大きいことは既に言及したが、特に第 8 群の伸びが大きかった。第 8 群は、昨年度アンケートを実施したのが一講座しかなかったが、今年度は 4 つの講座でアンケートが実施されており、そのことが、満足度の大きな上昇につながった一つの要因であると考えられる。

こうしたことが示しているのは、数値というものはどれだけの講座でアンケートを実施するかによって左右されるものであるということだ。たとえば第 1 群では、アンケートを行った講座が前年度 11 → 今年度 10 に、第 3 群で 5 → 4、第 5 群で 15 → 16、第 12 群で 22 → 20 と年度によって変化している。つまり、アンケートを実施した講座自体に変化があるということである。年度ごとの平均値の差は、どの講座がアンケートを実施したによっても大きな差が生じると考えられる。したがって、こうした比較を通じて全体としての傾向をつかむことは出来るだろうが、学生の講義に対する姿勢の正確な変化をつかむには、

個々人の教員のアンケートの数値の経年変化を見る必要があると思われる。

また、アンケートを実施する時期が後期ということで結果的に前期に開講される講座についてはアンケートが実施されないということにもなっており、前期しか開講されない講座を担当している教員はその講座について学生がどのような評価を下しているか知る機会がないということになる。このようにアンケートの実施時期や方法についても再考する余地があると思われる。

またアンケートが実施されるのは、全ての講義が終わる以前であり、また途中で受講を何らかの理由で断念した学生からはアンケートをとることが出来ない。教員にとっては、講義全体が終わったところでの学生の評価が聞けないということまたどのような学生が講義への出席を断念するのかが判らないというような問題点もあるという指摘が教員から提出されていることをここに記しておく。

昨年度の報告においても指摘があった受講者数の問題について触れておく。今年度は、多くのアンケート項目において受講者数の増加に反比例して、数値が下がっている(P.14)。ただ満足度においては、受講者数101～200人が最低で3.64、次いで301人以上で3.69、以下201～300人で3.78、100人以下で4.00となっている。これは昨年度とは明らかに異なる結果である。昨年度は受講者数が増えれば増えるほど満足度が下がるという結果であった。昨年に較べると101～200人の講義が昨年度3.73→今年度3.64に下がったのに対して、201～300人の講義で3.66→3.78に上昇している。201～300人規模の講座の満足度が昨年度と比して向上したのは、当該講座を担当された教員の努力の賜物といえようが、注目すべきはこうしたいわば逆転現象が起きたことではない。100人以下の講座の満足度の平均値とそれ以上の受講生のいる講座との満足度の差である。今年度100人以下の講座の満足度が4.00であったのに対して、最も満足度が高い201～300人の講座でも満足度3.78で0.22の差があるということだ。200人を超える受講生のいる講座でも高い満足度が取れても、結局は少人数の方が学生の満足度は高いということである。それは、200人を超える講座で高い満足を得られた学生がより少ない受講者数で講義に出られたらさらに大きな満足を感じつつ講義に出られたらと推測させる。受講者数の問題は、学生から、より高い満足を得られる講義に出る機会を奪っている可能性があるのではないかとすることを指摘して、今回の報告を終えることとする。

(2) 外国語科目

1. アンケートの実施状況

本年度の「授業改善の学生アンケート」は11月2日～12月5日に実施され、ここで取り上げる「外国語科目」とは、英語、アラビア語、ブラジル・ポルトガル語、中国語、フランス語、ドイツ語、韓国語、インドネシア・マレーシア語、ロシア語、スペイン語、日本語を対象に行った。実施学部は、商・政経・外国語・工学部・国際学部である。本年度は昨年度の437科目の実施よりも11科目増加の448科目におけるアンケート実施となった。

2. 項目別における集計結果

昨年度と設問項目別に比較する。

I-1 「学生の出席状況」

全体平均値が 4.47 に対し、4.52 の高数値を示している。0.05 の増加がみられる。語学においても、昨年の数値の 4.50 に対し、0.02 の増加がみられた。これは、教員が毎時出席を取っていることがこの高数値を示していると思われる。これは、大半の語学の授業において実施される復習テスト等の影響も考えられる。

I-2 「ノート・メモ」

4.08 で、全体平均値 3.93 を 0.15 上回っている。また昨年と比較した場合においても 0.06 上回った。

I-3 「予習・復習」

3.10 で、全体平均値の 2.96 と比較した場合、高い数値を示している。外国語科目においても、昨年度比較した場合、0.07 上回っている。

II-1 「狙いの明確さ」

4.08 で、全体平均値の 4.06 に対し、0.02 上回った。外国語科目においても、昨年度比較した場合、0.01 上回っている。授業の狙いは学生にある程度理解されてきていると考えられる。

II-4 「説明方法」

3.92 で、全体平均値は 3.85 である。この点に関しては、外国語科目間においてばらつきが目立つ。まだまだ、改善する点があると考えられる。

II-5 「声の大きさ」

4.15 で全体平均値の 4.10 を上回っている。特に語学においては、重要な項目であるといえよう。

II-6 「教材などの効果」

3.96、全体平均値は 3.93 である。今年は全体平均値を 0.03 上回ることができた。

II-7 「文字・画面」

3.96 で、全体平均値は 3.91 である。0.05 上回った。

II-8 「教室内の雰囲気」

4.17 で、全体平均値 4.12 を 0.05 上回っている。昨年は一昨年と比べて低下したが、

今年は上回ることができた。

II-9 「理解しやすさ」

3.83 で、全体平均値 3.79 を上回っている。ただ、昨年の外国語科目の平均値と比較した場合、僅かであるが下回った。

II-10 「知識・技術が身につく」

全体平均値は昨年の 3.76 が 3.80 に上回ったにもかかわらず、外国語科目では同値の 3.78 であった。

II-11 「見方・考え方が深まる」

3.64 で、全体平均値の 3.71 を下回った。改善の余地がある。

III 「満足度」

3.97 で、全体平均値 3.95 であった。2年連続数値が下回っている。学生の授業に対する要望や受講動機などを考慮する必要がある。

3. 本年度の集計結果の評価について

外国語科目を本年度と昨年度を比較した場合、「学生の出席状況」、「ノート・メモ」、「予習・復習」、「狙いの明確さ」、「声の大きさ」、「教室内の雰囲気」は昨年よりも数値が上回った。特に、一昨年と比較して昨年以下回った「狙いの明確さ」、「声の大きさ」において、本年度は上回ることができたことは大きな成果と言えよう。「説明方法」、「教材などの効果」、「知識・技術が身につく」は同数値であった。一方、「文字・画面」、「理解しやすさ」、「満足度」において数値が下回った。特に、「満足度」においては2年連続数値が下回った。

4. 今後の課題

2年連続下回っている、「満足度」の向上のために何らかの対策を考える必要がある。特に、2年ゼミナール、3年ゼミナール、4年ゼミナール、3・4年次における外国語の選択科目の充実、e-education などのラーニング・システムの導入を全科目で検討したい。また、CALL 教室などの設備の充実も検討するべきである。

商・政経学部の第二外国語においては、本年度より共通試験の成績優秀者及び語学技能検定試験合格者に対する表彰制度を設けた。この取り組みは学習者の学習意欲向上に貢献したといえよう。しかし、学生への第二外国語のニーズなどについての情報伝達がまだ不十分である。

商・政経の第二外国語については、入学前に書類による選択が行われている。しかし「第二外国語科目の案内」による紹介のみでは不十分であり、新入生の多くが入学時には何語を選んだのかも忘れていく状況である。高校側からも、第二外国語の選択について相談を受けることが度々あり、大変困っていると聞く。高校の教員でさえも、「案内」の情報だけでは不十分と考えているのである。やはり入学後に何らかのオリエンテーションや模擬授業などを行う必要があるのではないかと考える。第二外国語の選択時期の再検討を行う必要があると考える。

(3) スポーツ・トレーニング科目

1. 評価

I. 受講する姿勢や動機について

I-1 「学生の出席状況」

平均値 4.47 (平成 20 年度調査は 4.53・平成 19 年度 4.47・平成 18 年度「4.53」)。出席率 80 %以上と答えた学生は 88 %であった。平成 20 年度は 90 %だったので微減。平成 17 年度調査では 93 %、平成 18 年度 89 %平成 19 年度 88%と出席状況は年々下降していた。今回は 19 年度水準に戻った。

I-2 「健康・運動への関心」

平均値 4.08 (平成 20 年度調査は 4.11・平成 19 年度 4.12・平成 18 年度「4.06」)。平成 21 年度は「強く関心を持つが 40.0 %、そう思うが 36.88 %」で約 77%。平成 20 年度は約 77 %である。過去 3 年間は 75 %の学生が「健康・運動」に関心を持っていると回答したが、今回は増減なしである。

I-3 「積極的参加」

平均値 4.28 (平成 20 年度調査は 4.17・平成 19 年度 4.21・平成 18 年度「4.26」)。平成 21 年度は「強くそう思う 51.99 %、そう思うが 33.39 %」の約 85%。平成 20 年度はで積極的態度計の学生は 83 %。比率は過去 3 年間に比べ微増。達成目標値に到達した。

I-4 「受講動機の回答比率」

必修科目であるのでこの項目調査は適当でない。

II. 授業の内容や進め方について

II-1 「狙いの明確さ」

平均値 4.23 (平成 20 年度調査は 4.21・平成 19 年度 4.30・平成 18 年度「4.14」)。平成 21 年度は「強くそう思う 42.57 %、そう思う 41.16 %」の約 84 %。平成 20 年度の 79 %より向上した。この比率は平成 19 年度 83%も超え達成目標値も超えた。

II-2 「難易度」

平均値 3.20 (平成 20 年度調査は 3.20・平成 19 年度「3.22」平成 18 年度「3.22」)。平成 21 年度は「ちょうど良い 68 %」平成 20 年度より比率が下がり、それ以前の水準になった。

II-3 「進度」

平均値 3.14 (平成 20 年度調査は 3.12・平成 19 年度 3.17・平成 18 年度「3.12」)。平成 21 年度は「ちょうど良い 81 %」平成 20 年度まではよい傾向で改善されていたが、今回は過去最低評価となった。

II-4 「説明方法・分かりやすさ」

平均値 4.02 (平成 20 年度調査は 4.08・平成 19 年度・4.17 平成 18 年度「3.98」)。平成 21 年度は「強くそう思う 37.46 %、そう思う 31.97 %」の約 69 %。平成 20 年度は約 71 %、19 年度 74 %と比較すると下降している。28 %の学生は、どちらとも言え

ないと回答しており、この結果を大局的に見ると、まだまだ教員自身の改善努力が必要な項目になっている。教員が指導内容を明確に簡易に説明して授業を進める「指導スキル」の改善に関心を持つ必要があると考えられる。

Ⅱ－５「話し方や声の聞き取りやすさ」

平均値 4.36（平成 20 年度調査は 4.41・平成 19 年度 4.42・平成 18 年度「4.37」）。平成 21 年度は「強くそう思う 57.53 %、そう思う 28.37 %」の約 86 %である。平成 20 年度は約 89 %である。過去 3 年間では向上を示したが今回は下降傾向を示した。

Ⅱ－６「学生とのコミュニケーション」

平均値 4.29（平成 20 年度調査は 4.30・平成 19 年度 4.30・平成 18 年度「4.24」）。平成 21 年度は「強くそう思う 48.20 %、そう思う 35.05 %」の約 83 %である。平成 20 年度は約 84 %の学生が評価している。過去 4 年間上昇傾向を示していたが、今回は微減であるが目標値は達成している。達成目標値を上方修正する必要がある。学生と教員のコミュニケーションは、指導上欠かせない重要な指導スキルであるので今後も向上を目指す必要がある。

Ⅱ－７「リーダーシップ」

平均値 4.32（平成 20 年度調査は 4.32・平成 19 年度 4.38・平成 18 年度「4.31」）。平成 21 年度は「強くそう思う 51.18 %、そう思う 34.22 %」の約 85 %である。平成 17 年度、18 年度、20 年度約 83 %、は超えて 19 年度 86 %近づいた。「民主的・協調的リーダーシップ」は指導スキルに欠かせないものであるため今後も向上を目指す必要がある。

Ⅱ－８「授業の雰囲気」

平均値 4.34（平成 20 年度調査は 4.36・平成 19 年度 4.42・平成 18 年度「4.27」）。平成 21 年度は「強くそう思う 48.51 %、そう思う 38.18 %」の約 87 %。平成 20 年度約 85 %。過去と比較しても同じ比率傾向を示しているが微増している。この項目に影響を与える要素は、学生間の集団力学、施設設備、備品などがあると考えられるが、教員の指導スキルが影響する項目でもある。

Ⅱ－９「理解しやすさ」

平均値 4.29（平成 20 年度調査は 4.30・平成 19 年度 4.35・平成 18 年度「4.23」）。平成 21 年度は「強くそう思う 48.67 %、そう思う 36.42 %」の約 85 %。平成 20 年度も約 85 %で同傾向。達成目標値に並んでいる。

Ⅱ－１０「知識・技術が身につく」

平均値 4.13（平成 20 年度調査は 4.16・平成 19 年度 4.20・平成 18 年度「4.05」）。平成 21 年度は「強くそう思う 38.03 %、そう思う 40.53 %」の約 79 %。平成 20 年度で約 77 %。前回よりは微増である。重要な項目であるのでさらに何が有用な知識技術であるのか研究する必要がある。目標達成地まであと一歩。

Ⅱ－１１「健康・体力維持に役立つ」

平均値 4.22（平成 20 年度調査は 4.19・平成 19 年度 4.27・平成 18 年度「4.17」）。平成 21 年度は「強くそう思う 43.82 %、そう思う 36.31 %」の約 80 %。平成 20 年度で約 79 %。この 4 年間を見ると 80 %前後の評価であり、設問Ⅰ－２「健康・運動への関心」では 77 %の学生が関心を持つと解答しているがこの項目の評価値向上も必要

であろう。達成目標値 85 %には未だ遠い。

Ⅲ総合的に見て、この授業に満足していますか

平均値 4.34（平成 20 年度調査は 4.35・平成 19 年度 4.36・平成 18 年度「4.27」）。平成 21 年度は「強くそう思う 51.65 %、そう思う 34.49 %」の約 86 %である。過去 4 年も 85 %位の同じ傾向である。達成目標値 90 %には未だ遠い。

Ⅳ. スポーツ・トレーニング用の独自の設問項目

Ⅳ-1 「希望種目」

平均値 4.09（平成 20 年度調査は 4.22・平成 19 年度 4.08・平成 18 年度「4.06」）。この調査項目は、1 年生の授業は必修であり、2 年時以上は自由科目であるので、データが混在し正しい評価は出来ない。恐らく、1 年生は、受講時間、種目選択に学生個人の意思が反映されないから「単位取得のため」であり、2 年次以上の学生は必修でないためいろいろな動機があると思われる。しかし「スポーツ種目」は希望種目になるように一定の配慮が必要である。

Ⅳ-2 「時間帯」

平均値 3.80（平成 20 年度調査は 3.92・平成 19 年度 3.89・平成 18 年度「3.72」）。時間帯は学生の満足を得ていないと思われる。特に 1 時限目の設定は運動するのに相応しいと思われない。しかし悪いという訳でもないようである。現在の授業時間設定はやむをえないものであるが今後の改善課題でもある。

Ⅳ-3 「次年度の履修希望」

平均値 3.51（平成 20 年度調査は 3.54・平成 19 年度 3.56・平成 18 年度「3.61」）。1 年次終了して 2 年時以降に履修したい学生の比率が、平成 17 年度から徐々に低下してきている。今回調査でも同様である。どこかに理由があるのだろうか。「希望種目」「時間帯」の設問と同様に 1 年生のみに限定して調査する必要がある。

2. 課題

- ①. 平成 17 年度達成値から、平成 18 年度以降の「達成する目標値」を設定した（表 1 参照）。この数値は努力目標であり義務目標ではない。また数字の根拠となる理論も無い。しかし、「努力目標数値」と考え、時間をかけていくと根拠のある数字を見つけていくことが出来るであろうという前提のもとで以下を記す。表 1 の「希望種目」「時間帯」「次年度履修希望」には「達成目標値」を設定していない。
- ②. 表 1 の達成値はアンケートの調査項目で、「⑤強くそう思う、④そう思う」と回答した学生の割合である。但し、「難易度」「進度」については、「③ちょうど良い」と解答した学生の割合である。また、表の項目の「達成・未達成・増減」は、達成目標値を達成した項目は◎印、未達成は×印で表し、そして、今回の調査が前年度に比べて増加した場合は↑、減少した場合は↓、横這いは→で表している。数値は小数点以下四捨五入である。

表 1 「達成目標値」と「年度別達成値の推移」

	調査項目	17年度 達成値	18年度 達成値	19年度 達成値	20年度 達成値	21年度 達成値	達成 目標値	◎達成 ×未達成 ↑↓→増減
I-1	学生出席状況	93%	89%	88%	90%	88%	95%	×↓
I-2	健康・運動関心	75%	75%	75%	77%	77%	80%	×→
I-3	積極的参加	84%	84%	84%	83%	85%	85%	◎↑
II-1	狙いの明確さ	75%	77%	83%	79%	84%	80%	◎↑
II-2	難易度	68%	68%	69%	72%	68%	80%	×↓
II-3	進度	83%	82%	82%	85%	81%	85%	×↓
II-4	説明方法	64%	67%	74%	71%	69%	75%	×↓
II-5	話し方・声の大きさ	85%	85%	87%	89%	86%	87%	×↓
II-6	コミュニケーション	76%	81%	82%	84%	83%	85%	×↓
II-7	教員のリーダーシップ	83%	83%	86%	83%	85%	88%	×↑
II-8	授業の雰囲気	85%	82%	85%	85%	87%	90%	×↑
II-9	理解しやすさ	83%	80%	83%	85%	85%	85%	◎↑
II-10	知識・技術の習得	76%	76%	79%	77%	79%	80%	×↑
II-11	健康・体力維持	80%	77%	81%	79%	80%	85%	×↑
III	総合的な満足度	85%	85%	86%	85%	86%	90%	×↑
IV-1	希望種目							
IV-2	時間帯							
IV-3	次年度履修希望							

総括

①「達成目標値」をクリアした項目

「積極的参加」「狙いの明確さ」「理解しやすさ」の3項目。

②「達成目標値」にあと1歩の項目

「健康・運動への関心」「話し方・声の大きさ」「コミュニケーション」「教員のリーダーシップ」「授業の雰囲気」「知識・技術の習得」の6項目。「コミュニケーション能力」は21年度から達成目標値を80%から85%に上方修正した。

③「達成目標値」に一層の努力を要する項目

「学生出席状況」「難易度」「進度」「説明方法」「健康・体力維持」「総合的満足度」

備考

① 平成21年度の努力目標設定

上表を見ると未だ未達成項目が多い。教員が共通意識を持ち努力次第で未達成項目の達成は可能と考えている。平成20年度は「体育教員室」に努力目標として一つだけ「説明方法を改善しよう」のポスターを掲示したが学生の評価結果としては効果がなかった。21年度も引き続き努力の継続である。

② 討議のための参考資料として「表2」を作成した。「表1」の補完として利用できる。

表2 「各年度の平均値の推移」

	調査項目	17年度 平均値	18年度 平均値	19年度 平均値	20年度 平均値	21年度 平均値
I-1	学生出席状況	4.61	4.53	4.47	4.53	4.47
I-2	健康・運動関心	4.10	4.06	4.12	4.11	4.08
I-3	積極的参加	4.25	4.26	4.21	4.17	4.28
II-1	狙いの明確さ	4.10	4.14	4.30	4.21	4.23
II-2	難易度	4.00	3.22	3.22	3.20	3.20
II-3	進度	3.51	3.12	3.17	3.12	3.14
II-4	説明方法	3.91	3.98	4.17	4.08	4.02
II-5	話し方・声の大きさ	4.28	4.37	4.42	4.41	4.36
II-6	コミュニケーション	4.12	4.24	4.30	4.30	4.29
II-7	教員のリーダーシップ	4.23	4.31	4.38	4.32	4.32
II-8	授業の雰囲気	4.26	4.27	4.42	4.36	4.34
II-9	理解しやすさ	4.23	4.23	4.35	4.30	4.29
II-10	知識・技術の習得	4.02	4.05	4.20	4.16	4.13
II-11	健康・体力維持	4.16	4.17	4.27	4.19	4.22
III	総合的な満足度	4.18	4.27	4.36	4.35	4.34
IV-1	希望種目	4.00	4.06	4.08	4.22	4.09
IV-2	時間帯	3.51	3.72	3.89	3.92	3.80
IV-3	次年度履修希望	4.18	3.61	3.56	3.54	3.51

7. 教職課程・社会教育主事講座・日本語教員養成基礎講座科目

授業評価の教職課程の科目数は 32 科目、社会教育主事講座の科目数は 2 科目、日本語教員養成基礎講座の科目数は 4 科目が対象であり、全体では 38 科目であった。

「Ⅲの満足度」について三講座のトータルで見ると、昨年度の平均値 4.08 から今年度は 4.26 と上昇しており、大学すべての区分の中で、「ゼミ・外書購読」の 4.50 に次いで高い値を占めていた。

(1) 教職課程について

I 受講する姿勢や動機について

I-1 教職科目全体では、「学生の出席状況」を見ると、平均値は 4.53 (標準偏差 0.30) であり、昨年の 4.56 とほぼ同じ値で、出席率が 90 %以上、及び 80 %以上の受講者が圧倒的に多かった。教職科目の履修学生の出席状況は、昨年同様で満足できるものと判断できる。

教員免許取得という明確な目標があり、目的意識の高い学生が多いことによると考えられる。しかし、少数ではあるが、出席が良くない学生も見られた。

I-2 「授業内容についてノートやメモをとるか」についての回答は、昨年度は平均値 4.44 (標準偏差 0.38)、本年度の平均値 4.34 (標準偏差 0.43) であり、この数値は昨年とほぼおなじであった。出席状況と同じく、ノートやメモをとる学生が 90 %以上及び 80 %以上の受講者に多くみられた。

I-3 「予習・復習」をするかについては、昨年度は平均値 2.76 (標準偏差 0.39)、本年度の平均値 3.08 (標準偏差 0.46) であり、この数値は昨年より少し増しているが、予習する学生は半数であり、全般的に教職科目では、予習・復習の必要性を感じていないのが現状である。授業の事前事後にも学習に取り組む姿勢を高める工夫が求められている。

I-4 「受講動機」については、教職科目は免許取得のために単位修得が欠かせない科目が多いので、「単位が必要」の昨年度の 67.1%が今年度は 69.4%と増加していた。その他の項目では、「単位取得が楽」が 12.7 %、「時間が空いている」が 13.8 %となっており、昨年度とほぼ同じ傾向であった。

一方、「講義への興味」は 3.6%、「教員にひかれて」は 0.5 %と低く、講義への関心を高める工夫が昨年同様に必要であると考えられる。

II 授業内容や進め方について

II-1 「授業のねらいの明確さ」については、昨年度は平均値 4.18 (標準偏差 0.49)、本年度の平均値 4.27 (標準偏差 0.38) であり、この数値は昨年とほぼおなじであった。

II-2 「授業の難易度」については、昨年度は平均値 3.37 (標準偏差 0.36)、本年度の平均値 3.44 (標準偏差 0.24) であり、この数値は昨年とほぼおなじであった。

教職科目の場合、「③ちょうどよい」と昨年同様判断できる。

- Ⅱ－3 「授業の進度」については、昨年度は平均値 3.10（標準偏差 0.22）、本年度の平均値 3.19（標準偏差 0.16）であり、この数値も昨年とほぼおなじであった。「③ちょうどよい」と判断できる。
- Ⅱ－4 「説明は分かりやすいか」は、昨年度は平均値 3.98（標準偏差 0.47）、本年度の平均値 4.07（標準偏差 0.45）であり、この数値は昨年より増加していた。
- Ⅱ－5 「話し方や声は聞き取りやすいか」では平均値 4.26（標準偏差 0.37）、Ⅱ－6 「教材等の有効性」では、平均値 4.15（標準偏差 0.35）、Ⅱ－7 「板書等の文字の読み取りやすさ」では、平均値 4.00（標準偏差 0.37）であり、これら設問では、「そう思う」学生が多くいるが、「どちらとも言えない」とする学生もやや多い傾向は、昨年と同様であった。
- Ⅱ－8 「学習環境の雰囲気」は平均値 4.39（標準偏差 0.32）で、昨年とほぼ同じであった。教職科目の中では、「そう思う」学生が一番多くなっていた。
- Ⅱ－9 「学習内容の理解」では、平均値 4.10（標準偏差 0.42）、Ⅱ－10 「授業内容が身に付いたか」では、平均値 4.15（標準偏差 0.39）、Ⅱ－11 「ものの見方や考え方が深まる」では平均値 4.18（標準偏差 0.36）であり、各設問とも「そう思う」学生が最も多く、昨年度より少し改善されてきており、妥当な評価を受けていると考える。
- Ⅲ 「総合的な満足度」では、昨年度の平均値 4.09（標準偏差 0.44）が、今年度は平均値 4.23（標準偏差 0.41）であり、満足度の高まりが見られた。
- また、「そう思う」学生が平均よりやや多いが、「どちらとも言えない」とする学生もかなりいた。
- 教職課程科目は、各評価項目とも平均値は「4」以上となり、全体的に見ると改善充実が推進できていると言えるが、なお一層の改善充実を期待したい。

（2）社会教育主事講座について

科目数が2科目と少ないが、その傾向について述べる。

評価に関しては、通常の5段階評価を行った13項目のうち、昨年度は、評価「4」以上を得た項目が9つ、今年度は「4」以上の項目が8項目であり、全体として昨年度と大差はなく、同じ傾向であった。

具体的には、「教室内の雰囲気」に対する評価が最高で、昨年度の3.83から本年度は4.40に高まり、「話し方や声は聞き取りやすい」が4.04と高くなっている。

「授業内容の理解」で3.73などの項目に、高まりが見られた。

特に、「学生の出席状況」が、昨年の4.83から本年度はさらに4.94に高まっていた。

「総合的な授業の満足度」は、昨年度の4.25から本年度は3.90に下がっていた。

最近では、この講座の受講者が減少傾向にあり、新入生へのオリエンテーションでも、その意義や履修等について説明し努力しているが、今後とも受講者の増加への対策が望まれる。

(3) 日本語教員養成基礎講座について

教職関係講座中3科目のI-4「受講動機」の項目を見ると、日本語教員養成基礎講座は「時間帯が空いている」が最多で63.8%となっている。第2位としては「単位が必要」が23.4%となっている。第3位として、講義への興味が8.5%となっている。他の2教科は「単位が必要」が第1位でそれぞれ69.4%と81.8%となっている。このことから受講者は資格を取りたいなどの特に強い動機を持って受講しているわけではないことが分かる。時間的余裕があることと講義への興味が8.5%と他の教職関係の科目に比べて高いことから、外国人への日本語教育とは、どのようなものなのだろうかという未知のものへの好奇心から受けてみようという者が多いことがわかる。したがって、予習復習をする者も2.48と低いのかもかもしれない。「教員にひかれて」は0%となっているが、これもおそらく受講して初めて講師を知ることになるからであろう。

ただ、その他の設問は全て4以上を占めており、極めて高い評価を受けていることがわかる。この評価を継続できるようさらに努力を続けていく必要があるだろう。また今後は出来るだけ、学生に対する広報など、講座の内容をより広く知ってもらおう必要があると考える。

参考資料－実施要領

実施要領

1) 目的

教員の授業の改善に役立てること、並びに本学の教育の質の向上を図ること。

2) 対象科目

担当科目のうち、履修登録者数の多い科目(原則として履修登録者20名以上のもの)の中から2科目程度を選択し実施する。講師(非常勤)の場合は、1科目以上とする。

専門教育及び教養教育等(教職・社教・日語を含む)の両分野の科目を担当している場合は、それぞれ1科目以上を実施する。

国際学部では、従来どおり原則として全科目を対象に実施する。

3) 実施期間:平成21年11月2日(月)～12月5日(土) (約1カ月間)

予備日:12月7日(月)～12月12日(土)

4) 実施科目の届出

教員は、実施届出用紙に必要事項(実施科目、実施日等)を記入し、学務課、八王子学務課、学長事務室のいずれかに提出する。(国際学部開設科目は、原則として全科目を実施対象とすため、届出は不要。)

5) アンケート用紙

アンケート用紙は、「講義等科目用」、「スポーツ・トレーニング科目用」、「工学部実験・実習科目用」の3種類とする。

6) 実施当日の手順

①アンケート用紙及び回収用封筒を学務課・教員控室等から受け取る。

②授業時間の一部(30分程度)を利用し、アンケートを実施・回収する。

アンケートの回収は、受講生個人を特定できないようにするため、受講生の協力を得て行う。

外国語学部及び国際学部では、アンケートの実施・回収は原則として受講生によって行う。

③回収用封筒に必要事項(アンケート枚数等)を記入し、直ちに学務課・八王子学務課へ提出する。

7) 科目別集計表の作成

- ①集計作業は、外部の業者に委託する。
- ②実施科目については、科目別集計表を作成する。
- ③科目別集計表は、担当教員に学生が記入したアンケート用紙(自由意見欄を含む) とともに送付する。

8) 実施結果のとりまとめ

- ①担当教員は、科目別集計表の「科目別集計結果に対する所見」欄を作成し、学務課、八王子学務課、学長事務室のいずれかに提出する。
- ②各学部FD委員会は、実施結果を分析し、報告書にまとめるにあたって、学部、学科、コース、分野等別において授業改善のための意見交換を行い、「今後の課題」の中でいくつかの「具体的な次年度の授業改善取組方針及び実施計画」を掲げる。
記載項目は、①実施状況(グループ分けの方法を含む)、②実施結果の分析、③今後の課題の3構成で記述し、概ねA判2枚程度(2,000字)とする。

- ③FD委員会は、実施結果報告書 第I部 全体集計、第II部 科目別集計を作成する。

9) 活用方法

- ①実施報告書を教員に配布し、教員は自己の授業の改善に役立てる。
- ②各学部自己点検・評価委員会(または「FD委員会」)においてアンケートの結果をもとに、組織的に授業改善の方策を検討する。
- ③学長は、アンケートの結果をもとに、必要な改善策を検討する。

アンケート様式

平成21年度 「授業改善のための学生アンケート」 講義等科目用

このアンケートは、あなたの授業担当教員が学生諸君と共に授業をより良いものにする目的で実施するものです。建設的な気持ちで、以下の問いにお答えください。

授業科目名		担当教員名	
-------	--	-------	--

整理番号	授業科目分類コード	教員コード	曜日	時限	期別

※アンケートの回答はすべて5段階で評価して○に黒色の鉛筆で丁寧にぬりつぶしてください。

学年	1年	2年	3年	4年	その他											
	○	○	○	○	○											
学科	経営	国ビ	会計	法政	経済	英米	中国	スペイン	機械	構エレ電子	情工	デザイン	開発	アジア	国際	その他
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

● ○ ● ○ ● ○
良い例 悪い例

【選択肢の凡例】 5：強くそう思う 4：そう思う 3：どちらとも言えない 2：そう思わない 1：全くそう思わない

I	質問	5	4	3	2	1	II-6	説明	5	4	3	2	1
	受講する姿勢や動機について						II-6	教材等(教科書・配付資料・板書・OHP・パワーポイント・ビデオ)は授業内容を理解するのに有効ですか。					
I-1	あなたはこの授業にどれくらい出席していますか。	⑤ 90%以上	④ 80%以上	③ 60%以上	② 40%以上	① 40%未満	II-7	板書・OHP・パワーポイント・ビデオなどの文字や画面は読みとりやすいですか。					
I-2	あなたは授業での口頭説明や板書内容などについて、ノートあるいはメモをとっていますか。	⑤	④	③	②	①	II-8	教室内は学習にふさわしい雰囲気に保たれていますか。					
I-3	あなたはこの科目について、よく予習あるいは復習をしていますか。	⑤	④	③	②	①	II-9	授業の内容はよく理解できましたか。					
I-4	この授業を受講した動機はなんですか。最大3つまで挙げてください。(ただし、この科目が必修科目である場合は、回答の必要はありません) ⑤講義要項を読んで興味を持ったから ④教員にひかれて ③単位が必要だから ②単位取得が楽だから ①この時間帯が空いていたから	⑤	④	③	②	①	II-10	この授業のテーマに関する知識あるいは技術が身につきましたか。					
							II-11	この授業を通じてものの見方や考え方が深まりましたか。					
							III	総合的に見て、この授業に満足していますか。					
II	授業の内容や進め方について	5	4	3	2	1	IV	学部等設問項目	5	4	3	2	1
II-1	授業の狙いや重要なポイントは明確に示されていますか。	⑤	④	③	②	①	IV-1						
II-2	授業の難易度はどうですか。 ⑤難しすぎる ④やや難しい ③ちょうど良い ②やややさしい ①やさしすぎる	⑤	④	③	②	①	IV-2						
II-3	授業の進度はどうですか。 ⑤速すぎる ④やや速い ③ちょうど良い ②やや遅い ①遅すぎる	⑤	④	③	②	①	IV-3						
II-4	説明は分かりやすいですか。	⑤	④	③	②	①	IV-4						
II-5	話し方や声は聞き取りやすいですか。	⑤	④	③	②	①							

自由意見欄 (自由意見欄が不足する場合は、裏面に記入してください)

○この授業で良かった点は、なんですか。

○この授業で改善してほしい点があれば書いてください。

○この教室の環境(教室の大きさ・エアコン・照明・防音・備品など)について意見や要望があれば具体的に書いてください。

平成 21 年度 学部 設 問 項 目

1. 政経学部

IV-1 この授業で使う教室の大きさ、施設・備品などは適切ですか

IV-2 授業に支障をきたすような私語は無い

2. 外国語学部

IV-1 この授業で使う教室の大きさ、施設・備品などは適切ですか

IV-2 このクラスの学生数は適切ですか

3. 国際学部

IV-1 授業の開始時間、終了時間は守られている

IV-2 出欠はきちんととられている

IV-3 授業中、学生同士の私語はない

IV-4 1年生は今後進むコースを、2年生以降は所属するコースを選んでください。

- ①国際協力、②国際経済、③国際政治、④国際文化、
- ⑤国際観光

平成21年度 「授業改善のための学生アンケート」 スポーツ・トレーニング科目用

このアンケートは、あなたの授業担当教員が学生諸君と共に授業をより良いものにする目的で実施するものです。建設的な気持ちで、以下の問いにお答えください。

授業科目名	担当教員名
-------	-------

整理番号	授業科目分類コード	教員コード	曜日	時限	期別

※アンケートの回答はすべて5段階で評価して○に黒色の鉛筆で丁寧にぬりつぶしてください。

学年	1年	2年	3年	4年	その他											
学年	○	○	○	○	○											
学科	経営	国ビ	会計	法政	経済	英米	中国	スペイン	機械	情報・電子	情工	デザイン	開発	アジア	国際	その他
学科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

● 悪い例
○ 正しい例

【選択肢の凡例】 5：強くそう思う 4：そう思う 3：どちらとも言えない 2：そう思わない 1：全くそう思わない

I	受講する姿勢や動機について	5	4	3	2	1	II-5	話し方や声は聞き取りやすいですか。	⑤	④	③	②	①
I-1	あなたはこの授業にどれくらい出席していますか。	⑤	④	③	②	①	II-6	教員と学生との友好的なコミュニケーションがありますか。	⑤	④	③	②	①
		90%以上	80%以上	60%以上	40%以上	40%未満	II-7	教員は授業運営に必要なリーダーシップを発揮していますか。	⑤	④	③	②	①
I-2	あなたは自分の健康と運動・栄養・休息に関心を持っていますか。	⑤	④	③	②	①	II-8	この授業は身体活動にふさわしい雰囲気になれていますか。	⑤	④	③	②	①
I-3	あなたはこの授業でやる気を持って積極的に取り組んでいますか。	⑤	④	③	②	①	II-9	授業の内容はよく理解できましたか。	⑤	④	③	②	①
I-4	この授業を受講した動機はなんですか。最大3つまで挙げてください。(ただし、この科目が必修科目である場合は、回答の必要はありません。) ⑤講義要項を読んで興味を持ったから ④教員にひかれて ③単位が必要だから ②単位取得が楽だから ①この時間帯が空いていたから	⑤	④	③	②	①	II-10	この授業のテーマに関する知識あるいは技術が身につきましたか。	⑤	④	③	②	①
							II-11	この授業は学生生活及び健康・体力維持に役立ちましたか。	⑤	④	③	②	①
II	授業の内容や進め方について	5	4	3	2	1	III	総合的に見て、この授業に満足していますか。	⑤	④	③	②	①
II-1	授業の狙いや重要なポイントは明確に示されていますか。	⑤	④	③	②	①	IV	学部等設問項目	5	4	3	2	1
II-2	授業の難易度はどうですか。 ⑤難しすぎる ④やや難しい ③ちょうど良い ②やややさしい ①やさすぎる	⑤	④	③	②	①	IV-1	履修したスポーツ種目の選択と内容はあなたの希望にそっていましたか。	⑤	④	③	②	①
II-3	授業の進度はどうですか。 ⑤速すぎる ④やや速い ③ちょうど良い ②やや遅い ①遅すぎる	⑤	④	③	②	①	IV-2	受講した時間帯は適切でしたか。	⑤	④	③	②	①
II-4	説明は分かりやすいですか。	⑤	④	③	②	①	IV-3	次年度以降、あなたの好きな「生涯スポーツ応用演習」(自由科目)を履修したいですか。	⑤	④	③	②	①

自由意見欄 (自由意見欄が不足する場合は、裏面に記入してください)

○この授業で良かった点は、なんですか。

○この授業で改善してほしい点があれば書いてください。

○この教室の環境(アリーナ・グラウンド・トレーニングルーム・更衣室・シャワールームおよび用具<ボール・ラケット等>)について意見や要望があれば具体的に書いてください。

科目別集計様式

平成21年度
授業改善のための学生アンケート報告書
－全体集計－
第I部

平成22年3月発行

編集・発行 拓殖大学自己点検・評価委員会

〒112-8585 東京都文京区小日向3丁目4番14号

電話 03-3947-7299 (学務部 学長事務室)